

民事訴訟法中改正法律案外一件特別委員會議事速記録第四號

大正十五年二月二十三日(火曜日)午前十時七分開會

○委員長(河村讓三郎君) ソレデハ開會イタシマス、昨日ニ引續キ……期日期間ノ質問ハマダ終テ居リマセヌカラ尙ホ質問ガアリマスレバ……

○水上長次郎君 先日、何條カノ御説明ノ中ニ、チヨット承テヤウニ思ヒマスガ、此原狀回復デスナ、現行法デハ別段ニ是ハ節デアリマシタカ、章デアリマシタカ、何カニ在ルヤウデアリマスガ、今度ハ無イヤウデス、ソコデ百五十九條デスガ、是ハチヨット原狀回復ノ如ク見エルデスガ、此外ニハ何處カニアルノデスガ、チヨットソレダケヲ承テ置キマス

○政府委員(池田寅二郎君) 是ダケデ賄ヒガ付クコトニナッテ居リマス

○水上長次郎君 サウデスカ、外ノ現行法ニ依リマス、御承知ノ通り百七十三條カラ百七十何條マデダカ、色ニ詳シイモノガアリマスガ、此改正案デハ、唯、當事者ガ其責ニ任ズルヤウナ意味デ、斯ウ輕ク、極ク容易ク一片ノ規定デ済ンデ居リマスガ、其譯ハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレダケヲチヨット……

○政府委員(池田寅二郎君) 現行法ニ依リマス此期間懈怠ノ結果ハ其行爲ヲナス所ノ權利ガナイト云フコトデアリマスルガ、或ハ其懈怠シタ期間ニ付テ原狀回復ヲスルニ付テハ、一ツ別ニ手續ヲ起シマシテ、サウシテ回復ナサシムルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ期間懈怠ノ結果、其行爲ヲナス所ノ權利ヲ失フト云フコト

ハ、是ハ當然ノコトデアラウ、ソレカラ原狀回復ノ手續ノ爲ニ特別ノ手續ヲ起スト云フコトハ要ルマイ、結局其行爲ヲ……期日ニ遅レマシタ行爲ヲ更ニナス際ニ其譯ヲ申シマシテ、而シテソレガ裁判所ニ於テ認メラレルヤ否ヤト云フコトヲ調ベテ參リマスレバ、別段ノ手續ヲ起スノ必要ハアルマイト云フ所カラ、此百五十九條デ賄フコトニ致シマシタノデ、大體此別段ノ手續ヲ起サナイデ行爲ノ追完ヲ爲スト同時ニ、ソレト同時ニ調ベヲ爲スト云フコトニ致シタ迄デアリマシテ、結局現行法ノ本旨ト致シマスルコトダケヲ玆ニ規定イタシマシタ譯デアリマス

○水上長次郎君 能ク了解イタシマシタガ、百五十九條ノ規定ハ唯懈怠シタル所ノ行爲ノ追完ヲ爲スコトヲ得、當事者ガ如何ナル方法手段ニ依ッテ爲スノデアルカト云フコトガ本條デハ明確ニナッテ居ラヌ、例ヘバ書面ヲ提出スルトカ……或ハ其書面ヲ原裁判所ヘ提出スルトカ、ソコハドウ云フ譯デアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ノ御疑デアリマスガ、是ハ追完行爲、即チ本來爲サムト欲スル、爲スベカリシ行爲ヲ、例ヘバ控訴ノ手續ナラ控訴ノ手續ト云フコトヲヤリマス際ニ、控訴ノ手續ヲヤル時ニ是ハ日限ガ遅レタ、併ナガラ斯ウ……云フ百五十九條ノ事由ニ依ッテ遅レタト云フコトヲ申立テ、サウシテ控訴行爲ヲスル、ソコデ裁判所ハソレヲ受ケマシタ時ニ、其事由ガ果シテ有リシヤ否ヤト云フコトヲ調ベル、ソレヲ調ベテソレデ百五十九條ノ事由ガ無イ

ト思ヘバ即チ控訴ハ却下スル、其事由ガアルト思ヘバ適法トスル、其行爲ハ適法ナリヤ否ヤヲ判斷スルト同時ニ判斷ガ付クコトデアルカラ、別ノ手續ヲ置カナクテモ宜カラウ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス

○水上長次郎君 ソレデハ口頭デモ書面デモ隨意ナシデスカ、チヨット考ヘマス云フト、此原狀不變期間ト云フモノハ所謂不變期間デ變更スルコトノ出來ナイ期間デアル、其期間ヲ怠ラテ、ソレヲ回復シテ貴フト云フコトハ、事輕カラヌコトダラウト思フ、サスレバ、サウ云フ狀態ニ置カレタ訴訟ト云フモノハ、ドウデアアルカト云フコトハ、是ハ訴訟當時ニ明確ニナッテ居ラナケレバナラス、併ナガラ口頭デモ宜シ、書面デモ宜シト云フコトハ如何ニモ輕過ギハシナイカト云フ感ガアルノデアリマス、尤モ口頭ノ場合ハ裁判所ノ書記ガ調書ニ記載スルト云フノデアッテ、其記載ヲ以テ證明スルト云フコトガアリマスガ、マダ實ハ他ヲ見マセヌカラ分リマセマガ、特ニサウ云フコトヲ調書ニ記載スルト云フ條文ガアリマスガ、又特ニサウ云フコトガ無クとも、訴訟内ノ出來事デアアルカラ調書ニ記載スルト云フコトハ當然ダラウト思ヒマスガ、又追完ノ申立ハ必ズ訴訟ニ於テ期日ニ爲スベキモノデアアルカ、或ハ其前ニ爲スベキモノデアアルカ、其前ニ爲スベキモノデアルトスレバ、口頭デ爲スベキデアルト云フコトハ頗ル不便ノヤウニ考ヘル、其點ニ付テ……

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ナ點デアリマスガ、特ニ原狀回復ノ申立ト別ノ申立ト云フコトニナリマス、或ハ書面デ申立

テマスガ、或ハ口頭デ申立テルカト云フコトガ起ッテ參リマスガ、前ノ手續ヲ起シマセヌデ、例ヘバ今申シタ例デ申シマス、控訴ガ遅レタト云フ時ニ、遅レハシマシタケレドモ、斯ウ云フ事由デ遅レタト云フ場合ヲ考ヘマス、今度控訴狀ヲ差出シマス、控訴狀ヲ差出シマス同時ニ、是ハ遅レテ居ルケレドモ、斯ウ云フ事情デ遅レタト云フ理由ヲ特ニ附加ヘラレルコトニナリマス、ソコデ其所謂追完スル所ノ行爲……追完スル訴訟行爲ヲ爲スト云フコトハ、是ハ一般ノ規定ニ依ッテ、控訴ナラバ控訴ノ提起ノ方法ニ依ルト云フコトニナリマス、其行爲ト同ジモノデアアル、何レ之ヲ又書面ヲ以テ爲スベキ……追完スベキ行爲ガ書面ヲ以テ爲スベキ行爲デアリマスナラバ、矢張りソレト同時ニ其書面ヲ附加シテ出スト云フコトガ、先ヅ普通デアラウト思ヒマス

○志水小一郎君 私ハ此期日ノコトニ付テ伺ヒタイノデスガ、現行法ニハ日曜日及ビ一般ノ祝祭日ニナッテ居リマスガ、祝祭日トアッテモ随分刑事訴訟法デハ問題ニナッタコトデアリマスガ、祝祭日ヲ御止メニナッテ、一般ノ休日トシテ日曜日其他ノ項ヲ御設ケニナリマシタ趣旨ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、是デ疑問ガ起ラヌノデアリマセウカ、ソレカラ刑事訴訟ハ此審判ニ對シテモウ少シ餘計文字ガ這入ッテ居ルカト記憶シテ居リマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 現行法並ニ刑訴ノ御比較上ノ御質問ハ御尤ノ點デアリマス、是ハ祝祭日ト云フモノハ別ノ法規デ……古イ法規デアリマスガ、決マリガア

ルサウデアリマシテ、ソレガ必シモ休日ト云フモノバカリニ限リテ居リマセヌ、ソコデハ實質ヲ抑ヘマシテ、先ヅ日曜日ト云フモノヲ例ニ舉ゲマシテ、其他一般ノ休日ニ之ヲ定メ、休日ニ非ザルモノハ之ヲ除クト云フ意味デ以テ休日ト云フコトニ致シタルデアリマス、趣旨ハ無論現行法モ同ジデアリマスと思ヒマス、言葉ヲ多少整理シマシタ意味デアリマス

○志水小一郎君 モウ少し進ンデ御聴キシテ置キタイノデアリマスガ、此一般ト云フ文字ガ随分議論ニナルヤウニ思ヒテ居リマス、例ヘバ十二月二十九日ハドウナルノデアリカ、一月二日ハドウナルカ、是ハドウモ官衙公衙ノ實例ニ於テハ大シテ疑ハ無イヤウデアリマスケレドモ、官衙デハ休ンデ居ッテモ商人ハ休マナイト云フコトモ幾ラモアルヤウデアリマスガ、今ノ具體的ノ事實ヲ舉ゲレバ十二月二十九日ト云フガ如キモノハドウコニ這入ルノデアリマスガ、或ハ又ドウコニモ這入ラナイ、此休日ノ中ニハ這入ラナイノデアリマスガ、幾ラモ事實ノ問題ガアラウト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 十二月二十九日ハ之ニ這入ルカドウカト云フ何デアリマスガ、一般ノ休日ト云フコトニハ如何ナモノデゴザイマセウ、這入ラナイデハナイカト思ヒマスガ、尙ホ篤ト調ベマシテ間違ッテ居リマシタナラバ訂正イタシマス

○志水小一郎君 ドウカソレヲ御調べ置キテ御願ヒ致スノデアリマス、是ハ折々問題ニナツコトガアルヤウデアリマス、官廳ノ方面カラ云ヘバ疑ヒナイノデアリマスガ、實業家商家アタリノ方カラ云フテ見ルト十二月二十九日ナント云フモノハ一向休日デナイト云ハレルガ如キコトモ承テ居ルノデアリマスカラ、ドウカ御調ベテ願ヒマス

○水上長次郎君 尙ホチヨット伺ヒマスガ、例ヘバ控訴狀提出デスネ、是ハ御承知ノ通り改正法デハ言渡ガアツテカラ二週間内ノ期間デアアル、二週間過ギテ提出シタ、曰ク實ハ途中川留ニ出遭ッテ此處ヘ來ルコトガ出來ナカッタ、ウン、サウカ、ソレデ宜シイト云フテ極ク手輕ニソレヲ受ケルノデアリカ、或ハ又其事ヲ説明ヲサスルノデアリマスガ、ソコヲチヨット……

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ノ點デアリマス、ソレハ今ノ控訴ノ例デ申シマスルト、詰リ、控訴ガ適式ナリヤ否ヤト云フコトニ係リテ參リマス、控訴ノ適式ナリヤ否ヤハ裁判所ガ調ベテ致スコトニナツテ居リマス、即チ職權ヲ以テ調査スルコトニナツテ居リマス、ソコデ果シテ今此控訴人ガ申立テマスルヤウナ事實ガアリトセバ、是ハ控訴ハ適式ト云フベキデアアルガ、ソレガナケレバ控訴ハ不適法ナリト、斯ウ云フコトニナリマス、ソコデソレハ控訴裁判所ガ爲シ得ル權限ニ基キマシテ調査スル、即チソレハ結局其點ハ控訴人ニ於テ立證ヲ要スルコトニ相成ラウト思ヒマス

○水上長次郎君 唯今ノ御答ノ御趣意ニ依ルト云フト、矢張り當該裁判所ニ於テ果シテ避クベカラザルモノデアッタカ、サウ云フ理由ガアッタノカドウカ調ベルト云フコトデアリマスガ、ソレハソレモ必要デアリマセウガ、此訴訟法デハ、此大概裁判所ノ調査スルマデニハ及バヌコトハ説明ヲ以テ事ガ足ルヤウニシテアル、又其方ガ簡便ダラウト思フ、或ハ例ヘテ申シマセウナラバ、川留ガアツタ場合ニハ川留附近ノ町村長ノ證明トカ何トカ、マア其他ノ極ク其簡ニシテサウシテ明瞭ナラバ、ソレデ事ガ足ル、裁判所ガ一々町村役場ニ照會シテ果シテサウ云フコトガアツタカドウカ調ベルトハ、煩索ニ堪ヘヌダラウト思ヒマスガ、ソレニ依ラズシテ町村役場ニ故ラニ任カスト云フノハ、ドウ云フ御考デアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) チヨット私ノ申上デ方ガ少し至ラナカッタカト思ヒマスガ、全ク御趣旨ノ通りデアリマス、裁判所ガ職權ヲ以テ調査スルト云フコトヲ申シマシタガ、當事者ノ立證ヲ阻ムト云フ意味デハアリマセヌ、當事者ガ立證ヲシテ來レバ無論ソレヲ調ベテ、又當事者ノ立證ヲ俟ツデモ裁判所カラモ調ベベキ義務ガアルト云フコトヲ申上デマシタ

○渡邊暢君 私モチヨット百五十九條ニ付テ伺ヒマスガ、現行法ニハ百七十五條ノ末項ト云フモノガアリマシテ、懈怠シタル不變期間ノ終ヨリ起算シテ一箇年ノ滿了後ハ原狀回復ヲ申立ツルコトヲ得ス、一箇年間滿了シナイ内ハ出來ルト、斯ウナリマスガ、今度ノ規定ニシマス「事由ノ止ミタル後一週間内ニ限り懈怠シタル訴訟行爲ノ追完ヲ爲スコトヲ得」トアリマシテ、モウソレヲ過ギタナラバ何ニモ出來ナイト云フ風ニナルカノヤウニ見エマス、且ツ此期間ニ付テハ前條ノ規定ヲ適用セス」ト云フ規定モアルノデアリマスガ、斯ウ云フ風ナコトカラ考ヘテ見マスト云フト、例ヘバ斯ウ云フ事實ヲ假定シテ見マス、小笠原島ノ人デアッテ此不變期間ニ付テ遵守シヤウトスル所デアッ風ガアツテドウシテモ船ガ出ナカッタ、所ガ其風ト云フコトガ止ンデシマツテ將ニ出ヤウトスル時ニ、又更ニ風雨ガアツテ、ソレデ出ラレナクナツタト云フノデ、到頭一週間ヲ過ギテシマツタト云フヤウナ場合ニハ、ドウ云フ風ナ結果ニナルノデアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ點デアリマス、今度ノ案ニハ一年ノ間其狀態ヲ不明ニシテ置クト云フコトハ面白クナイト考ヘマシテ、其點ハ設ケナカッタノデアリマスガ、唯今御示シノ事故ノ點ハ多少考究セラレタノデゴザイマス、此一週間ト云フモノノ間ニ更ニ又斯ウ云フ事故ガ發生スルト云フ時ニハ困リハセナイト云フコトハ多少考究致サレマシタノデアリマス、免二角今仰セニナリマシタヤウニ、或ハ暴風雨ノ爲ニ船ガ出ナイト云フコトヲ想像シマス、ソレガ先ヅ一時止ンダヤウデアッタケレドモ、又出船間際ニ嵐ガアツテ出ラレナイ、詰リ一週間ノ中ニサウ云フ事故ガ相踵イデ起タト云フ場合ニハ、是ハ必ズシモ左様ニ潔癖ニ前ノ事故ハ已ニ過ぎ去リ、モウ一週間ノ期間ガ進行ヲ始メタモノデアルト云フヤウニ取扱フニ及ブマイカ、サウ云フ事故ガ接近シテ起ツタ場合ニハ事故ノ繼續ト見ルベキデアラウト云フコトデ、解釋上ニ適當ニ運ブコトデアラウト云フ風ニ見テ居リマス

○渡邊暢君 サウ云フ風ニモ考ヘテ見タデアリマスケレドモ、ドウモ此書キ方デ以テ事由ノ止ミタルト云フコトガ確カニ止ンダノデアアル、更ニ低氣壓ガ起ツタノダト云フノデ、ドウモ裁判所デ勝手ニ繼續ダト解釋スル人ガアルカドウカ、私ハ甚ダ疑フノデアリマス、併シ是ハ議論ニナルカモ知レマセヌ

○志水小一郎君 是ハチヨット念ノ爲ニ伺ッテ置キマスガ、現行法ノ第六十七條ノ此細カイ規定ハ、此法案ニ於テハ最初ノ原則……イヤ細カイ規定ハ此五十九條……イヤ五十八條デアリマスガ、五十八條足リルト斯ウ云フ御趣意デゴザイマスガ、現行法ノ六十七條ニアルヤウナ規定ヲ陸路八里毎ニ一日ヲ伸長スナドト云フ、サウ云フヤウナ細カイ規定ハ、此百五十八條ノ概括の規定デ足

リルト、斯ウ云フ御趣意デアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 左様ニナル積
リデアリマス

○志水小一郎君 其御趣意デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是デ運用ガ出
來ル、法律上ノ里程ト云フコトハ止メマシ
テ、裁判所デ適當ノ裁量ガ出來ルト、斯ウ
云フ譯デアリマス

○委員長(河村讓三郎君) 第三節ニ移リマ
ス

○政府委員(池田寅二郎君) 送達ノ所デハ
餘リ申上ダルトモアリマセヌ、大體、現
行法ノ原則ニ則テ居リマス、唯百六十條ニ
於キマシテ送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲スノヲ
本則ニスルト云フコトヲ書キマシタノデア
リマス、大體、現行法ニ於キマシテモ明カ
ナル規定ガ無イノデアリマスケレドモ、一
般ノ規定ハ無イノデアリマスルガ、解釋
上ハ特別ノ規定ガナレバ送達ハ裁判所ガ
職權ヲ以テヤルベキモノデアルト云フ解釋
例ニナッテ居ルヤウデアリマス、是ハ送達ノ
本則デアリマスカラ、明文ニ規定スル方ガ
宜カラウト云フコトデ茲ニ書イタノデアリ
マス、唯、此規定ノ結果、現行法ト多少異
ナリマスル結果ヲ生ジマスル點ヲ御參考ニ
申上ダテ置キマス、今日デハ判決ノ送達
ハ申立ニ依ルコトニナッテ居リマス、ソレ
ハ今度止メマシテ、サウシテ此原則ニ依リ
マシテ職權ヲ以テ送達スルト云フコトニ相
成ルコトニナッテ居リマス、ソレカラ第
百六十三條ハ期日ノ通知ノ場合ノ規定ト同
ジ趣旨デアリマス、百五十四條ノ但書ト同
ジ筆法ノ規定デアリマス、當該事件ニ付キ
出頭シタル者ガアレバ、ソレニハ裁判所自
ラガ其送達スベキ書類ヲ交付シテ、送達
ヲ済マスト云フ簡便法ヲ認メマシタノデア
リマス、ソレカラ百七十一條デアリマス、

現行法ニ依リマス、現行法ノ百四十五條
ノ二項ニナッテ居リマスガ、送達ヲ爲スベキ
場所ニ於キマシテ誰モ居ナイ、送達ヲ受ク
ベキ者ガ居ナイト云フトキニハ、町村長ニ
其書類ヲ預ケテ置イテ、サウシテ送達ノ告
知書ト云フモノヲ作リマシテ、サウシテ其
送達ヲ爲スベキ場所、其住居ノ戸ニ之ヲ貼
付ケマシテ、且ツ近隣ニ住居スル二人ニ其
旨口頭デ以テ通知スルト云フコトニナッテ
居リマスガ、是ハ頗ル煩雜ナル手續デアリ
マシテ、必シモ適當デナイト云フコトニ考
ヘマシタ結果、其場合ニハ郵便ニ付シテ送
達ヲスルト云フコトニ相成リマシタノデア
リマス、其點ガ現行法ノヤリ方ト違ヒマシ
タ點デアリマス、其他ハ文字等ハ相當整理
セラレテ居リマスルケレドモ、大體ハ現行法
ノ主義ト同様デアリマス、ソレカラ現行法
ニ依リマスルト、裁判所ノ所在地ニ住所
所等ガ無イ者ニ付キマシテハ、假住所ノ
出デルト云フコトニナッテ居ル、其假住所ノ
届出ガ無ケレバ、郵便ニ付シテ送達スルト
云フコトニナッテ居ル、所ガ案ニ依リマス
ト、必シモ裁判所ノ所在地ニ住所所等ガ無イ
場合ニ限ラズ、住所所等ヲ持ッテ居リマ
ス場合ニ於キマシテモ、尙ホ送達ヲスベキ
場所及送達受取人ヲ定メテ届出デマスルコ
トガ出來ルト云フコトヲ、百七十條ニ規定
イタシマシタノデアリマス、デ是ハ御承知
ノ通りニ、送達ヲ爲スベキ場所ト云フモノ
ハ一人ノ當事者ニ付テ見マシテモ幾ツモ存
スル譯ニナルノデアリマス、デアリマスル
カラ其中デ當事者自身カラ申シマシテモ、必
シモ何處ヘデモ裁判所ノ送達書類ガ參ルト
云フコトヲ必ズシモ便利トセナイ者モアリマ
セウ、サウ云フ者ハ特ニ自分ガ送達ヲ受ク
ベキ場所ハ此處デアルト云フコトヲ極メ
テ、届出デルト云フ簡便法ヲ開イタノデアリ

マス、サウシマスレバ其處ニ送達ヲ受クベ
キ手配ヲ致スト云フコトモ出來マセウシ、
裁判所ノ方カラ申シマシテモ、先ヅ其處ヘ
持ッテ行ケバ送達ヲ爲ス所ノ可能性ガ多イ
ト云フコトデ、相方便宜デアラウト云フノ
デ、サウ云フ届出ノ手續ヲ認メマシタガ、
是ハ手續ニ届出ヲスベキコトヲ命ジテ居ル
譯デアリマセヌ、届出ヲスルト否トハ當
事者ノ便宜ニ委シテ置クノデアリマス、ソ
コデ届出ヲシナイ場合ニモ、別ニソレニ對
シテ特別ノ送達方法ヲ執ルト云フヤウナコ
トハアリマセヌデ、矢張り普通ノ送達ノ方
法ニ依ル譯デアリマス、唯、送達ヲ受ケル
者及送達ヲ爲ス場合ノ便宜ノ爲ニ、斯ウ云
フ一ツノ送達ノ場所ヲ届出デルト云フコト
ニ致シタノデアリマス、ソレカラ次ハ公同
送達ニ關スル規定デアリマス、此公同送達
ノ方法ハ送達ヲスベキ書類ヲ裁判所ノ掲
示ノ掲示スルコトニナッテ居リマスガ、書類
其モノヲ掲示スルト云フコトモ色々實際的
ニ考ヘテ見マス、如何ニモ其場所ガ狭イ
モノデアリマスカラ、關係者ニ示スト云フ
コトノ意味ヲ十分ニ徹底スルコトノ出來ナ
イヤウナ狀態デアリマス、今日ノ有様
ハ……デアリマスカラ、ソレヨリモ此掲示
ハ斯ウ斯ウ云フ者ニ對シテハ斯ウ云フ書類
ノ送達ヲ爲スコトニナッテ居ルト云フコト
ダケヲ掲示イタシマシテ、サウシテ其書類
ハ裁判所ノ方ニ於テ何時デモ渡スト云フコ
トニシテ、裁判所書記ノ方ニ保管シテ置ク
ト云フコトガ適當デアラウト云フコトデ、
改メマシタノデアリマス、ソレカラ公同送
達ヲヤリマシタ時ニ官報新聞等ニ其事ヲ
更ニ出シマシテ、サウシテ成ルベク此關係
人ニ知ラシムル機會ヲ作ルト云フコトハ、
今日モ行ッテ居リマスガ、外國ニ於テ爲スベ
キ送達ニ付キマシテハ、其事ヲヤリマシテ

モ、ドウモ内國ノ新聞等ニ出シマシテモ餘
リ效果ガアルマイト云フノデ、其事ヲ寧ロ
郵便ニ付シテ通知ヲスルト云フコトガ一層
適切デハナイカト云フコトデ、其途モ開キ
マシタノデゴザイマス、其他送達ノ期間、
送達ノ場所、送達ニ關スル囑託等ニ付キマ
シテハ、現行法ト同ジ主義ヲ採ッテ居リマ
ス
○志水小一郎君 百六十七條ノ送達規定デ
アリマスガ、是ハ現行法ノ百三十九條ト内
容ニ於テ變ラヌノデアリマス、多少變ル
ノデアリマス
○政府委員(池田寅二郎君) 現行法ニアリ
マスル分ハ、大體百六十七條ニ含ンデ居リ
マスガ、尙ホ其上ニ召集ヲ受ケテ入營シテ
居ル者ニハ、矢張り此百六十七條ハ適用ガ
アラウカト思フ……アルト思フノデアリマ
ス、ソレト此軍艦ノコト並ニ船舶ノコトニ
付キマシテ、此艦船ニ關シマスルコトニ付
テハ百三十九條ヨリ一層廣ク相成ッテ居リ
マス
○志水小一郎君 モウ少シ御尋シタイノデ
スガ、現行法ノ百三十九條ノ「豫備後備ノ
軍籍ニ在ラサル下士以下ノ軍人」云々トア
ル、此文字デスガ、是ハ餘程曖昧ナ文字デ
スガ、是ハ司法省デ出來マシタ英文ノ民事
訴訟法ニハ陸海軍ノ「アクテイブリスト」ニ
於ケル云々トアリ、海陸軍ノ軍役ニ在ル者
ト云フ風ニ翻譯ヲシテアル、サウスルト今
御話ニ依リマス、云フト、豫備後備ノ籍ニハ
在ラザルノデハナイ、在ル、在ッテモ召集等
ノ故ヲ以テ入營ヲシテ居ルト謂ハンガ如キ者
ハ、此新法デハ這入ル、斯ウ云フ形ニナリ
マス
○政府委員(池田寅二郎君) 左様考ヘテ居
リマス
○志水小一郎君 モウ少シ進ンデ御尋シタ

イノデスガ、ソレカラ茲ニ思ヒ切ツ規定
ガ出來テ居ルノデスガ、軍事用ノ廳舎、又
ハ艦船ニ屬スル、此屬スルト云フノハドウ
云フ意味デアリマセウカ、軍事用ノ廳舎ト
云フコトハ兵營ノ如キハソレニ違ヒナイノ
デスガ、兵營ニ單ニ在ル者ト云フ意味デセ
ウカ、屬スルト云フノハモト進シタ意味
デ、或ハ英吉利ノ「ベロギンク」ト云ハ
ガ如キ意味ガ此ノ法案ノ屬スルト云フ字
ニ當テ居ルモノデセウカ、之ヲ御尋シタイ

○政府委員(池田寅二郎君) 屬スルト、茲
デ使ヒマシタノハ事實唯ソコニ居ルト云フ
ノミデハ其長ニ囑託ヲスルト云フ意味ニ當
リマセヌカラ、矢張り其艦船ナリ、軍事用
ノ廳舎ナリニ所屬シテ居ル、軍隊ナラバソ
コニ屬シテ居ル、マア斯ウ云フ積デアリマ
ス

○志水小一郎君 ソコガ大變問題ニナルダ
ラウト思ヒマスガ、私等ハ此規定ハ矢張り
兵營トカ、軍衛トカ云フ所ハ、或ル意味ニ
於テハ、一種ノ別天地ノヤウナ所デアッテ、
警察權モ自ラ違フ、軍ノ方ノ警察ニ屬シテ
居ル、サウシテ警察官ト雖モ固ヨリ路ミ込
ムコトガ出來ナイ、警察官ハ固ヨリ憲兵ト
雖モ、勝手ニ踏ミ込ムコトガ出來ナイト云
フノガ、兵營艦船ノ狀態デアリマス、其意
味デアルカラ、其責任者タル長官、隊長ニ
屬スル、高位者ト雖モ勝手次第ニソコニ踏
込ム譯ニ行カヌ、斯ウ云フ意味カラ出來テ
居ルモノデハアリマスマイカ、ソレハ蓋シ
獨逸法アタリガ母法デアリマセウカラシテ、
獨逸法アタリノ法文、並ニ其立法理由ヲ御
調ベニナレバ宜ク分ルノデハアリマスマイ
カ、唯編成上、若シクハ官制上屬シテ居ル
モノデナクチャイカヌト云フ御説明ハ、チ
ヨット了解ニ苦シムノデスガ如何デスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 屬スルト申シ

マシタノハ、詰リ此軍事用ノ廳舎艦船ト主
張ノ支配ノ下ニ在ルト云フ意味デアリマシ
テ、唯事實上例ヘバ偶然ソコニ來合シテ居
ルトカ云フヤウナ者ヲ含マナイト云フ意味
デ、特ニ屬スルト云フコトヲ書キマシタ、
其長ノ配下ニ、支配ニ屬スル者ト云フ頭デ
アリマス

○志水小一郎君 サウスルト斯ウ云フコト
ニナリマスネ、兵營内ニ、ソコヘ寢泊リシ
テ居ル、常任シテ居ル所ノ賄、賄ニ從事シ
テ居ル人足ノ如キ、ソレカラ艦船内ニ於テ
同様ナコトヲシテ、ソコニ寢泊リシテ居ル
者ト謂ハンガ如キ者ニ付テモ、此規定ガ當
嵌ル譯デアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 左様心得テ居
リマス

○志水小一郎君 ソレカラモウツ伺ヒタ
イノデスケレドモ、是ハ矢張り軍隊關係デ、
第百七十六條ノ規定デアリマス、此出陣ノ
軍隊、マア此出陣ノ軍隊ト云フコトハ、是
ハ陸海軍ノ「テクニク」デモ何デモナイ、斯
ウ書イテアレバ常識デ分ル、常識デ讀マン
トスレバ、餘程ムヅカシイ文字デアリマス
ガ、是ハドウ云フ意味デアリマセウカ
○政府委員(池田寅二郎君) 軍事ノ關係ノ
コトニ付キマシテハ甚ダ暗クアリマシテ、
實ハ此立案ノ際ニ陸海軍ノ當局ニモ相當ノ
機會ニ於テ御諮リヲ致シタノデゴザイマス
ルガ、或ハ軍事ノ用語カラ見マスレバ、不
正確デアルト云フコトニ相成、テ居ルカ承
知イタシマセヌガ、大體ノ意味ハ出陣ノ軍
隊ト申シマス、先ツ動員シテ居ル軍隊ト
云フコトニ當ラウカト心得テ居リマス
○志水小一郎君 出陣ノ軍隊ト云フ文字ガ
果シテサウ云フ風ニ讀マレマスナラバ、却
テ適用ニ苦シマナイカト思ヒマスガ、是ハ
御參考ノ爲ニ申シテ置キマス、之モ司法省

デ出來マシタ英譯ノ民事訴訟法第百五十四
條、此法案ノ百七十六條、現行法ノ百五十
四條、出陣ノ軍隊又ハ役務ニ服シタル軍艦
ノ乗組員ニ屬スル人ニ對スル送達」ト云フ
文字ヲ思ヒ切ツタ字デ書イテアル、「モビラ
イズド・ボデイ・ヲブ・ツル・プス」詰リ軍隊
ノ動員シタル部隊ニ屬スル所ノ人ニ對スル
送達ト、斯ウ書イテアルノデスガ「モビライ
ズド・ボデイ・ヲブ・ツル・プス」ト云フコト
デアリマスレバ能ク分ル、軍隊ニハ平時ノ
姿勢ト、戰時ノ姿勢トアリマス、戰時ノ姿
勢ト云フコトハ、動員計畫ニ依ッテ動員ス
ルト云フノガ、即チ戰時ノ姿勢ヲ取ツタ軍
隊、斯ウ云フモノニ屬シテ居ル者ニ對スル
送達ナラバ、此規定ニ依ルト云フコトデア
リマスレバ「テクニク」ノ方デハ宜ク分ル
ノデアリマス、分リマスル代リニ斯ウコト
ニナリマス、軍隊ガ動員シテ成立シタカラ
ト云フテ、直チニ衛戍地ヲ離レテ戰場ニ赴
クニ及ヌ、先例トシテハ明治二十七八年デ
アリマシタカ、明治三十七年デアリマシタ
カ熊本ノ例ノ如キ數ヶ月衛戍ニ動員シタナ
リ居ッテ、ソレニ當ルノデアリマス、ソレ
デ矢張り苦シカラヌト云フ、御趣旨ニナリ
マセウカ、要スルニ出陣ノ軍隊ト云フノハ
餘程ムヅカシイ問題デアリマシテ、註解ガ
ナケレバ分ラヌデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ノ點デア
リマス、唯今御示シノ例ヲ考ヘテ見マスル
ト、動員ヲ致シマシテカラ、矢張り從前ノ廳
舎内ニ軍隊ガ居ルト云フ場合ニ、矢張り此上
班司令官廳ト云フモノデ宜イカト云フ問題
ニナリマスガ、私ハ其點ニ付テ誠ニ暗イノ
デアリマスガ、既ニ動員ト云フコトニ相成
マスレバ、結局其動員セラレタル所ノ部隊
ノ統制等ニ付テハ秘密ニ相成ル、又内部ノ
統制ニ付テモ相當ノ變更ガアルト云フノデ

ハナイカト、實ハ想像ヲ致シマスノデ、サ
ウ致シマスレバ、矢張り上班司令官廳ノ方ニ
囑託サレルトコトガ適當デナイカ、併シ實際
ニ軍隊ガ兵營内ニ居リマスレバ、上班司令
官廳、ソチラノ方ニ囑託ノ手續ヲ運バレル
ノデナイカト云フコトニ相成ルノデハナイ
カト思ヒマス、前項ノ送達ニ付テハ現行百
六十七條ニ依ルト云フノデアリマシテ、未
ダ廳舎ニ居リマス間ハ、送達ノ手續ヲ運
ト云フコトニハ相成ルノデハアルマイカト
思ヒマス、實ハ軍隊ノ事ニ關シマシテハ甚
ダ暗イノデアリマスガ、或ハサウナルノデ
ハアルマイカト思ヒマス

○志水小一郎君 是ハ御尋ネデハアリマセ
ヌガ、多少問題ニナツタコトガアリマスノ
デ念ノ爲ニ申上ゲテ置キタイノデアリマ
ス、此上班司令官廳ト云フ言葉モ大變ムヅ
カシイ言葉デアッテ、兎角分ラヌデアリマ
ス、御承知ノ通り此陸海軍ニハ行政系統ト、
統帥系統ト、正シクニツニ分レテ居ル、ソ
レ軍隊ニ居リマス軍人デアリマスレバ、
是ハ統帥機關ニ屬シテ居ルモノデアリマ
ス、其上班司令官廳モ矢張り統帥系統デナ
クハナラヌデアリマス、併ナガラ上班司
令官廳ト云フコトガ分ラヌモノデアリマス
ガ、其軍隊ニ屬シテ居ル所ノ軍人ニ對スル
送達ガ行政官廳、甚シキニ至ッテハ陸軍省
ニ來ルト云フコトガ隨分頻繁ニナツテ居ル
ヤウニ心得テ居リマス、ソレカラ是モ矢張
獨逸ノ眞似デアラウカラ、獨逸法ヲ調ベタ
ラ宜カラウカト云フコトヲ心配ヲ致シタコ
トガアリマスガ、果セル哉獨逸デモ是ガ應
用ハ大變面倒ナコトニナツテ、是ガ爲ニ大
變細カナ訓令等ガ出テ居ルト云フコトデア
リマス、司法省ニハ相當豐富ナ材料ガアリ
マセウカラ、ドウカ御調べニナラムコトヲ
希望致シマス、獨逸ニハ正シク精シイ訓令

ガアラシイノデアリマス、其一端ハ少シ調ベタコトモアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今御申シノ點ハ能ク取調ベテ見マス、唯申上ゲテ置キマス所ハ、此上班司令官廳ノコトハ如何ニモ私共ノ方ト致シマシテハ暗クアリマスノデ、軍事當局ノ方ニ御尋ネテ致シマシタガ、大體是デ宜カラウト云フ御話ガアリマシタノデ、旁、此通リニ致シテアリマス

○水上長次郎君 先程御話ガアリマシタ通リ、現行法デハ判決書ト云フモノハ申立テニ依ッテ始メテ送達スルト云フコトニナッテ居リマスガ、裁判所デハ申立テノ有ル無イニ拘ラズ職權デ以テ送達スルト云フコトニナッテ居リマス、サウ致シマスルト云フコト、凡ソ送達ノコトト云フモノハ、マア總テ職權ヲ以テ書記ガ管理權ノ範圍内ニ於テスルコトニナラヌケレバナラヌ、處ガ此百七十八條、唯今問題ニナッテ居ルモノデアリマスガ、公送達ト云フモノハ、必ズ申立テニ依ラナケレバナラヌコトニナッテ居ル、而カモソレハ「裁判長ノ許可ヲ得テ公送達ヲ爲スコトヲ得」ト、斯ウアル、現行法ニモサウナッテ居ルヤウニ思ヒマス、若シ改正案ニ於テ總テ送達ト云フコトハ職權ヲ以テ爲スト云フ、斯ウ云フ大體ノ原則ヲ定メタ以上ハ、控訴者ノ如キ總テ此原則ヲ徹底的ニシタ方ガ宜クハナカラウカト思ヒマスガ、單リ公送達ニ對シテ限ッテ居ルノハドウ云フ譯デアリマスガ、ソレヲ伺ヒマス、其次第二項ニ「同一ノ當事者ニ對スル爾後ノ公送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス」ト、斯ウアリマス、公送達ハ一度ハ必ズ裁判長ノ許可ヲ得ナケレバナラヌ、二度目カラハ書記ガ勝手ニ職權ヲ以テヤルト云フコトニナル、一度目、即チ最初ノ時ニハ申立テヲシナケレバナラヌト云フコトハ、チヨット

職權送達ニ規定サレタノトハ矛盾スルカノヤウナ感ジガ致シマスガ、ソコハドウ云フモノデアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御尋ネハ職權送達ノ原則ニ立テテ見タノデアアルカラ、公送達モ寧ロ其例ニ依ルベキデナイカ、更ニ又第二ノ送達ハ裁判長ノ許可ヲ得ズシテヤッテモ宜シイト云フノハ、ドウ云フモノデアアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、此公送達ト云フノハ此條文ニ掲ゲテアリマス通リニ、住所、居所、其他送達ヲ爲スベキ場所ガ分ラナイ、或ハ外國ニ本人ガ居ルト云フヤウナコトデ、内地ニハ送達ヲ爲ス所ガ無イト云フノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニハ果シテ手續ヲ遂行スルヤ、否ヤト云フコトニ付テハ、實ハ甚ダ覺束ナイ次第デアリマスノデ、ソコデ此當事者ノ申立テヲ待テ手續ヲ遂行スルト云フコトニスルコトガ適當デアラウト云フコトデ、此申立テト云フコトニ致シタノデアリマス、ソレカラ此申立テガ斯ノ如キ場合ニ依レバ當然此手續ノ執レヌト云フコトニ相成リマスト云フト、是ハ又色々弊害ヲ生ズル虞ガアリマスカラ、ソレデ果シテ此條件ガ具備スルヤ、否ヤ、詰リ直接送達ノ時期ヲ全ク離レマシテ、裁判所ノ掲示板ニ掲示スルトカ、或ハ新聞ニ出スト云フヤウナ頗ル間接ナ方法ニ依リ送達ニ代ハルノデアリマスガ、送達ヲ受ケル者ニ取リマシテ利害ノ關係ガ重大デアリマスカラ、ソコデ是ハ裁判長ガ取調ベマシテ、果シテ此條件ヲ具備スルト云フコトヲ認メマシタ場合ニ許可スルト云フコトニ致ス方ガ適當デアラウ、ソレカラ一旦調ベテシマシタ以上ハ先ヅ事情ノ變更ヲ見マセヌ限リ、別ニ許可ヲ得ズシテヤッテモ差支ナイト云フコトデ假リニ書イテアリマス

○水上長次郎君 弊害ト云フノハドウ云フ弊害デアリマスガ、裁判所ノ許可ヲ得ズシテト云フ……

○政府委員(池田寅二郎君) 場合ニ依リマスルト、當事者ニ於キマシテ、十分ニ相手方ノ住所、居所等ノ調ベテ致シマセヌデ、住所居所不明デアルト云フコトデ以テ公送達ノ申立テヲ爲スト云コトノ弊ガ生ズル虞レガアルノデアリマス、サウナリマスストコデ送達ヲ受ケル者ニ取リマシテ、餘程不利益ノ結果ヲ生ズルコトニナリマス、果シテ公送達ニ適スルヤ否ヤト云フコトハ十分裁判長ガ調ベテ許可スルト云フ必要ガアル

○佐竹三吾君 チヨット御尋シタイト思ヒマスガ、百六十九條一項ノ但書ノ法定代理人ニ對スル送達ハ云々トアリマスガ、是ハ百六十五條ノ規定ヲ變更スルヤウナコトニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 百六十五條ト百六十九條ト關聯シテ御尋デアリマスガ、誠ニ御尤モノ點ト考ヘマス、此百六十九條ハ其送達ヲ爲ス場所ヲ定メタノデゴザイマス、ソコデ一體申シマス送達ヲ受ケベキ者ノ住所若クハ事務所ニ於テ爲スト云フコトガ原則デアリマス、之ヲ百六十五條ト對照致シマスレバ、即チ訴訟無能力者ニ對スル送達ハ其法定代理人ニ之ヲ爲スノデアリマスガ、法定代理人ノ住所、事務所デ爲スト云フノガ殆ド原則ニナルノデアリマス、所ガ此當事者本人ニ於キマシテモ何カ營業所事務所ト云フヤウナモノガアルヤウナ者デアリマシタナラバ、ソコニ於テ送達ヲスルト云フコトニ取計ラウノモ強チ無理デアアルマイ、便利デアラウト云フ所カラ送達ノ場所ヲ附加ヘマシテ、法定代理人ノ住所並ニ本人ノ事務所、營業所ト云フコトマデ擴張シタノデアリマス、左様ニ致シマシ

タ譯ハ、本人ノ營業所、事務所等ガアルヤウナ者ニ付キマシテハ、或ハ法定代理人ノ管理ニ屬スルト云フコトモ、マア大體サウナッテ居ルコトデアラウ、旁、ソコデ送達スルト云フコトモ差支ナクアルデアアルマイカト云フ所カラ一部ノ除外例ヲ認メタノデアリマス

○佐竹三吾君 何々ニ於テ爲ス送達ハ、ドウ云フ人ニ之ヲ爲スト云フコトニナッテ居リマスガ、サウ致シマス其人ニ宛テテ、或ハ其人ノ住所居所ニ宛テテ、郵便ニ依ッテ送達ヲスルト云フ場合ニ於キマシテハ、其人ニ郵便集配人ガ書面ノ交付ヲスル、斯ウ云フコトニ依ッテ送達ヲスルト云フコトニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 御推察ノ通りデアリマシテ、郵便集配人ガ送達ヲ爲ス吏員ト云フコトニ相成リマシテ、丁度執達吏ガ爲シマスルト同様ノ手續ニ依リマス、送達ヲ爲スベキ場所ニ參リマシテ、而シテ送達ヲ受ケル所ノ本人若クハ本人ニ代ッテ書類ノ交付ヲ受ケベキ者ガ定マッテ居リマスルカラ、事務員、雇人、同居者ニシテ事理ヲ辨識スルニ足ルベキ知能ヲ具フル者、是ガ送達ヲ受ケベキ者デアリマセヌガ、書面ノ受理ヲ爲シ得ルト云フコトニナッテ居リマス、ソレ等ノ者ニ送達スルベキ郵便物ヲ交付スルコトニナリマス

○佐竹三吾君 サウシマスルト百七十條ノ二項ノ規定ハソレニ對スル一ツノ例外デアッテ、唯郵便ヲ發送スレバソレデ百七十條ノ規定ニ依ッテ送達アリタルモノト看做サレルト云フコトニナルヤウデアリマスガ、一體百七十條ノ二項ト云フ規定ハドウ云フ爲ニ必要デアアルカト申シマスレバ、郵便ニ依ッテ發送スルト云フコトヨリモ、寧ロ百七十三條ノ規定ノ適用ヲ受ケルト云フコトデ、サウ

云フ意味ガアルノデアリマスガ、一體カラ申セバ百七十條ノ二項ハ必要ハナイノデアリマス、即チ假受取所トデモ申シマセウカ、百七十條ノ一項ニ該當スルモノガアル時ニハ……其場所ガ無クシテハ原則ニ立歸テ百六十九條ノ一項ニ依テ、ソレニ對シ送達ヲスル、即チ百七十條ノ二項ハ全ク無用ノ規定デアッテ其規定トシテハ寧ロ此場合ニハ百七十二條ノ適用即チ發送ノ時ニ於テ、即チ送達アツタモノト看做スト云フコトニ意味ガアルノデアリマス、サウシマスレバ、私ハ寧ロ百七十條ノ二項ノ規定ニ該當スル場合ニ、百七十二條ノ如キ規定ヲ設ケルト云フコトガ、少シク不當ノヤウニ考ヘル、詰リ假受取所、或ハ送達ヲ受クベキ場所ガ無イ時ニハ百六十九條ノ一項ノ中ノ本則ノ規定ニ據ル、一體斯ウ云フコトニスベキモノデナイカト思ヒマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 百六十九條ト百七十二條ニ互テノ御疑デアリマスガ、詰リ此送達ヲ受クベキ場所ト云フノハ、其者ノ住所、居所、營業所等デアルト云フコトハ一般ノ原則ニナルヤウデアリマス、併ナガラソレハ裁判所ノ所在地ニソレ等ノモノガアルト云フコトヲ先ヅ前提ニ致シテ參リマシテ、裁判所ノ所在地ニ其住所居所等ヲ有シテ居リマスル場合ニハ、矢張り訴訟ノ便利ヲ圖リマス爲ニ、其裁判所ノ所在地ニ於テ其送達ヲ受クベキ場所ヲ定メナケレバナラヌト云フコトヲ命ジテ居リマス、其定メザリシ場合ニ於テハ郵便ニ付シテ送達ヲスルト云フコトニ相成リマス、ソレデソレガ一ツト、今度ハ此送達ヲ受クベキ場所ハ此處ニ在ル、裁判所ノ所在地ニ在ル、在ルコトハアルケレドモ、ソコデ以テ此送達ヲ受クベキモノ、又送達ヲソレニ代テ受領スルコトヲ得ルモノモ誰モ居ナイ、ダ

カラ場所ハアルケレドモ、殆ド無キニ等シイ、送達ガドウシテモ出來ナイ、斯ウ云フ場合ニハ矢張りソレト同ジ筆法デ以テ郵便ニ付シテ送達ヲスルト云フコトニ相成リマス、デ御推察ノ通りニ、郵便ニ付シテ送達ヲスルト云フコトハ是ハ百七十三條ニ依テ其效力ハ規定セラレテ居リマシテ、即チ郵便ヲ發送シタトキニ送達ヲ終タモノト見ルト云フコトニ相成リマス、ソレハ已ムヲ得ザルノ除外的ノ送達方法デアリマス、ソレデナク、當リ前ノ場合ニ於キマシテハ或ハ執達吏ニ依テ其送達ヲ受クベキ場所ニ書類ノ届ヲシマスガ、或ハ郵便ニ依リマシテ其處ニ郵便ヲ配達シテ貰フト云フコトニ致スト、斯ウナルノデゴザイマス

○佐竹三吾君 サウ致シマスレバ百六十九條ノ一項ノ書き方ガ不明瞭デハナイカト思フノデアリマスガ、寧ロ百六十九條ノ一項ハ、送達ハ當事者、法定代理人又ハ訴訟代理人ノ……或ハ之ヲ受クベキ者デモ宜イ……之ヲ受クベキ者、送達ハ其事件ノ繫屬スル裁判所ノ所在地ニ於ケル是レ是レニ依テ之ヲ爲スト、斯ウ云フコトニ一體、一項ニ定メラレテ、サウシテ其二項ニ、若シ其裁判所ノ所在地ニ於テ之ニ該當スルモノナキトキハ、百七十條ノ一項ノ如キ規定ヲ置イテ、而モ是ハ「届出ツルコトヲ得」デハナクシテ、サウ云フ場所ヲ定メテ届出デヨ、斯ウ云フコトヲ命ゼラレテ、若シ其届出ガ無カッタトキニハ簡便方法ヲ取ル、斯ウ云フ風ニ一體、規定セラレタ方ガ明瞭ニナルト思フノデスガ、何デゴザイマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 御趣旨ハサウ相成ルト思ヒマス、百七十條ノ二項ニ依リマシテ、今申シマシタ點ガ解釋サレルヤウナコトニナリマス、此邊ノ條文ノ形ニ付キマシテハ隨分研究イタサレタ所デゴザイマシテ、一ツ所ガ都合ガ宜クテモ、又外ノ方ガ都合ガ惡ルイト云フヤウナコトガアリマシテ、結局、此位ノ排列ガ能クハナイカト云フコトデヤッタ次第デアリマス、尙ホ其點ハ又……

○佐竹三吾君 サウ致シマスレバ百六十九條ノ一項ハ、是ハ廣ク書イテアルケレドモ、實際ニ於テハ、其趣旨ハ裁判所ノ所在地ニ限ルト云フ意味デアリマスガ、或ハ又裁判所所在地外ニ是ガアツタモノ、矢張り百六十二條ノ規定ニ依テ或ハ執達吏ガ直接ソコニ持ッテ行クト云フコトモ適法デアアル、又サウ云フコトモスル積リデアアル、斯フ云フヤウナ風ニ解釋シテ宜シイノデスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 只今ノ點ハ一ツモウ少シ考ヘテカラン能ク御返事ヲ致シタイト思ヒマス、チヨット御猶豫ヲ……
○渡邊暢君 是ハ質問ニナラヌコトデハナイカト私ハ思フノデスガ、百六十八條ニハ「監獄ノ長ニ之ヲ爲ス」トアリマスガ、此監獄ト云フノハ今日無イドラウト思フノデアリマスガ、或ハ監獄ト云フノニ戻ルト云フヤウナ考デアアルノデアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) マダ監獄法其者ノ改正ガ出來テ居リマセヌノデ、矢張り監獄ト云フモノガアルト云フコトニナッテ居リマス
○渡邊暢君 サウスルト刑務所ト云フモノハ公ケノモノデハナイノデアリマスガ
○政府委員(池田寅二郎君) 其關係ヲ詳シク存ジマセヌガ、公ケノモノデハアリマスルガ、個々ノ監獄ノ名稱ヲ何處其處ノ刑務所斯ウ云フ風ニ言ッテ居ルヤウニ思ヒマス
○志水小一郎君 私ガ伺ッテ居ル所デハ監獄ト云フ文字ハ避ケタイ、私ハサウ云フ非難ヲシタコトガアル、サウスレバ曲獄ナド云フ者ガ矢張りアルノデアリカ、是ハ獄

ト云フ字ガチヨット支那讀ミデ云フト、訴ヲ聽クコト、爭ヒヲスルガ如シ、ア、云フ意味ニモ使ッテアルモノデスカラ、「ブリゾン」ト云フ意味ヲ能ク示サヌト云フヤウナコトデハナイカト云フサウデモナイ、要スルニ監獄ト云フモノヲ避ケタイノダト云フコトデアッタヤウニ聞キマシタガ、サウ云フ趣旨デハナイノデナイデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其刑務所ト云フ文字ノ出來マシタノハ、マサシク其考カラ出來テ居リマスガ、マダ監獄法ガ其儘ニナッテ居リマスノデ、併ナガラ是ハ改正スルコトニ大分調査ガ進ンデ居リマス、ソレ等ガ悉ク改正セラレマシタナラバ或ハ是等モ變テ來ルコトカト思ヒマス、今日ニ於キマシテハ具體的ノ役所ハ何處其處刑務所ト斯ウ云フテ居リマス、併シソレハ矢張り組織トシマシテハ、監獄デアルト云フコトニナッテ居リマス、個々ニドコソコ刑務所ト言ハヌト刑務所ト云フコトニ嵌リマセヌ、ソコデ只今デハ監獄ト云フコトニナッテ居リマス

○志水小一郎君 是モ餘リ重要ナ御尋ネデハアリマセヌガ、先刻佐竹君カラ疑ヒガ起リマシタ如ク、此六十九條ト七十條トノ關係ナドガチヨット素人ガ讀ムト妙ナ變ニ讀メルノデス、ト云フノハ六十九條ハ或意味ニ於テハ原則的規定ガ書イテアルト、斯ウマア云ヘルドラウト思フ、ソレカラ七十條ハ六十九條ニ對シテハ變則規定ニ違ヒナイノデスガ、六十九條ノ原則規定ニ對スルト、斯ウ云フ場所ニ於テモ送達スルコトガ出來ルト、併シ此規定ニ依ッテ送達ヲ受ケムト欲スルモノハ届出ヲセロト、斯ウ云フ風ニアルベキモノ、ヤウニ思フノデアリマスガ、其最初ノ原則規定ヲ打消スニ「受取人ヲ定メ之ヲ届出ツルコトヲ得」ト云フ問題デ

アリマスカラ、妙ナ感ジガスルノデス、是ハ矢張り斯ウ出来ナクチヤナラヌ譯ガアルノデスカ、免角斯ウ云フ規定ガ多イヤウニ思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 此百七十條ノ一項ト二項ノ關係ハ今御説明イタシテ置キマス、其他ノ點ハ留保シマシテ後刻申上デタイト思ヒマス、其當事者、法定代理人、詰リ當事者關係、是ハ裁判所所在地ニ住所、居所等、即チ送達ヲ受クベキ場所ガナケレバ先ヅ其處ニ送達ヲ受クベキ場所ヲ定メテ届出デナケレバナラナイ、其届出ヲシナケレバ是ニ對スル送達ハ郵便ニ付シテ送達ヲスルト云フコトニ相成ルゾト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレデ此百七十條ノ中ニモウ一ツ入ッテ居リマスノハ、此所在地ニ住所、營業所等ヲ有ッテ居ル者モ亦届出ヲ爲スコトガ出来ル、是ハ便宜デアラウカラ許スト云フ、斯ウ云フ二ツノ事柄ガ百七十條ニ入ッテ居リマス、先程佐竹委員カラ御疑ヒガ出マシタガ、此内容ハサウ云フコトニ相成ッテ居リマスノデ、或ハ佐竹委員ノ仰セノ通り此形ヲ改メマシタナラバ、一層明瞭ニナラウカト思フノデアリマス、其残りノ部分、當事者以外ノ部分ニ對シマシテドウ云フ風ニナルカ、詰リ管轄外ニ於テモ所在地外ニ於テ住所所ヲ有スル關係人等ニ對スル送達ハドウナルカト云フコトニ付テ、チヨット御答ヲ留保シテ置キタイト思ヒマス

○委員長(河村謙三郎君) ソレデハ送達ノコトハ追ッテ御答ヲ願フコトニ致シマシテ、四節ノコトヲ御説明願ヒマス、第四節ニ移リマス

○政府委員(池田寅二郎君) 第四節ハ裁判ノコトヲ規定シテ居リマス、判決、決定、命令ニ關スル規定モ、判決ニ關スル規定ヲ

主ト致シマシテ、決定、命令等ニハ其規定ヲ準用スルト云フコトニナッテ居リマス、地方裁判所ノ手續中ニ現行法ニ規定シテ居リマシタノヲ總則ニ持出シタノデアリマス、其點ハ前ニ申シマシタ通りデアリマス、如何ナル場合ニ判決ヲスルカ、如何ナル判決ヲスルカ、又判決ヲナスニ付テハ辯論ノ趣旨等ニ依テ、自由心證ニ依テ、證據ノ結果ヲ斟酌シ、自由心證ニ依テ裁判ヲスルト云フヤウナコト等ニ付キマシテハ、全ク現行法ノ主義ト同様デゴザイマス、唯前ニチヨット申シマシタ通りニ、百九十三條ニ於キマシテ「當事者ニ之ヲ送達ス」ト云フコトヲ書キマシタ、現行法ハ申立ニ依テ送達ヲスルコトニナッテ居リマス、ソレハ玆デハ當事者ニ送達ヲスベキモノト云フコトヲ定メマシタ、而シテ送達ノ本則ニ依リマシテ正本ヲ以テ送達スルコトニ相成ルノデゴザイマス、ソレカラ百九十五條ノ一項ハ裁判所ガ請求ノ一部ニ付テ裁判ヲ脱漏イタシマシタ場合ノ規定デアリマス、現行法ノ規定ニ依リマス、二百二十四條ノ現行法ノ規定ニ依リマス、此場合ニハ此追加裁判ノ申立ヲスルコトニナリマシテ、而モソレニハ日限ヲ決メマシテ、一週間ノ期間内ト云フコトニナッテ居リマス、トコロガ是ハ裁判所ニ本來繫屬シタ事件デ、而モ其一部分ガ裁判未了ノマデアルト云フ状態デアリマスカラ、裁判所ニマダ繫屬シテ殘ッテ居ルト云フコトニスベキガ主當デアラウ、デ

斯ウ云フヤウニナリマス、ソレソレニ直チニ一般ノ進行ノ手續ニ依リマシテ、裁判所ハ更ニ辯論ヲ開クノデアリマス、サウシテ裁判ヲスルト云フコトニ相成ルモノデアラウ、サウスル方ガ至當デアラウト云フコトニ致シタノデアリマス、唯訴訟費用ダケノ裁判ガ落チテ居ル、斯ウ云フ場合ニ於キ

マシテハ、必シモソレ等ノ判決ヲ以テ補充スルト云フコトニモ當リマセヌデアリマスカラ、是ハ寧ろ決定ヲ以テヤルト、判決ヲ致シマシタ時ニ訴訟費用ダケニ付テ裁判スルノト同ジ筆法ニナリマス、百四條ノ規定ヲ準用シテ此裁判ヲ決定ヲ以テスルト云フコトデ然ルベキデアアルマイカ、但シ本案判決ニ對シマシテ控訴ガアツタ時ニ控訴審デ以テ此全體ノ裁判ヲ、全體ノ訴訟費用ニ付テ裁判ヲセシムル方ガ至當デアラウ、決定ヲ以テヤルト云フコトハ誠ニ簡略デハアリマスガ、一ツノ變則デアリマスカラ、本

案ニ付テ控訴ガアリ、控訴審デ以テ判決スベキ玆ニ機會ガアル以上ハ、訴訟費用モ矢張り併セテ裁判スルト云フコトニスル方ガ宜カラウト云フコトデアリマシタ、此決定ヲ以テ尙ホ裁判ニ控訴ガアレバ效力ヲ失フノデアリマス、控訴ニ於テ改メテ全般ニ付テ裁判ヲスルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレカラ百九十六條、七條、八條、是等ハ此現行法ノ五百一條以下ノ假執行宣言ニ關スル規定デアリマシテ、現行法ニ依リマス、ト云フコト、職權ヲ以テ當然假執行ノ宣言ヲ爲スベキ場合申立ニ依テ假執行ノ宣言ヲ爲スベキ場合、又保證ヲ立テシムベキ場合、然ラザル場合、斯ウ云フ色々ノ規定ニナッテ居リマス、是等ノコトハ財產權ノ請求ニ關スルコトデアレバ、裁判所デ以テ相當ニ裁量イタシマシテ、サウシテ或ハ擔保ノ必要ヲ認メタナラバ、擔保ヲ供セシムル、其必要ナイモノト認メタナラバ擔保ヲ供セシメズシテ假執行ノ宣言ヲ爲サシムルト云フコトニ爲スコトヲ得ルコトニスル方ガ宜カラウト云フコトデ、現行法ノ錯雜イタシテ居リマス規定ヲ廢メマシテ、裁判所ノ相當ナル裁量ニ委セルト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレカラ次ハ

外國判決ノ效力ニ關スル規定デアリマス、二百條ニナッテ居リマス、現行法ニ依リマスト五百十五條ニ於キマシテ、外國判決ヲ内地ニ於テ：日本ニ於テ執行イタシマス場合ノ規定トシテ設ケラレテ居ルノデアリマス、併ナガラ外國判決ノ效力ヲ認ムルト云フコトハ前提ノ問題デアリマシテ、執行ハ其次ノ問題ニナルノデアリマス、又外國判決ノ效力ヲ認ムルノハ日本ニ於テ執行ヲ爲スベキ判決ノミニ限ラナイノデアリマスカラ、ソレデ旁、外國判決ヲ日本ニ於テ如何ナル場合ニ於テ效力ヲ認ムルト云フコトヲ此裁判所ノ章ニ原則ヲ決メ置ク必要ガアラウト云フコトデ、此二百條ガ設ケラレマシタガ、是ハ其内容ガ外國判決ノ效力ヲ認メル條件ニ於キマシテハ、五百十五條ト同様ノ趣旨ニナッテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ二百一條ノ規定ハ是ハ此判決ノ效力ヲ當事者以外ノ者ニ及ボス必要ガアリマスルガ、如何ナル程度ニ於テ其效力ヲ及ボスカト云フコトヲ規定シタノデアリマス、現行法ニ依リマス、強制執行ニ依ル執行文ノ付與ノ章ニ於キマシテ、五百十九條ノ邊デアリマス、規定ガアリマスケレドモ、如何ニモ不十分デアリマスカラ、是ハ矢張り「判決ノ效力」ト云フコトデ先ヅ規定スベキモノデアラウト云フ所カラ、玆ニ規定サレマシタノデアリマス、即チ當事者雙方ハ無論ノコト、ソレカラ審理終結後ノ承繼人又ハ其承繼人ノ爲ニ其訴訟ノ目的物ヲ所持スル者、是等ニ對シテモ其效力ヲ及ボスト云フコトハ、確定判決ノ效力ヲ同時ニシマス上ニ於テ極メテ必要デアラウト云フコトデ、此規定ヲ設ケタノデゴザイマス、ソレカラ二百一條ノ二項ノ規定ハ、例ヘバ此四十七條ノ規定ニ依リマシテ、他ノ人ノ爲ニ代表的ニ當事者トナッタ者、ソレカラ八十六

條ノ規定ニ依リマシテ、例ヘバ船長ノ如キ他ノ船舶、債權者等ノ爲ニ其資格ニ於テ當事者トナタト云フモノヲ含メマシテ、他人ノ爲ニ當事者トナタ者ニ對スル判決ハ、其ノ他人ニ效力ヲ及ボスト云フ、是ハマア斯ウ云フ趣旨ヲ認メマシタ當然ノ結果デアリマス、ソレカラ次ニ二百二條ノ規定デアリマス、訴ヘテ出スベキ方デアリマシテ、或ハ行政裁判所ノ管轄ニ屬スルヤウナ訴ヘテ此方ヘ持テ來タ、其他訴ヘテ適法デナイ欠缺補正ノ途ヲ講ズルコトハ出來マスルガ、ドウシテモ欠缺ノ補正ヲスルコトガ出來ナイト云フ場合ニ於キマシテハ、現行法ニ依リマスルト、矢張り是モ口頭辯論ヲ經テ必ズ判決ヲスルコトニナッテ居リマスガ、必ズシモ口頭辯論ヲ必要トシナイ、其口頭辯論ヲ經ズシテ事ノ明瞭ナルモノニ付テハ判決ヲナスコト云フコトノ途ヲ開キマシタノデアリマス、ソレカラ二百三條ハ現行法ニ依リマス、和解、請求ノ拋棄、認諾、和解ガ問題デアリマスガ、請求ノ拋棄認諾、是等ニ付キマシテハ和解ニ付テハ無論民事判決ハイタシマセヌガ、請求ノ拋棄認諾ニ付キマシテハ、現行法ニ於キマシテハ判決ヲ致スコトニナッテ居リマス、併ナガラ斯ウ云フ場合ニハ別ニ判決ヲスル必要モナイノデアリマスカラ、其趣旨ヲ調書ニ取リマシテ、其確定判決ノ效力ヲ付與スルコトガ便宜デアリ、而シテ是デ十分デアラウト云フコトデ、此規定ヲ置キマシタ次第デアリマス、此後ノ分ハ決定命令等ニ對シテハ判決ニ關スル規定ニ從フコトニシマシタ、唯決定命令ノ效力ヲ生ズル其手續ト致シマシテハ、相當ノ方法デ之ヲ告知スルト云フコトニ止メテ其他ノ法律ニ特ニ條文ヲ定メナイト云フコトニ致シマシタ次第デアリマス

○志水小一郎君 チョット誤然トシタ御尋ネデアリマスケレドモ、此裁判ト云フ文字ニハ無論判決、命令、決定ヲ含シテ居ルモノダト思ヒマスガ、抑裁判ト云ヘバ、其内容ハ判決、決定若クハ命令ト云ハムガ如キ：：所ガドコニモ法律ニハナイヤウニ思ヒマスガ、蓋シ裁判ト云フ文字ニハ判決、命令、決定ガ含シテ居ルデアラウト云フコトハ、本案ノ第二百四條以下デチョット窺ハレマスガ、サウ云フ風ニ讀ンデ參リマス、裁判ト云フ文字ガ使テアル部分ハ、前後ノ規定ニ依ッテ局限セラレルモノハ免ニ角、サモナケレバ裁判ト云フ文字ニハ何時デモ判決、命令、決定ガ含シテ居ルノデアルト云フ風ニ讀ンデ宜シイノデアリマスカ、專攻家ニ言ハセルト云フト裁判ト云ベバモウ判決、命令、決定ダト、斯ウ云フ風ニ言ハル、ノデアリマスケレドモ、常識デ讀ムト云フトチョット分リ難ネル、ソレカラ又此規定ノ上ニ於テモ、二百四條以下ノ二三條アルニアラズンバ、果シテ裁判ト云フ中ニソレダケノ意味ガ含シテ居ルノカ分リマセヌガ、唯今申上デマシタヤウナ解釋デ宜シウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君) 外ノ所ニ於キマシテハ裁判ト云フコトニ書キマシタノハ、其所ドロコニ依リマシテ、或ハ決定ヲ云フノデアルカ、或ハ判決ヲ云フノデアルカト云フコトハ、隨時ニ、所ニ依ッテ解釋ヲスベキコトデアラウト思ヒマス、例ヘバ此三十一條ニハ決定ヲ以テ移送ノ裁判ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、サウシテソノ次ノ條文ハ、只移送ノ裁判ト云フヤウニ書イテアリマス、ソコデ此裁判ト云フノハ決定ヲ云フベキデアルト云フヤウニ考ヘテ宜カラウト思ヒマス、所ニ依ッテ自ラ分ルヤウニナッテ居ルト思ヒマス

○男爵渡邊修二君 私ハ百九十九條ト百九十二條ニ關連イタシマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、此改正案ノ主タル目的ハ、訴訟ノ遲延ヲ防グニアル、是ガ最大眼目デアルト承ッテ居リマス、ソレデ此百九十九條モ百九十二條モ大體現行法ト同様ノヤウニ考ヘマスガ、訴訟遲延ノ原因ノ一ツデアリマシタ當事者ガ合意ニ依ッテ延期スルコトヲ許セナイヤウニ、此改正ニハナッテ居リマス、ソレデアルカラ、他ノ方面ニ於キマシテモ判決ノ言渡シハ、口頭辯論終結ノ日カラ唯一週間内ニ之ヲナスコト云フ風ニシナイデモ、モウ少シ延ニ何カ期間ヲ長クシテモ宜シイガ、或ハ期日期間後ニナシタ方ガ無効トスト云フヤウナ制裁ト謂フカ、モノヲ附セナケレバ、此趣意ガ徹底シナイダラウト思ヒマス、現今此東京ノ裁判所ニ於キマシテ口頭辯論終結後、判決ノ言渡シヲ致シマスルノハ、原則トシテハ、一週間位デ出來ルダラウト思ヒマスガ、長キモノニ至リマシテハ、一週間乃至三ヶ年ニ達シテ居ルモノガアルト云フコトヲ承ッテ居リマス、サウシテ尙ホ百九十二條ノ判決言渡後、判決書作成ニ至ル間モ亦一ヶ月乃至二三年ニ亙ルモノアルトカト承ッテ居リマス、斯ノ如クシテハ、訴訟ノ遲延ヲ防止スルト云フコトニ付テ何等ノ效果ガナイヤウニ思ヒマス、ソレデ此兩條ニ付テ司法當局、政府委員ノ御考ノアル所ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 判決ノ言渡ガ辯論終結ノ日ヨリモ相當遅レルコトガアル、又判決ノ言渡シテカラ判決書ヲ作成スル迄ガ相當遅レルコトガアル、其事例ニ付イテ頗ル長ク遅レテ居ルモノガアルト云フコトニ付テ御尋ネデアリマシタガ、唯今仰セニナリマシタヤウナ言渡期日ガ遅レ、判決作成ノ日ガ遅レルト云フコトハアル

ノデアリマス、是ハ出來ルダケ此法定ノ期間内ニソレガ出來マスルヤウニ裁判所ノ方ニ於キマシテモ努ムベキコト、思ッテ居リマス、唯ソレガ爲ニ此期限ヲ決メマシタ、決メマシタ期限ニ間ニ合ハザリシモノヲ無効ニスルト云フコトノ規定ハ如何ガナモノデアラウカト考ヘテ居リマス、ソレカラ是ハ御參考ニ申上ゲタイト思ヒマスガ、色々判決ノ言渡等ガ遅レタ事例ニ付キマシテ調べテ見マス、非常ニ遅レタ例ハサウタントハゴザイマセヌガ、偶ニハ少シ遅レ過ギテ居ルト云フヤウナモノモアリマス、能ク事情ヲ聞イテ見マスと云フト、矢張り色々ト審理上ノ事情ガアリマシテ、法律上ノ問題等ガ澤山ニ起ッテ居ルト云フヤウナコトノ爲ニ遅レルト云フヤウナコトモ言渡ニ付テハアリマス、ソレカラ準備書面等ガ場合ニ依リマスと云フト、判決ノ口頭辯論ノ終決間際ニ相當大キナモノガ出ル、而シテ大體是ハ裁判：：辯論デ盡シタモノデアルト云フヤウナ意味ノ了解ノ下ニ其準備書面ヲ受取りマシテ、サウシテ段々調ベテ見ルト云フト、更ニ論點ト云フモノガ殖エテ來テ居ルト云フヤウナ事ノ爲ニ、餘程審理上困マリマシテソレ等ノ事カラ或ハ辯論ヲ再開スルヤウナ必要モ起リマス、又場合ニ依リマシテハ言渡期日ガ相當遅レルト云フヤウナコトモアルヤウデアリマス、勿論判事ノ方ニ於キマシテモ十分ニ又努力ヲスベキ餘地ハアルダラウト思ヒマス、此案ニ依リマシテ訴訟ノ準備ヲ勵行イタシマシテ、サウシテ法典ノ關係ヲ明瞭ニシ、サウシテ終結間際ニナッテ新シイ論點ガ殖エルト云フコトガ無イヤウニ致シマシタナラバ、餘程此點ノ弊害ハ省ケルカト思ヒマスノデアリマス、ソレガ又判決ノ職權ヲ以テ今度ハ送達スルコトニナリマスノデ、是モ

判決ノ遅レト云フコトニ付キマシテハ、相當ノ效果ガアルコト思ヒマス、司法ノ當局ト致シマシテモ是等ノ弊害ノ裁判所側ニ存スルモノニ付キマシテハ、是等ハドウシテモ改メナケレバナラヌト云フコトヲ十分考ヘテ居ル次第アリマス

○男爵渡邊修二君 唯今ノ政府委員ノ御説明ニ依リマシテ一應ハ了解イタシマシタ、其遅レル原因ニ付キマシテ、何カ司法省ニ於キマシテ表デモアリマシタナラバ戴キタイト思ヒマス、一年トカ三年トカ云フノハ特別ノ場合ダラウト思ヒマスカラ、其原因ガ如何ナル……今御説明ニナツタヤウナ原因デアッタカドウカト云フコトハ、何レ表デモ出来テ居ルダラウト思ヒマスカラ、アリマシタナラバ戴キタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ私ハ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ、唯今政府委員ノ御説明デハ、司法當局ニ於キマシテモ判事ノ方面ニ於ケル改善ヲシヤウト云フコトヲ御考ヘノヤウニ承リマスガ、此口頭辯論終結後言渡ノ遅レタリ或ハ言渡後判決ノ作成ガ遅レル、其主タル原因ノ一ツト云フノハ開廷ノ出勤デアリマシテ、不開廷ノ不出勤ノ日ガ甚ダ禍ヲナシテ居ルデハナイカト思ヒマス、能クハ存ジマセヌガ、東京、横濱、大阪、神戸、等ニ於キマシテハ、判事ハ大體法廷ノ開カレル日ノミ役所ヘ出勤イタシマシテ、開廷シナイ日ニハ内ニ居テ宅調ト云フコトニナツテ居ルサウデアリマス、此宅調ト云フノガ甚ダ問題ニナルト思ヒマス、宅調、宅調ト云ヒマシテ、私宅ニ於テ果シテ訴訟記録或ハ判決作成ニ從事シテ居ルカドウカト云フコトガ甚ダ疑ハシイト思ヒマス、此東京ノ裁判所ニ於ケル事例ヲ見マセバ、此宅調日ヲ利用イタシマシテ、判事ハ大抵私立學校ノ講義ニ參ッテ居ルノデアリマス、サ

ウシテ其一日ヲソレニ費シテ、詰リ宅調ヲ致サナクテ一日ヲ費スト申シテハ少シ極端カ知レマセヌガ、一日ノ大部分ヲ費シテ、宅調ハ僅ニ其夜位ニ致シテ、サウシテソレガ爲ニ判決ガ遅レ、判決ノ作成ガ遅レ言渡ガ遅レルト云フコトガ甚ダ多イト思ヒマス、ソレデ之ニ付キマシテモ判事ノ待遇ノ改善ト云フヤウナ事モ、亦問題ニナルダラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ本年度ノ豫算ニ於テ、僅カバカリデハゴザイマスガ、相當優遇スルコトガ出来ルダラウト思ヒマス、此豫算ガ通ツタノ機會ト致シマシテ、判事ノ内職ト申シマス、云フヤウナモノヲ禁止セラレテ、専心其職務ニ忠實ニ在ルヤウニ致サレテハドウカト思フノデアリマス、サウシテモウ一ツ申シマス、ハ、行政官吏ト俸給ガ同等デアル所ノ司法省ノ所謂高等官ニ於カレテモ、是ハ毎日出勤デアラウト思ヒマスガ、傍ラ學校ノ經營ナドニ當ラレテ、司法省ハ恰モ學校ノ事務所デアルガ如キ感ガアッタト仄カニ感ツタノデアリマスガ、唯今ハ如何カ知リマセヌガ、今デモマダサウ云フヤウナ方モアルカト思フノデアリマス、苟モ司法省ノ官吏デアッテ判事等ノ監督ニ當ル……マア實際上當テ居ラレト思ヒマスガ、當ル方ガ自ラ斯クノ如クシテ判事ヲ監督スルト云フヤウナコトハ出来ナイト思ヒマス、ソレデアルカラ此點ニ付テ餘程改善ガ願ヒタイト思ヒマス、是ハ政府委員ノ御意見ヲ聽クヨリハ、或ハ大臣カラ聽イタ方ガ宜イカト思ヒマス、併シ此機會ニ於キマシテ政府委員ノ御意見ヲ伺ヒタイ、私ハ申添ヘテ置キマスガ、徒ラニ司法當局或ハ判事ヲ攻撃スルノデハアリマセヌ、私ガ斯ノ如キコトヲ言フニ至ラ理由ト云フモノハ、實際民事訴訟ノ遅延ト云フコトハ、官民共ニ認メテ居ル

所デアリマシテ、此弊害ヲ除去スルニ非ザレバ、日本ノ裁判ノ神聖ヲ……神聖ト云ヒマス、神聖ト云フヨリハ裁判ヲ輕々シク見ラレル虞ガアルト思ヒマス、ソレガ爲ニ裁判所ニ訴ヘレバ一年掛ル二年掛ル、ソレヨリハ寧ろ暴力團ニ頼ンダ方ガ早イト云フヤウナ事例モ多イ、ソレデアリマスカラ、例ヘバ家屋明渡シノ事ノ如キ、暴力團ニ依頼スレバ一日カ二日デ済ム、裁判所ニ頼ムバ一年モ二年モ掛ルカト云フテ居ルコトヲ度々聞クノデアリマス、私ハ此民事裁判ノ遅延ノ改善ト云フコトニ付キマシテハ衷心カラ憂ヘル者デアリマシテ、皆様ト共ニ心配シテ居ル所デゴザイマス、ソレデ今申上ゲタコトハ司法當局並ニ判事ノミヲ非難セムトスル爲ニ言フノデヤナクテ、國家ノ爲ニ憂ヘテ居ルノデアリマスカラ、其所ハドウカ諒トセラレタイト思ヒマス

事ハ、矢張り此大ニ書類ノ精査ハ勿論、判決書ノ起草ト云フコトガ、是ハ實ハ一通リナラヌ努力デアリマシテ、殊ニ此判決書ノ起草ノ如キハ、中々頭ヲ冷靜ニ、又緻密ニ働カセル必要ガアリマス、多勢店リマスルヤウナ所デハ、實際起草ガ難儀ノヤウニ思ハレマス、適當ノ設備ヲ茲ニ設ケルト云フコトニナリマス、成程此宅ニ居ッテ仕事スルト云フコトハ、是ハマアドウシテモ役所ニ出テ仕事スルト云フノヨリモ、緊張味ヲ缺クト云フコトニ流レ易イノデアリマスカラ、出来マスルナラバ、役所ニ於テソレ等ノ事モ出来得マスルヤウニ十分ノ設備ヲ得タイト云フコトハ熱望シテ居ルノデゴザイマス、今日ノ狀態ニ於キマスルト云フト、先ヅ大キナ裁判所ニ於キマスルト云フト、即チ隔日出勤ヲシテ居ルヤウナ裁判所ニ於キマスルト云フト、殆ド此判事一人デ裁判所ノ全建物ヲ使用シテ居ルヤウナ工合ニナツテ居リマス、ソレデ、不開廷ノ日ニ同ジク出テ參リマシテ、判決ノ起草等ノ職務ヲ執ルト云フヤウナ設備ガ如何ニモ不十分デアリマス、是ハ是非改メマシテ、即チ家ニ居ッテ仕事スルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト云フコトハ、萬々考ヘテ居リマス、唯非開廷日ニハ非役ト云フヤウナ風ナコトニ考ヘラレマスルノハ、如何ニモ遺憾ニ存ジマス、或ハ其日一日ヲ費シテモ尙ホ足りマセヌデ、夜ニ巨ッテ書類ノ調査ヲスル、或ハ判決ノ起草ヲスルト云フコトハ、是ハモウ通常判事ガヤッテ居リマス、唯ダ矢張りソレガ然ラバモウ百年中デアルカト言ヘバ、サウデナイノデアリマスカラ、チヨット御話ニ依リマスルト、遊ンデ居ルヤウニ見エルトモナイト限リマセヌ、大體カラ申シマス、ト云フト、頗ル此時間ナシニ……夜晝ナ

○政府委員(池田寅二郎君) 此司法ノ革新ニ付キマシテノ御同情アル、又御心配ニ基イタ御意見ニ依リテノ御質問デアリマシテ、誠ニ有難ク拜承イタシマス、此判決書等ノ作製ガ遅レマスカト云フ事柄ニ付キマシテハ、何カ表デモ取テ居ルモノハナイカト云フコトデアリマシタガ、確カ表ハ出来テ居ラヌト思ヒマスガ、或ハ其事件ニ依ッテ何カ調査シタモノガアラウカト思ヒマス、若シ適當ナモノガアリマシタナラバ、御參考ニ差上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ判事ノ此宅調ノ問題デゴザイマスガ、是ハ渡邊委員モ其事情ハ能ク御承知ダト思フテ居ルノデアリマス、チヨット形ノ上デ見マス、ト云フト、一日出マシテ、翌日ハ家ニ居ルト云フヤウニナリマシテ、如何ニモ閑散ノヤウニアリマス、判事ガ此出勤日ノコトヲ考マスト、出マシテ書類モ見、訟廷ノ仕事ヲヤリマシテ、サウシテ今度イタス所ノ仕

事ハ、矢張り此大ニ書類ノ精査ハ勿論、判決書ノ起草ト云フコトガ、是ハ實ハ一通リナラヌ努力デアリマシテ、殊ニ此判決書ノ起草ノ如キハ、中々頭ヲ冷靜ニ、又緻密ニ働カセル必要ガアリマス、多勢店リマスルヤウナ所デハ、實際起草ガ難儀ノヤウニ思ハレマス、適當ノ設備ヲ茲ニ設ケルト云フコトニナリマス、成程此宅ニ居ッテ仕事スルト云フコトハ、是ハマアドウシテモ役所ニ出テ仕事スルト云フノヨリモ、緊張味ヲ缺クト云フコトニ流レ易イノデアリマスカラ、出来マスルナラバ、役所ニ於テソレ等ノ事モ出来得マスルヤウニ十分ノ設備ヲ得タイト云フコトハ熱望シテ居ルノデゴザイマス、今日ノ狀態ニ於キマスルト云フト、先ヅ大キナ裁判所ニ於キマスルト云フト、即チ隔日出勤ヲシテ居ルヤウナ裁判所ニ於キマスルト云フト、殆ド此判事一人デ裁判所ノ全建物ヲ使用シテ居ルヤウナ工合ニナツテ居リマス、ソレデ、不開廷ノ日ニ同ジク出テ參リマシテ、判決ノ起草等ノ職務ヲ執ルト云フヤウナ設備ガ如何ニモ不十分デアリマス、是ハ是非改メマシテ、即チ家ニ居ッテ仕事スルト云フヤウナコトノナイヤウニ致シタイト云フコトハ、萬々考ヘテ居リマス、唯非開廷日ニハ非役ト云フヤウナ風ナコトニ考ヘラレマスルノハ、如何ニモ遺憾ニ存ジマス、或ハ其日一日ヲ費シテモ尙ホ足りマセヌデ、夜ニ巨ッテ書類ノ調査ヲスル、或ハ判決ノ起草ヲスルト云フコトハ、是ハモウ通常判事ガヤッテ居リマス、唯ダ矢張りソレガ然ラバモウ百年中デアルカト言ヘバ、サウデナイノデアリマスカラ、チヨット御話ニ依リマスルト、遊ンデ居ルヤウニ見エルトモナイト限リマセヌ、大體カラ申シマス、ト云フト、頗ル此時間ナシニ……夜晝ナ

シニ此職務ニ就イテ居ルト云フヤウナ理窟ニナッテ居リマス、其點ハ一ツ十分ニ御諒察ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ又此裁判所ノ職員、又本省ノ職員等デ、學校ノ教授ヲ持チマスルト云フコトモ、是モ相當ニ行ハレテ居リマスルガ、是ハ又或程度マデハ此裁判事務ニ從事シマスル者ガ自分ノ職務上ノ研究ノ爲カラ申シマシテモ、何カ專門ノ此法律ニ付テ更ニ研究ヲシテ教鞭ヲ執ルト云フコトハ職務ニ差支ナイ程度ノモノデアリマスレバ、却テ又利益ヲスルト云フコトモアラウト思ヒマス、併ナガラ是ハ仰セノ通りニ此時間ノ問題デアリマシテ、度ヲ過ギルト云フコトニナリマスレバ、自分ノ研究ト云フヨリモ、職務上ノ時間ヲ其爲ニ少クスルト云フコトニナリ、茲ニ又弊害ガ起ッテ參リマスルノデ、是ハ餘程相當時間、相當ノ範圍デヤラネバナラヌト云フコトハ、司法省ニ於キマシテモ、夙ニ考ヘマシテ、司法行政ノ範圍ニ付キマシテ是等ノコトニ付キマシテハ、相當ナ制限ヲ致シマシテ、時間等ニ付キマシテモ、餘リニ職務ニ差支ナイ程度ニ、之ヲ限定スルト云フ方針デヤテ居リマスルヤウナ次第デアリマス、其外判事ノ優遇、其他ニ付テノ御意見ハ有難ク拜水スル次第デアリマス、幾分ジツ向上ノ域ニハ進ンデ居リマスルガ、マダ我々ノ目的地ヨリ見マスレバ相當遠ザカッテ居リマス、是カラ十分ニ努力ヲ致サナクチャナラヌト考ヘテ居リマス、チヨットソレダケ……

○男爵渡邊修二君 唯今承ハリマシタ所デ、大體ハ能ク分リマシタ、併シ其所謂内職問題ノ弊害ト云フコトニ付テハ、司法當局ニ於カレテモ御諒メニナッテ居ラレト思ヒマスカラ、何カ其……多分表デモ出來テ居ルデアラウト思ヒマス、是ハ參考ノ爲ニドナタハドノ學校ニ於テ教授ナリ、或ハ専務理事ナリ、校長ナリ、ト云フ資格ニ於テ幾何ノ講義ヲシテ居ラレルカ、一週何時間、例ヘバ月、火、水、木、金、土、日……月、水、金、或ハ火、木、土ト云フヤウナ調査表ガアリマシタラ……有ルコトト存ジマスカラ、若シ無カタラ至急御作製ノ上參考ノ爲ニ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 取調ヲシテ居ルヤウニ思ヒマスルカラ、出來テ居リマシタナラバ、早速差上ゲルコトニ致シマス

○水上長次郎君 先刻來渡邊委員ヨリ御質問ニナリマシタ點ニ付テハ、私共全ク御同感デアリマス、私ハ御承知ノ通り以前裁判所ニ居リマシタノデゴザイマスガ、殊ニ此御質問ニ對シテハ非常ニ恐縮スルト同時ニ、非常ニ嬉シク存スルノデアリマス、此裁判所ノ判決言渡書ガ、免角其作成ガ遅レルト云フコトハ、是ハドウモ渡邊委員カラ御話ニナリマシタ通り掩フベカラザル事實デアアルノデアリマス、私共モ在職中ニ於キマシテハ、非常ニ之ニ付テ苦心ヲ致シマシタ、又當事者若クハ辯護人アタリカラ度々話モ出マシテ、其度毎ニ種々ノ考慮ヲ回ラシテ出來得ルダケ早ク判決書ノ作成ヲスルヤウニト云フコトヲ、判事其ノ人ト協議ヲ凝ラシタコトハ、度々アリマス、併ナカラ政府委員ノ説明イタサレマシタ通り、此民事ニ付キマシテハ刑事ト違ヒマシテ、此判決作成ト云フコトガ非常ニ困難デアアル、而シテ非常ニ重大ナルコトデアアルノデアリマス、民事裁判官ノ仕事ノ大部分ト云フモノハ、判決作成ニアルダラウト思ヒマス、又判事ガ最も心血ヲ注グ所ハ是モ亦判決作成ニアルダラウト思フ、デアリマスカラ、極ク簡單ナ事件デアリマスレバ、サウデモアリマセヌガ、少シ念ノ入ッタ事件デアリ

マシテ、サウシテ調書ノ澤山アル事件トナリマス、非常ニ手間ノ要カルモノデアリマス、是ハドウソ十分ニ御諒察ヲ願ヒタイ、私ハ政府委員デアアリマセヌケレドモ、實ハ在官シテ居リマシタ緣故ヲ以チマシテ御願ヒテ致スノデアリマス、併ナガラ又半面ニハ外部カラ見ルト、何カ怠慢ナ結果作成ガ遅ナルノデハナイカト思ハル、ヤウナコトモナイデハアルマイト思ヒマス、多クノ中ダカラ……ソレハ斯ウ云フコトガアリマス、非常ニ困難ナ事件デアリマス、口頭辯論デハ一應能ク事實ノ概要、全體ノ趣旨ト云フモノガ了解ハ出來マスガ、諸テ筆ヲ執テ判決書ヲ作成スルト云フ段ニナルト餘程難カシイコトガアリマス、ソレデスカラ一度筆ヲ執テ、又明日頭ノ清ラカナ時ニ書カウトスルト、相變ラズ筆ガ進マナイト云フコトニナッテ、ツイ延ビ延ビニナルト云フ結果、肝腎ノ口頭辯論ノフツコトヲ忘レテシマフト云フコトニナリ、彌難カシクナル結果ガ或ハ口頭辯論再開ト云フコトモアリマセウシ、又更ニ協議ヲシテ、是ハ内輪ノコトデスケレドモ、更ニ協議ヲシテ、事實ヲ確メルト云フコトモアリマセウ、マアサウ云フヤウナ事情デナカ……内輪ニ入ッテ見マス、ドウモ渡邊委員ノ御話モ一應ハ御尤モデスケレドモ、餘程ドウモ同情スベキ點ガアルダラウト思フノデアリマス、ソレハ諸ア措キマシテ、判決ノ言渡シヨリ一週間ニ書記ヲ交付スルト云フコトガ判決書作成期日ニナッテ居リマス、是ハ現行法モ同様デアリマス、所ガ實際判決言渡カラ作成マデノ期間ガ七日デ大部分ガ出來ルカドウカト云フコトハ、私ハ頗ル疑問ト致シテ居ルノデアリマス、ソレデ今日マデ判決書作成ガ遅レルト云フコトハ中外ノ批難デアリマスカラシテ、ソレハ畢竟法律ニ

明クナイ人デアルカラ、マダ可シイ、若シモ法律ニ極ク明イ人デアッタナラバ、刑事訴訟法デハ七日内トアルノニ一月經テモ二月經テモ渡サヌノハドウ云フ譯カ、監督官ハ何ヲシテ居ルカ、斯ウ云フ非難ガ今後ハ吃度起ララウト思フ、今マデハサウ云フ手嚴シイ沙汰ハアリマセヌケレドモ、是カラ追々サウ云フコトニナルダラウト思フ、サウ云フコトニナリマシタナラバ、今私が申シマシタヤウナコトヲシテハ、ドウモ辯解ニハナルマイト思フ、デアリマスカラ、法律ニ於テ此期限ヲ定メルニ付テハ十分ニ裕リテ置カレムコトヲ私ハ切ニ望ム、體裁バカリデアアリマセヌ、前ニ一週間ニナッテ居ッタカラ、是モ一週間ニシナケレバナラヌト云フノハ、ソレハ形ニ捉ハレタ話デ、事實ニ根據シテ十分ニ裕リヲ置イテ、サウシテソレヲ怠ラ十分ナ處置ヲスルゾト云フダケノ確タル見込ノアル所デ定メナケレバナラヌコトデハナイカト思フ、ソコデ先程渡邊委員カラモ御話ニナリマシタ通り、若シ司法省ニ於テ御調ベニナッテ居ルナラバ、ドウカ是マデ口頭辯論終結ヨリ判決言渡シマデノ期間ハ凡ソ平均ドレ程要カッテ居ルカ、ソレカラ其次ニ裁判言渡シカラ裁判所書記ニ交付シタ日數ハ平均ドレ程ニナッテ居ルカ、ソレカラ又是ハ少シ無理ナ御注又カモ知レマセヌケレドモ、若シ出來ルコトナラ私參考トシテ承テ置キタイノハ、是マデ裁判所ニ居リマシタ時分ニハ現行法デハ判決ノ送達ト云フモノハ申立ニ依テナスノデアリマスガ、ソレデ免角申立ガ遅レ勝ニナルヤウニ思ヒマス、ソレハドウカト云フニ、利益ノアル人ハ送達ヲ求メマスガ、不利益ナ人ハ知フヌ顔ヲシテ居ルト云フヤウナ話デアリマスカラ、ツイドウモ延ビ延ビニナリマスガ、控訴ヲス

ル……何カ判決ニ對シテ處置ヲシヤウト思フテ、判決書ノ送付ヲ求メルガ、一向下渡シテ貰ヘヌ、斯ウ云フコトヲ能ク聞キマス、ソレカラ當該判事ニ聽ケバナカ……相當ノ理由ガアリ、尤モナ次第デアリマスカラ、決シテ意テ居ル次第デアリマセヌガ、此控訴スル當事者ニ取テ見マス、判決書ノ交付ト云フモノガ遅レマスト裁判ノ確定期ガ段々延ビテ來ル、非常ナ不利益デアリ、併ナガラソレハ控訴期間ハ判決正本送達後ト云フヤウナコトガアリマスカラ、可シイクレドモ、非常ナ利害ノ關係ガアルノデアリマスカラ、ドウカ裁判所ヨリ當事者ヘ送達シタノハ、判決書ヲ受取テカラドレ程ノ間ニ送達シテ居ルカト云フコトヲ御調ベニナッテ居レバ、參考トシテ御示シテ願ヒタイ、是ハ唯政府委員ヘ御願ヒスルノデス、是カラヲヨット各條ニ付テ御質問シタイノデスガ、ドウデスカ

○委員長(河村讓三郎君) 恰度時間デスカラ、是デ休憩シテ午後二御願ヒ致シマス、午後一時半カラ始メマス

午後零時八分休憩

午後一時三十七分開會

○委員長(河村讓三郎君) ソレデハ開會イタシマス、午前二續キマシテ裁判ノ節ノ質問ヲ願ヒマス

○水上長次郎君 現行法二百三十條ニ「判決辯論ヲ經タル總テノ攻撃及ヒ防禦ノ方法ヲ包括ス」、其第二項ニ「數箇ノ獨立ナル攻撃又ハ防禦ノ方法中其一箇ヲ適切ナリトスルトキハ裁判所ハ他ノ方法ニ付キ判斷スル義務ナシ」斯ウ云フコトガアリマス、此規定ハ此案ニハナイノデアリマス、從來裁判官ガ民事ノ判決作成ニ付テ非常ニ致シマスルノハ、午前ノ何カ質問ノ機會ニモテヨ

ト申上ゲマシタ通り、非常ナモノデアアルノデス、其原因ハ多クアリマセウガ、其中ノ主ナルモノハ原告及被告ヨリ提出イタシマシタ所ノ攻撃及防禦ノ方法ニ付テ一々取捨ヲ判斷シテ居ルノデアリマス、小サナ事件デ又ソレ程ムツカシクナイ事件デアリマシタナラバ、ソレ程ノ手數モ要シナイデアリマセウガ、一審ニ繫屬スル事件ノ多クハ攻撃防禦ノ方法ハナカ……澤山アルノデアリマス、是ハ記憶ヲ追テ想像スルノデアリマス、是ハ一事件ニ付テ五號以上ノ防禦方法ノナイモノハナイ、以下ノモノハアルマイ、多クハ十、二十、三十ト云フモノヲ見受ケルヤウデアリマス、中ニハ二十號證三十號證ト云フヤウナモノモナイデアリマセヌ、サウ云フモノハ大シテ多クハアリマセヌガ普通ドウモ五號以下ノモノハアルマイカト思フ、其中ニハ隨分價ノナイモノモアリ、又重要ナモノモアリマスカラ、價ノ有ル無イニ拘ラズ、是マデハ一々取捨ノ判斷ヲシテ居タ、ソレハドウ云フ所カラ出ルト云フノハ、今讀ミ上ゲマシタ二百三十條ノ「判決ハ攻撃及ヒ防禦ノ方法ヲ包括ス」即チ攻撃及ヒ防禦ノ方法ニ付テハ一々判決シナケレバナラヌト云フコトニナッテ居ルノデアアル、ソレデアリマスカラ、無用無價値ノモノデモ、又本案ニ大シタ關係ノナイモノデモ一々挨拶ヲシテ居ル、其手數ト云フモノハナカ……容易ナラヌモノデアアル、尤モ二百三十條ノ第二項「數箇ノ獨立ナル攻撃又ハ防禦ノ方法中其一箇ヲ適切ナリトスルトキハ裁判所ハ他ノ方法ニ付キ判斷スル義務ナシ」ト云フコトガアリマスカラシテ、此項ノ規定ニ依リマス、サウ一カラ十マデスルニハ及バナイデヤナイカト云フ議論モ起リマセウ、トコロガ證據ノ説明ニ付テハナカ……嚴重デ上級審ニ付テハ喧シイ、喧

シイ、ト云ッテハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、隨分證據ノ説明ガ足りナカッタトカ、何トカト云フノデ破棄セラレルノガ非常ニ多イ、デアリマスカラ判決ヲ作成スルニハ何デモ彼デモ一通リチヨット挨拶シテ置イタナラバ破棄セラレルコトデアアルマイト云フヤウナ弱點カラ、自然ソレヲ書クト云フコトニナッテ居ルノデアアル、私共常ニソレヲ考ヘテ、今讀ミ上ゲマシタ第二項ヲ何處マデモ擴張シテ成ルタケ必要ナ成ルタケ端のナモノダケニ止メテ置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、ナカ……實際ハサウナッテ居ラス、其事ハ當局及政府委員ニ於テモ十分ニ御承知デアラウト思フ、ソレデ其條項ヲ削ラレマシタノハ大イニ意味ノアルコトデアラウト考ヘル、案ノ此條項ヲ省カレマシタ所ノ理由、事情ヲ一應承リタイ、其次ニ第百八十五條ノ規定ニ依リマスト判決決デテ事件ノ判斷ヲスルニハ、辯論ノ全趣旨及證據調ノ結果ヲ斟酌シ自由ナル心證ニ依テ事實上ノ主張ヲ眞實ト認ムルカ否ヤヲ判斷スルト云フコトニナッテ居ル、是ハ現行法トハ大體ノ趣旨ニ於テハ變リハナイヤウデアリマスカレドモ、文字ノ使ヒ方ガ大分變テ居ル、デアリマスカラ自然意味ニ於テノ強弱ハアルダラウト思フ、ソレニ付キマシテ政府委員ノ御考ヘハ意味ニ於テモ又文字上ニ於テモ決シテ變リガナイト云フ御考ヘカ、又斯ウ云フ使ヒ方ヲシタカラ斯ウ云フ意味ヲ含マセテ居ルト云フノデアアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、先ツ取敢ヘズ此二點ニ付テ伺ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 案ニ於キマシテ現行法ノ二百三十條ニ相當スル規定ヲ設ケマセナンダノハ、是ガ何トモ結局此通りニナルベキモノデアルト云フ所カラ置キマセナンダノデアリマス、詰リ判決ヲ爲スニ必要ナル理由ノ判斷ト云フモノハ是ハドウシテモシナケレバナラヌ、其必要ナラザル部分ニ付キマシテハ、或ハ爭點ニ付テモ、或ハ證據上ノ事ニ付テモ判斷ヲスルコトハ要ルマイト云フコトニ自ラ來ルデアラウト云フ所カラ寧ろ斯ノ如キ規定ハナイ方ガ却テ宜カラウト云フノデ削リマシタノデアリマス、ソレカラ第百八十五條、是ハ現行法ノ二百十七條ニ當リマスノデアリマスカラ、文字ヲ整理イタシマシタニ過ギマセヌノデ、其趣旨ハ同様ニ相成ッテ居リマス

○水上長次郎君 是マデ民事判決ニ付テ證據主義トカ云フヤウナコトハヨク裁判官モ申シマスシ、學者モ言フテ居リマスヤウデアリマスカレドモ、自由心證主義ト云フコトハ未ダ會テ聞イタコトガナイノデアリマス、或ハ私ノ寮間カモ知レマセヌ、此現行法ニ自由ナル心證ト云フコトガアルニ拘ラズ、前慶申シマシタ通り、現在ノ訴訟法ト云フモノハ不干渉主義デ、即チ本人主義デアルト云フコトヲ高唱セラレテ居ルノデアリマスカラシテ、事實ノ真相ハドウデアラウトモ、證據ノ有ル無イニ依テ判斷スレバ宜イ、證據ト事實ト間違ッテ居テモソレハ仕方ガナイ、デアリマスカラ、裁判官ガ證據ノ有ル無イニ拘ラズ、進ンデ其真相ノ如何ヲ極メルト云フ風ニ餘リ力ヲ入レナカッタノデアアルマイカト私ハ先キ申上ゲマシタ、所ガ今度デハ自由心證主義ト云フコトヲ司法省カラ配布サレマシタ所ノ改正理由書ニ書イテアル、頗ル私ハ結構ナ文字ヲ發見セラレタコトデアルト私ハ喜ンデ居ルモノデアリマスガ、果シテ一種ノ主義ト云フモノガアリマスルナラバ、其主義ト云フノハドウ云フヤウナ主義デアアルカ、ソレヲ一ツ伺ッテ置キタイ、是ハ私ハ徒ニ其文字ノコトニ付テ彼此申スノデハナイ、今日迄

裁判官が民事訴訟ニ付テ非常ニ惱シ居ルノハ此點デアル、是ハ屢、繰返シテ申迄モナイコトデアリマスガ、ヨク或ル人ニ向ッテドウモ此事實ハ聞イテ見ルト云フト證據ハアルカモ知レヌガ、事實ノ真相ハサウデナイカモ知レヌ、ソレハサウデアルカモ知レナイガ、奈何セム證據ガ無い、證據ハ無いガ事實ガサウデアラウト云フノハ、何ニ依ッテサウ見ルカ、心證デ見ル、サウシタラ即チソレガ證據デハナイカ、ソレハ法律ハ心證ヲ證據トハ言ハヌガ、法律ノ規定デ自由ナル心證デアルト云フヤウナモノナラバ、前ニ證據ガ無クテモ眞實ハ斯ウデアルト認メタナラバ、ソレヲ自由心證ニ依ッテヤラナケレバナラヌ、斯ウ言ヒマシタ、併シ證據ガ無ク、例ヘバ茲ニ證人ノ證言ガアルケレドモ、例ヘバ是ハ誰某ニ貸シマシタモノデゴザイマス、所ガ一方ハ決シテ借りマセヌ、何カ證據ガアルカ、別ニ證據ハアリマセヌ、私ハソナ金ヲ借りヤウナ者デハナイ、家ニ數十万ノ財産モアリ、土地モアリ、家屋モアリ、公債證書モアル、又近所界限ニ於テ私ノ名前ヲ知ラナイモノハ無い、ソナ端々金ヲ借りタ覺エガ無い、ソレデモ自分ノ方ニ斯ウ云フ證文ガアル、併シソレハ登記トカ何トカ云フ時ニ、人ニ頼ンデ印形ヲ渡シタ、其時ニ捺シタノデアリマセウ、決シテサウ云フ端々金ヲ借りタル覺エが無い、ケレドモ其モノニ付テ證據ナリ、言フ所ヲ調ベテ見ルト尤モラシイ、尤モラシク信ジテ居ルガ、奈何セム口頭無證ト云フコトニナツテ、裁判官ハ其人ノ性行ト言ヒ、資産ト云ヒ、信用ト言ヒ、閑歴ト言ヒコンナ端々金ヲ借りルト云フコトハナイト信ズルガ、奈何セム證據ガ無い、其證據ガ偽造サレタモノデアルトカナイトカ言フコトハ、證據ニ依ッテ判斷スルト云フコト

ヨリ外途ガ無い、若シモ刑事訴訟法ノ如ク自由ナル心證ニ依ッテヤラナラバ、假令證人ガ何ト言ハウトモ、證人ノ言フコトダケハ信ズル譯ニ行カヌデアラウカラ、此者ガソナ者デアルトカナイトカ云フコトハ、判事ノ思フ通りノ判斷ガ出來ル、ソレガ尤モ反對ノ證據ガアレバ、多少挨拶シナケレバナラヌガ、自由ノ判斷ガ出來ル、デサウ云フ事情デアリマスカラシテ、茲ニ自由心證主義ト云フノヲ掲ゲテ居ルノハ、實ニ嶄新ナ文字デアアル、我々ノ耳ニ非常ニ有難ク響クノデアリマス、ドウカ其趣意ヲ速記録ニ於テ御差支ガアリマスレバ一時止メマシテモ宜シウゴザイマスガ、腹藏ナキ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 自由心證主義ト云フコトヲ茲ニ書キマシタガ、特ニ嚴格ナ意味ヲ以テ書イタ譯デハアリマセヌ、現行法ノ二百十七條ニモ「自由ナル心證ヲ以テ判斷スヘシ」トアリマシテ、此案ニ依ッテモ自由ナル心證ニ依ッテ主張ノ眞實ナルヤ否ヤヲ判斷スルコト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ文字ニ表シマシタニ過ギナイノデアリマス、學理上、學說上相當ノ議論アルコトト思ヒマスガ、假リニ私ノ唯思フ所ヲ申シマスレバ、詰リ此證據ノ或ル形式ニ依リマスト云フト、或ル形式ノ證據ガ備テ居レバ、ドウシテモ或ル認定ヲシナケレバナラヌ、又或ル事實ノ認定ヲスルニハ或ル形式ノ證據ガ無クテハナラヌト云フヤウニ定メラレマシタ、時代ノ證據法ノ定メノアツタコトモアルノデゴザイマス、詰リ形式證據デアリマシテ、ソレダト云フトドウシテモ或ル種ノ證據ガアレバ或ル判斷ヲシナケレバナラヌシ、又或ル判斷ヲスルニハ或ル種ノ形式ノ證據ガ要ルト云フコトニナリマシテ、裁判官ガ自由ニ其間ニ心證ヲ片付ケ

ルト云フコトヲ許サレナイ、サウ云フ證據上ノ原則ヲ採用シテ居ッタコトガアリマスカ、ソレデハ眞相ノ發見ニ付テ面白クナイ、所謂形式證據ト云フコトヲ止メマシテ、言論並ニ證據ノ全體ノ趣旨ヲ斟酌イタシマシテ、裁判所ガ全ク法律上、法律のニ或ル判斷ヲ爲サネバナラヌト云フヤウナモノヲ設ケナイデ、ソレハ全ク裁判所ノ心證ノ動ク所ニ隨ヒマシテ、得タ所ノ結論ヲ以テ裁判ヲスルト云フコトニ決メタモノト思ヒマス

○水上長次郎君 矢張り只今御尋イタシマシタコトニ牽聯ヲシテ居ルノデアリマスカ、百九十一條、此條ニハ判決書ニ記載スベキ事項ガ定メテアルノデアリマス、其中デ判決文ニハ事實及ビ争點ヲ掲ゲテアル、是ハ勿論デアリマス、ソレカラ第三ニ理由、其理由ト云フ中ニハ自ラ此争點ノ説明モ這入り、判斷ニ基ク所ノコトモ這入り、色々ノモノガ這入ルケレドモ、從來ノ這入り方ハ先程モ申上ゲマス通り、殆ド一々證據ニ付テ説明ヲシテ居ル、チヨット少シ無遠慮ナ申シ方カ知レマセマカ、判決書ヲ一讀スルト、何ヤラ調書ノ寫シク何カ見テ居ルヤウナ氣ガシテ、如何ニモ寸鐵人ヲ殺スト云ヤウナ理由ト云フモノハ一向發見シナイ、何々ナント云フコトガ、ソレヲ見ルト何處ガ有力ナ證據デアアルカソレガ分リマセヌ、畢竟理由書ヲ見ルト調書ノ拾書キノナウナ感ジガスルノデゴザイマス、ソレハ何故サウ云フコトニナルト言ヘバ、先程モ申上ゲマシタ通り、攻撃防禦ノ方法ハ判決ニ包含スト云フヤウナコトガアリマスカラ、一モ二モナク挨拶ヲシナイデ説明ヲシナケレバナラヌコトニナルダラウト思ヒマス、所ガ今度ノハ理由トノミアツテ、サウシテ其末項ニ……末項デハアリマセヌ、二項ニハ「事

實及争點ノ記載ハ口頭辯論ニ於ケル當事者ノ陳述ニ基キ要領ヲ摘示シテ之ヲ爲スコトヲ要ス」トアル、此要領ト云フコトハ、ソレハ争點事實ノ要領デゴザイマシテ、理由ノ要領デナイ、事實及争點ノ記載ハ其要領ヲ摘示シテ之ヲ爲スト、斯ウアルハ現行法ノ二百三十六條デス、ソレニハ此摘示イタシマシタ所ノ二項ト云フモノハナイ……三項ト云フモノハナイ、サウシテ此理由ト云フ方ニ持ッテ來テ理由モナイ、其チヨット今申上ゲマシタノハ後先キニナリマシタガ、此現行法デハ此争點事實及争點記載ト云フ現行法ノ第三項ニナツテ居ルノハ、此別ノ方ニ設ケテアル、ソレハ唯、事實及争點ト云フ所ヘ持ッテ來テ、其摘示ヲセヨト、斯ウ書イテアル、ソレデスカラ現行法ニ依リマス、裁判文デ見ルト、判決書ニハ唯、理由ト、ソレカラ事實争點ノ摘示ト、其外ハマア主文トカ何トカアリマスカレドモ、今御尋ヲシヤウトスル事柄ニ付テハ、其二ツガ重ナルモノデアアル、所ガ今度ノ方デハ事實争點ノ記載ト云フモノガ三項ニナツテ居ル、サウシテ攻撃防禦ノ方法ト云フモノハ一々包含ヲシナイトハ書イテアリマセヌケレドモ、スルト書イテ居ルノハ削ッテアルノダカラ、サウスルト裁判官ノ記載スベキ事項カラ考ヘテモ、是マデノヤウニ一々證據方法ニ付キ説明スルコトニ付テ苦勞ノ必要ガナイ、裁判官ニ於テ是ガ最も有力ナル證據デアアル、之ニ依ッテ事實ガ明カニ分ルト云フコトニナレバ、ソレニ付テ説明ヲスルヤウニスレバ宜イ、其點ニ付テハドウデスカ、御伺ヒ致シマス

○政府委員(池田寅二郎君) 現行法ノ二百三十六條ノ此二項デアリマス、即チ「事實及ヒ争點ノ摘示」、是ハ「當事者ノ口頭陳述ニ基キ殊ニ其提出シタル申立ヲ表示シテ之

ヲ爲ス、斯ウアリマス、ソレニ對シマシ
テ此案デハ事實爭點ノ記載ハ口頭辯論ニ於
ケル當事者ノ陳述ニ基キ要領ヲ摘示シテ之
ヲ爲ストナシテ居リマス、大體ノ趣旨ニ於
テ變リハナイノデアリマス、要領ノ摘示ト
云フコトハ、特ニ其意味ヲ表ハシタノデア
リマスガ、今日實際ヤテ居リマスル所モ
矢張り此當事者ノ陳述ト云フモノヲ判決書
ニ書キ上ゲマスル際ニハ、矢張り此事實上
ノ主張並ニ其答辯トスル要領ヲ摘示スル
云フコトニ、實際ナシテ居リマス、尤モソ
レニ矢張り此巧拙ハアリマスケレドモガ、
大體ハ要領ノ摘示ト云フコトニナシテ居
マス、デ此案デハ特ニソレヲ明瞭ニ致シマ
シテ要領ヲ摘示シテヤルト云フコトニ致シ
マシタノデゴザイマス、又此判斷ヲ致シマ
スルノニ付テ、全ク關係ノ無イ、必要ノ無
イ主張ハ、是ハ無論現行法ノ下ニ於テモ省
クコトニ相成リマスルシ、此案ニ依リマシ
テモ、是ハ無論省クト云フコトニナシテ居
ルノデアリマス

○志水小一郎君 唯今御説明ニナリマシタ
點ヲ尙ホ確メテ置キタイと思ヒマス、現行
法ノ二百三十六條ノ第二號ノ規定ニモ同ジ
ヤウナ規定ガアリマスガ、現行法ノ二百三
十六條ノ第二號ノ規定モ、ソレカラ今度御
設クニナリマシタモノニモ、之ニ相當スル
規定モ、文字ハ違フケレドモ、意味ニ於テ
ハ變ラヌト云フ御説明デアリマセウカ
○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデアリ
マス

○志水小一郎君 ソレカラハ妙ナ御尋デ
アリマスガ、今度ノ案ハ大分思ヒ切ツタ文
字ガ使テアルヤウニ私ハ考ヘルノデス、例
ヘバ判決ト云フ時ニ、判決ト云フモノハ、
矢張り一ツノ行爲ニ違ヒナイケレドモ、ソ
レガ其行爲ニ依ッテ爲シタ所ノ判決ガ文字

ニ現ハレテ居ル書キ物ヲ直グニ判決ト記載
スル、是ハ現行法ニモボツアルヤウデ
アリマスガ、此法案ハソレガ一層更ニ進
デ居ルノデアリマセウカト云フコトヲ思
フ、刑事訴訟法アタリニハ判決書其モノヲ
直チニ判決ヲ受クルナドト云フヤウナ言葉
ハ、私ハ無カッタヤウニ思ヒマスガ、是ハ多
年ニ御實驗デ、裁判所ニサウ云フ熟字ガ……
無形物ガ有形物ニ用キラレルヤウナ慣例ガ
出來タノデアリマセウカ、例ヘバ能ク聞イ
テ居リマスガ、英吉利アタリデハ「コト」
裁判所ト云フ字ヲ、何時ノ間ニカ慣用上、裁
判官ト云フコトニ讀ムヤウニナシタト云フコ
トヲ聞イテ居リマスガ、是ハ歴史沿革カラス
ウナツテ來タノデアリマシテ、此案ハ今ノ無
形ノ行爲ガ、有形ノ行爲トナシテ現ハレテ居
ルト云フコトハ、比較的多イヤウニ思ヒマ
スガ、サウ云フ御趣旨デハナイノデアリマ
セウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 仰セノ通りデ
ゴザイマス、無形ノ意味ニ於ケル判決ト、
ソレカラソレヲ文書ニ現ハシタ形アルモノ
トシテノ判決ト云フモノヲ、同ジ言葉ヲ使
テ居リマスノデ、現行法ノ用例ヲ、其點ニ
於テハ踏襲シテ居ルコトニナシテ居リマス
○志水小一郎君 大概分リマシタガ、私ノ
御尋ハ現行法ヨリハ遙ニ進ンデ御用キニナ
テ居ルノデアリマス、刑事訴訟法ナドハ殆ド斯
ウ云フ用例ガナイカノヤウニ思ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) マア現行法ト、
其點ハ大概同ジデヤナイカト思ヒマス、尙ホ
又能ク調べテ見マス

○水上長次郎君 百八十九條デ御尋ヲ致シ
マス、百八十九條デハ判決言渡ハ主文ヲ朗
讀トシテ之ヲ爲スト云フコトニナシテ居
マス、是ハ現行法ノ二百三十四條ト變リハ

ナイヤウデアリマスガ、二百三十四條ノ方
デハ關席裁判ノ時ニハ主文ヲ作ラズトモ言
渡ガ出來ルト云フコトニナシテ居リマス、此
案デハ關席裁判ガアリマセウカラ、ソレハ
ソレデ宜シイガ、私ノ御伺ヒシタイノハ、
此本條ノ第二項ニ「相當ト認ムルトキハ判
決ノ理由ヲ朗讀シ又ハ口頭ヲ以テ其ノ要領
ヲ告グルコトヲ得」ト斯ウアル、ソレデ判
決理由ヲソノ朗讀スルニハ當事者ノ申立ガ
アラウガ、アルマイガ、裁判官ガ至當ト認
メタトキニ限ッテ朗讀スルノデアアルカラシ
テ、斯ウ云フコトニナルト、自然主文ダケ
ヲ作ッテ判決文ヲ作ラズニ、主文ダケヲチ
ヨツト書イテ言渡スヤウナコトガ自然起ル
譯デアリマス、サウナテ來ルト云フト、自
然判決作成ト云フコトガ遅レ勝チニナル、
現在ニ於キマシテモ、判決ノ作成ト云フモ
ノハチヤント期限ガ決メテアル、決メテア
ルニ拘ラズ、出來ナイ、出來ナイト云フト、
先程モチヨツト申上ゲマシタ通り主文ヲ朗
讀スルコトヲ以テ足レリト云フ規定モ、幾
分カ其原因ヲナシテ居リハシナイカト思フ、
若シモ法律ニ於テ判決ヲ言渡ストキニハ、主
文ハ勿論、理由モ、何ニモカモ出來テ、直
グニ正本トシテ作ルモノハ作ルヤウニ作ラ
ナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ決メテア
レバ、後デユツクリ書カウト云フコトハ出來
ナイ、デアリマスルカラ此改正案ノ趣旨ニ
シテ裁判ノ期限、裁判ノ落着ト云フモノヲ
成ルベク速クニシタイト云フ考カラシテ致
サレタモノデアアルナラバ、總テ此裁判ノ落
着ヲ遲ラスヤウナ習慣、若クハ規定ト云フ
モノハ成ルタケ選ケタ方ガ宜カラウト思フ、
ト云ッテ裁判官ガ出來ナイヤウナモノハ、法
律ニ規定スルニ及ビマセウケレドモ、是ナ
ラバ大概出來得ルモノト云フヤウナ大體ノ
所デ決メテシマシテ、サウシテドコマデモソ

レヲ履行スル、斯ウ云フコトニシタラ私ハ
宜カラウト思フガ、此百八十九條ヲ規定セ
ラレタ政府ノ御趣旨ハドウ云フヤウナモノ
デアリマセウカ、ソレヲ一寸伺ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 只今御質問ノ
點ハ現行法ト其趣旨ヲ同一ニシテ居ル判決
主文ノミナラズ、判決全體ノ作製ヲ終リマ
シテ、然ル後ニ言渡ヲスルト云フコトハ誠
ニ望マシイコトデゴザイマスルケレド
モ、實際ニ付テ見マスルト云フト、先程モ
御話ノ通りニナカ……ニ判決ノ作製ト云フ
モノガ相當手間取ルト云フコトデアリマス
ルノデ、然ルニ此協議ハ濟ンデ裁判所ノ判
決ガモウ決ッテ居ルト云フコトデアリマス
以上ハ一刻モ早ク言渡シヲ致シマシテ當事
者ノ關係ヲ茲ニ決メルト云フコトガ必要デ
アラウ、デアリマスルカラ、先ヅ主文ガ出
來タナラバ言渡ヲシテモ差支ナイト云フコ
トヲ規定イタシタ次第デゴザイマス

○水上長次郎君 政府ニ於ケレマシテハ判
決主文バカリノ言渡ト云フ制度デアアルガ爲
ニ、自然判決ノ作製ガ遅レルト云フコトヲ
御認メニナルノデアリマスガ
○政府委員(池田寅二郎君) ソレハ此主文
ヲ作ッタノミデ言渡ヲ致シマスルガ爲ニ、特
ニ判決ノ作製ガ遅レ勝チニナルト云フコトニ
ハ必シモナルマイカト思ヒマス、是ハ色ミ
ナ事情ガアリマスノデ、十分取扱上ニ改正
ヲ加ヘマシテ成ルベク早ク判決ガ出來ルヤ
ウニシナケレバナラヌトハ考ヘテ居リマス
○副主査(河村謙三郎君) 如何デスカ御質
問ハアリマセウカ
○佐竹三吾君 此百八十七條ノ第二項ト云
フノハ新シイ規定ノヤウデアリマスガ、是
ハ詰リ從來ノ取扱ハ殆ド全部ノ陳述ヲ繰返
シテ居ッタノヲ、此處デ制限シタト云フコト
ニナルノデアリマスガ、一體判事が更迭ス

ルト云フコトハ役所ノ都合デアッテ、訴訟當事者カラ言ヘバ、何等關係ノナイコトデアアルノデアリマス、ソレデ陳述ノ義務ヲ當事者ニ負ハサレタト云フコトハ、随分迷惑ナ話ノヤウニモ見エルノデアリマスガ、一體斯ウ云フコトハ、更迭シタ判事ガ間クマデモナク、前ノ調書ヲ調べ分ルコトデアリマスカラ、其實際ノコトヲ知ラナイ私共カラ見ルト、却テ制限的ノヤウナ規定ニ見エルノデゴザイマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ御尋デアリマス、本條ノ一項ニ於キマシテ口頭辯論ニ關聯シタル判事ガ判決ヲスベキモノデアアル、ソレデ口頭辯論即チ直接審理ヲヤリマシタ其判事ガ、其辯論ニ基イテ判斷ヲ下スト云フコトガ本則ニ相成ルノデアリマス、所ガ其辯論ノ途中デ判事ノ更迭ガアリマス、後ニ參リマシタ判事ガ其前ノ辯論ヲ直接ニ聽イテ居ラナイノデゴザイマスカラ、ソコデ更ニ當事者ヨリ其辯論ノ結果ヲ演述イタサセマシテ、而シテ始メテ當事者ノ辯論ヲ聽クト云フ結果ヲ得ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、是ハ現在ニ於キマシテモ、判事ノ更迭ノアリマシタ場合ニハ、辯論ノ更新ト云フ手續デヤッテ居リマスノデ、ソレヲ此通りニ明確ニ致シマシタニ過ギナイノデアリマス

○佐竹三吾君 今ノ御答辯デ御趣旨ハ分リマシタノデゴザイマスガ、サウシマスルト第一項ノ規定ハ自ラ第二項ノ規定ニ依ッテ變更サレタト云フ風ニマデ、サウ云フ效力モアルノデアリマスガ、サウ云フ意味ガアルノデアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 第一項ノ規定ヲ、結果ヲ得マス爲ニ、此第二項ト云フモノガ置カレタ譯ニナリマス

○佐竹三吾君 寧ロ第一項ガ一體原則トシ

テ判事ガ更迭シナイト云フコトヲ決メテ居ルノモ役所ノ都合デアリマシテ、事實サウ云フコトヲ決メルコトハドウカト思フノデアリマスガ、若シ第一項ノ趣旨カラ云ヘバ、判事ハ一人モ更迭ガ出来ナイヤウナコトデアリマスガ、尤モ死ヌト云フ場合モアルノデアリマスガ、死シタリ退職シタリシタ場合モ同ジ結果ガ起ルノデアリマスガ、ドウモ規定ノ書き方カラ云ヘバ、御趣旨ノ點ガ十分現ハレテ居ラヌヤウニモ見エルノデアリマス、或ハモウ少シ書き方ヲ變ヘタナラバ一方ノ方カラ其意味ヲ現ハシタ方ガ宜シイト思ヒマスガ、御趣旨ハ能ク分リマシタ

○男爵渡邊修二君 只今ノ百八十七條二項ノ此辯論ノ更新デアリマスガ、此更新ガアリマシタ場合ニハ昨日ノ百三十八條ノ最初ノ口頭辯論ノ期日ト云フコトト關聯イタシマシテ、辯論ノ更新ガアレバ、其時ガ最初ニ爲スベキ口頭辯論ニナルヤウニ存ジマスガ、サウ致シマス判事ノ更迭ノ爲ニ間カラ開ニ葬ラルベキ事務書面ナドモ亦陳述シタルモノト看做サレルヤウナ、不公平ナコトガアリハシナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何ニ解シテ宜イノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ御尋デアリマスガ、從前ニ爲シマシタ……此更迭前ニ爲シマシタ口頭辯論ノ自體ノ效力、訟訴行爲ノ效力ハ無クナラナイノデアリマスカラ、其結果ヲ新シイ構成……新シイ構成ニ依ッテ出来マシタ其裁判所、即チ判事ガ更迭シマシテ新シイ判事ガ代ッテ出来タ所ノ裁判所ニ其結果ヲ演述スルト云フコトニ依ッテ、前ノ辯論其モノガ新法廷ニ現ハレルト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、矢張り前ニ爲シマシタ辯論ハ其儘效力ヲ維持シテ居ル、併シ判決ノ資料トスルニハ、ソレヲ新法廷ニ於テ當事者ガ其結果ヲ

演述シナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデゴザイマス

○水上長次郎君 只今ノ同僚ノ委員ノ御方ヨリ御質問ニナリマシタニ付テ、百八十七條ノ第二項ノ規定ハ、確カ現行法ニハ無イヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、斯ウ云フコトハマア餘リ麗々シク法律ノ規定ノ中ニ歌ハズトモ宜クハナカラウカ、ト思フノハ、今日マデモ……矢張り現行法デモ口頭辯論主義デアアル、サウシテ法律ニ於テモ「判決ハ其ノ基本タル口頭辯論ニ關聯シタル判事之ヲ爲ス」トアル、ダカラシテ若シ更迭ノ場合、一人判事ガ代ッテ時ニハ裁判ガ出来ナイ、所ガ實際ハヤッテ居ル、ズン……之ヲヤッテ居ル、サウシテ當事者ニ於テモ異議ハナイ、裁判所モ平氣ダ、ケレドモ唯形式ノ上デ、代ッテ判事ニ對シテハ口頭辯論ノ時ニ述ベタノト同ジコトヲ述ベタモノトシテヤッテ居ル、其位ナコトデユトリ付ケテ置イタ方ガ宜クハナイカト思フ、現ニ現行法デモソレデズト通テ居ル、若シ斯ウ云フ規定ヲ設ケタ所ガ何ノ役ニ立ツカ、何ノ役ニモ立タナイ、唯結果ヲ演述スト云フコトデ口頭辯論ヲスルノデハナイ、結果ヲ演述スル、其結果ヲ演述シタ時ニ、辯論ヲ聽カナケレバ何ノ役ニモ立タナイ、演述ノ結果ニ依ッテ判決スルノデナイノデ、演述全體ニ依ッテ判決スルノデアアル、ソレヲバ後カラ行ッテ判事ガ口頭辯論全體ヲ聽カナケレバ判決ガ出来ナイト云フ理窟カラシテ、此二項ヲ、載セタト云フコトニナレバ、一向ドウモ譯ガ分ラヌヤウニ私ハ思フ、デアルカラ寧ロ斯ウ云フコトヲ規定スルノ必要ガアルトスレバ、丁度關席判決……デナイ關席判決ノ代リニ、今度新規定ガ設ケラレタ時ニ、一方ノ者ガ關席シタ時ニハ一方ノ準備書面ニ書イタモノハ之ヲ辯論シタモノト看做スト、

斯ウ云フ規定デアアル、今日ノ訴訟法デモ……現行法デモ此改正案デモ、口頭辯論主義ト云フモノヲ徹頭徹尾貫イテ居ラヌ、現ニ原被一方ガ關席シタ時ニハ書面審理ヲヤル、デアルカラシテ此二項ノ時ニデモ、判事ノ更迭ガアリタルトキニハ、此調書ニハ辯論ノ要領ト云フモノガ記載シテアル必ズ……ソレダカラシテ辯論調書ニ記載シテアルモノハ演述シタモノト看做スト云フコトニシタ方ガ事實ト理窟トヲ兼ヤシナイカト思ヒマスガ、其邊ニ付テノ御意見ハドウデアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ御尋デアリマスガ、例ヘバ證據調等ヲ他ノ裁判所ニ囑託ヲ致シマシタトキニ、矢張り其證據調ノ結果ト云フモノハ、一ツノ證據ト致シマシテ、裁判所ノ資料トナルノデアリマスガ、ソレヲスルニハ矢張り當事者ガ其證據調ノ結果ヲ、口頭辯論ニ於テ演述ヲスルト云フコトニ依ッテ、ソレガ口頭辯論ニ所謂展開セラレマシテ現ハレマシテ、其裁判ノ資料トナル、斯ウ云フ手續ヲ取ッテ居リマスカラ、矢張り是モ同様ノ趣旨ニ基キマシテ、前辯論ノ結果ヲ新法廷ニ於テ演述イタスダケデ以テ、ソレガ其法廷ニ辯論ガ現ハレルト同ジ資料ニ供セラレルト云フコトニナラウカト思フノデアリマス、矢張り今現在ノ更新ノ實際ノ狀況ガ、結果ヲ述ベルト云フコトニ致シマス、調書以外ニ出デルヤウナコトハ無イノデアリマスカラ、前調書ノ記載ノ通りニヤルト云フコトノ陳述ヲ以テ、更新ト云フ手續デヤッテ居ルト云フコトハ、仰セノ通りデアリマス、ガ矢張りソレダケデモ致シマセヌト云フコト、此口頭辯論ニ基イテ裁判スルト云フ方ノ原則ヲ立テマシタ上ニ於テハ、不十分デヤナイカト云フ考カラ此規定ガ出来テ居ルノデゴザ

演述シナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデゴザイマス

イマス

○水上長次郎君 モウ此以上ハ別ニ意見ノ相違デスカラ述ベマセヌ、次ニ百九十三條

デ伺ヒマスガ、是マデハ判決ト云フモノハ當事者ノ請求アツテ始メテ達達スルノデアリマス、今度ノハ職權達達ト云フコトニナツテ居リマス、デ此職權達達ノ趣意ヲ認

メラレタ原因ト云フモノハ、成ルタケ早ク其判決ヲ決定シマセウト云フコトノ御考デ、要スルニ大體ノ御趣意モ落着ヲ速カニスルト云フコトノ御趣意ニ過ギナイモノダ

ラウト思フ、然ルニデス「判決ハ當事者ニ之ヲ達達スルコトヲ要ス」トアツテ、何時之ヲ達達シテ宜イヤラ分ラヌ、而モ「判決ハ言渡ノ日ヨリ一週間内ニ之ヲ裁判所書記ニ交付シ」ト云フコトガアル、ケレドモ交

付ヲ受ケタ翌日トカ或ハ三日マデトカト云フコトガアリマセスカラ、自然是ハ達達ガ遅レ勝チニナリハシナイカト思フ、或ハ之ヲ受取タ日カラ幾日間ニヤルトカ何トカ

云フ制限ヲ設ケレバドウデアラウカ、尤モ忠實ナル書記共ノコトデスカラ、サウ云フ忌リハアリマスマイケレドモ、矢張り此言渡

ヨリ一週間内ニ作レ、又言渡ハ辯論終結ノ日ヨリ一週間ニ之ヲヤレト、斯ウ云フ風ニ期間……時間的ニ決メタ以上ハ、矢張り是

モ其趣意ヲ徹底スルニハ時間デ以テ決メタ方ガ宜クハナイカト云フヤウニ思ヒマスガ、其點ニ付テチヨット……

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ書記ガ判決書ヲ受領イタシマシタ時ニハ遲滞ナク之ヲ送達スル上云フ頭デ居ルノデゴザイマス

○水上長次郎君 極ク細カイトコデスケレドモ、一體民事ノ規定ト云フモノハ、一字一句ト雖モ之ヲ運用スル者ニ付テハ非常ノ刺戟ニナルノデゴザイマスカラ、若シサウ

云フヤウナ御考ナラバ「速ニ」トカ「直ニ」トカシテハドウカ、畢竟是マデ遅レ勝ニナツテ居タモノダカラ、サウ云フノヲ置イタ

方ガ宜カラウト思ヒマスガ、併シ是ハ意見デアリマスカラ、先ツ是レ位ニ止メテ置キマス

○委員長(河村讓三郎君) ソレデハ次ニ移リマス

○志水小一郎君 チヨット小サイコトデスケレドモ、此案ニハ、現行法ニアリマス如キ謄本トカ抄本トカ云フ字ハ見エヌヤウデアリマスガ、是ハ要ラナイコトニナツタ譯

デゴザイマイカ、例ヘバ現行法ノ二百三十九條アタリデスカネ、原本正本、抄本、謄本ト云フ字ガ使ヒ分ケテアツテ、アノ區別

ハ私等ニ能ク分ラヌコトモアルノデスケレドモ、今度ハ謄本抄本ハ無クナツテ居ルヤウニ思ヒマス、矢張り御認メニナルノデスカ、ア、云フモノハアルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハアルノデアリマス、ガ此二百三十九條ノヤウナコトハ書カナクとも宜カラウト云フコトデ省

イテアリマス、判決ガマダ出來上ラナイ前ニ斯ウ云フコトヲシテハナラヌ、斯ウ云フコトハ當然デアラウト云フノデ……

○志水小一郎君 刑事訴訟法アタリ、アノ區別ハ違フテ成タヤウニ思ヒマスガ、此御案ハサウ云フヤウナコトハナイノデスカ、

矢張り正本モアリ、謄本モアリ、抄本モアリト事實ハ御認メニナツテ居ルノデゴザイマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) マアサウ云フコトニナリマス

○委員長(河村讓三郎君) 第五節ニ移リマス

○水上長次郎君 百九十四條ニ「判決ニ違算書損其他之ニ類スル明白ナル誤謬アルトキハ裁判所ハ何時ニテモ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ更正決定ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ

アル、結構ナコトデアリマスガ、職權ヲ以テ更正ヲシタ時ニハソレハ當事者ニ何カ通知スルト云フ考デスカ、既ニ正本ヲ渡シタ

其正本ヲバ原本デ訂正スルト云フノデアリマスガ、何カ當事者ヘ通知デモシナケレバナラヌ……

○政府委員(池田寅二郎君) 百九十四條ノ二項ニ「原本及正本ニ附記スル」、若シソレガ出來ナケレバ別ニ捺ヘル、而シテ當事者ニ送ルト云フコトニナツテ居リマス

○水上長次郎君 サウスルト一旦渡シタモノヲ取戻シテ……

○佐竹三吾君 二百一條ニ判決ノ效力ノ及ブ範圍ヲハキリ御決メニナツタヤウデアリマスガ、「其ノ者ノ爲請求ノ目的物ヲ所持

スル者」ト云フコトト、ソレカラシテ其前ニ「承繼人」ト云フコトガアルノデアリマスガ、「其ノ者ノ爲請求ノ目的物ヲ所持スル者」ト云フノハ或ハ信託會社トカ倉庫會社

トカ或ハ又代理人トカサウ云フヤウナ委託ヲ受ケテ、其物ノ占有ヲシテ居ルト云フ意味デアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○佐竹三吾君 サウ致シマスルト、他ノ原因ニ依ツテ其目的物ノ所有權ヲ取得シタモノニハ、若シソレガ適法ナ理由デアレバ及

バ又譯デアリマスガ

○佐竹三吾君 承繼人ト云フノハ權利ヲ承繼シタノデアリマスガ、所謂承繼人デナイモノハ自カラ除外サレルト云フ、サウ云フ嚴格ナ意味デアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) チヨット御尋ノ趣旨ヲ解シ兼ネマスガ……

○佐竹三吾君 承繼人ト云ヘバ讓渡シトカ或ハ相續トカ云フ、サウ云フ所謂承繼的取得者ノ場合デアツテ、原始的ニ其權利ヲ取得シタモノヲ此中ニ含マナイト云フ、斯ウ

云フ承繼人ト云フコトノ意味ガ、嚴格ナル其權利ガ、其人カラシテ移轉サレタ人ト云フモノト限ル意味デアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) 先ツサウ云フコトニ相成ルコトグラウト思ヒマス

○佐竹三吾君 サウスルト實際其物ノ所有權ニ付テ争ヒガアツタ時ニハ、其物ヲ以テ例ヘバ所謂物の效果トシテ誰ニデモ及フト

云フサウ云フ廣イ意味デヤナイノデスネ

○政府委員(池田寅二郎君) 此口頭辯論終結後ニ其物ノ權利ヲ讓リ受ケタト云フコトガ茲ニアリマスレバ、ソレニモ此判決ハ及フト、併ナガラ其讓リ受ケタ者ガ自己ノ固有

ノ權利ニ基キマシテ、此債權者ガ即チ原告側ニ對スル何カ抗辯ガアリマスレバ、ソレハ執行ニ對スル異議ノ訴ヘデアル、ト斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○水上長次郎君 百九十五條デスカ、「裁判所ガ請求ノ一部ニ付裁判ヲ脱漏シタルトキハ訴訟ハ其請求ノ部分ニ付仍裁判所ニ繫屬ス」、是ハ裁判所デ脱漏ヲ發見スル場合モ

アリマセウガ、裁判所ガ氣付カズシテ當事者ガ氣付ク時モアラウ、斯ウ云フ時ニハドウ云フ手續デヤルノカ、チヨット手續ガアリマセヌガ、何カソレニ對シテ規定ガアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

キマシタナラバ、裁判所が期日ノ指定ヲスルコト云フコトニナラウト思ヒマス、期日ノ指定ハ裁判所ガヤルコトニナツテ居リマスカラ、ソレカラ當事者ガ發見シマシタナラバ、裁判所ニ其事ヲ申出マシテ、期日ノ指定ノ申請ヲスルト云フコトニ相成ルダラウト思ヒマス、第五節ノ訴訟手續ノ中斷及中止ト云フ所ニ移リマス、中斷中止ノコトハ、現行法ノ原則ヲ踏襲シテ居リマスルガ、ソレニ修正ヲ加ヘマシタ點ノ主ナルモノヲ申上ゲマス、相續人ガ死亡ニ依ッテ……當事者ノ死亡ニ依ッテ中斷ガアリマシタ時ニ、相續人ガソレヲ受繼スルコトニナリマスルガ、其相續人中例ヘバ民法千十七條ノ規定ニ依リマシテ、相續ノ拋棄ヲナスコトガ出來ル場合ガアリマシテ、ソレニハ一定ノ期間ガゴザイマス、其拋棄ヲナスコトヲ得ル期間ハ承繼ヲ……受繼ヲ許サナイト云フコトニ致シマシタ、其他ニモ、承繼、受繼ヲシタ後ニ登記ヲスルコトニナリマスルコト、其手續ガ全ク無用ニ歸シマスルカラ、此相續人ト云フモノノ權利ガ確定シテ動カナクナリマシタ後ニ、受繼ヲ許スト云フコトニ致シマシタノデアリマス、ソレガ二百八條ノ二項デアリマス、ソレカラ法人ガ合併イタシマシテ、前ノ法人ガ無クナツテ後ノ法人ニ合併サレタリ、或ハ新タナ法人ガ出來タト云フ場合ニ一般ノ承繼デアリマスルコト、權利義務……訴訟ノ受繼ノ行ハルベキ筈ノモノデアリマス、現行法ニ規定ガアリマセヌケレドモ、勿論解釋ハ其通りニナツテ居リマス、此改正ノ際此點ニ氣付キマシテ、此明文ヲ掲ゲマシタ次第デアリマス、ソレカラ信託ノ關係ニ於キマシテ、受託者ノ任務ガ終了イタシマシテモ、信託ノ關係ガ依然トシテアル、此場合ニモ矢張り新受託者、即チ後任者ガ其訴

訟ヲ受繼グト云フコトデアラウト云フコトデ一條ヲ設ケタ次第デアリマス、ソレカラ二百十二條ハ、此例ヘバ前項ノ如ク、一定ノ資格ヲ以テ、他人ノ爲ニ自分ノ名ニ於テ訴ヲ起シテ居ルモノ、ソレカラ共通ノ利益ヲ有スル多數當事者ノ爲ニ、代表的ニ當事者ニナツテ居リマスルモノ、即チ四十七條ノ規定スル所デアリマスルガ、ソレ等ノ者ガ或ハ死亡イタシマスルコト、其他ノ理由デ資格ヲ喪失イタシマシタ時ニ、矢張り其後任者ガ其訴訟ヲ承繼スル必要ガアルト云フコトデ二百十二條ノ規定イタシマシタ次第デアリマス、ソレカラ二百十六條、是ハ現行法ニ依リマスルコト云フコト、訴訟ノ受繼ヲナスベキモノガ受繼ヲナシマセナク時ニハ其相手方ハ其受繼ノ爲ニソレヲ呼ビ出スト云フコトノ申立ヲシマシテ、ソレモ或ル特別ノ手續ヲ經テソシテ受繼ト云フコトニナルノデアリマスガ、サウ云フ複雑ナ手續ヲ經マセヌデモ、承繼ヲナスベキ當事者ガ此處ニ居ルト云フコトガ分リマスレバ、其訴訟ノ相手方ノ方カラモ其訴訟受繼ノ手續ヲ致シマシテ、サウシテ訴訟ノ進行ヲ圖ルト云フ途ヲ開クノガ寧ろ簡便ダラウト云フコトデ二百十六條ノ規定ヲ置キマシタノデゴザイマス、ソレカラ二百十九條ハ其當事者ニ於テ其受繼ノ手續ヲ怠テ居ルト云フ場合ニ更ニ裁判所ノ方カラ其受繼ヲ爲スベキ者ガ明瞭ニ分ツテ參リマスレバ、ソレニ對シテ直チニ期日ノ指定ヲシテ出頭ヲ命ジ、辯論ヲ續行スルト云フコトヲ命ズル途ヲ開イタノデアリマス、是等ノ規定ハ訴訟受繼ノ手續ヲ極ク簡單ニ致シマシテ、且ツ又相手方若クハ裁判所ノ方カラモ進シデ其ノ訴訟ノ促進ヲ致スコトガ出來ルト云フ途ヲ開イタノデアリマス、如何ニモ中斷受繼ノ手續ハ遅レ勝チニナツテ居リマシテ、

大分是ガ爲ニ訴訟ノ延滞ト云フコトガアリマスノデ、其方ヲ救ヒマス爲ニ設ケマシタノデアリマス、大體、此節ニ於キマシテハ唯今申上ゲタ所ガ主ナル點デアリマス

○男爵渡邊修二君 二百十六條ヲ實際ニハドウ云フ風ニヤルカ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(池田寅二郎君) 實際ニ申上ゲマス、詰リ例ヘバ被告ガ死亡ヲ致シマシテ、其相續人ガ居ルニモ拘ラズ、其受繼ノ手續ヲ行ハナイ、ソレデ原告ニ於テ訴訟ヲ進行シヤウト思ヒマシテモ、中斷ノ儘デ仕樣ガナイト云フ時ニハ、裁判所ニ其受繼スベキ當事者デアル所ノ被告ノ相續人ナル者ヲ申出シマシテ、期日指定ノ申請ヲ爲スト云フコトニ相成ルノデアリマス

○志水小一郎君 是ハ訴訟ノ如何ナル階級ニアル場合ト雖モ、此條件ガアレバ、中斷スルノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデゴザイマス

○志水小一郎君 ソレカラ中止ノ場合ト中斷ノ場合デアリマスガ、是ハ後ノ方ハドウナルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 例ヘバ一方ノ當事者ガ死亡イタシマシテ中斷トナク、ソレカラ相續人ガ受繼ノ申出ヲシテ參リマシテ、裁判所ガ期日ヲ指定シテ口頭辯論ガ開ケルト云フコトニナリマス、スルト前ノ辯論ノ續行ト云フコトニナラウト思ヒマス

○志水小一郎君 御尋ネ致シマスガ、刑事裁判アリデハ中斷ノ期日ガ長クナリマスト云フト、辯論ヲ更新スルコト、云フ規定ガアルノデスカ、此方ニハ何モソナナ規定ハナイノデアリマスガ、コレハドウナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 刑事ノ係リガ變リマスト所謂更新ト云フ形ニナリマス

ガ、前ノ儘ノ判事デアリマス、ズト辯論ハ引續イテ行キマス

○志水小一郎君 ソレハ中止ノ期間ガ如何程長クナリマシテモ、サウ云フコトデ、ソレハ實際上差支ガナイノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデゴザイマス

○委員長(河村謙二郎君) ソレデハ唯今カラ第二編第一章ノ第一節ニ移リマス

○政府委員(池田寅二郎君) 第一章ノ訴訟手續ヲ第二編ニ集メテ居リマス、一ハ地方裁判所ノ訴訟、之ヲ原則的ニ規定イタシマシテ、ソレカラ第二章ニ區裁判所ニ特有ナル手續ヲ規定シテ居リマス、デ地方裁判所ノ訴訟手續中ニハ訴訟ニ關スルコト、ソレカラ辯論ノ準備、證據、ソレダケヲ掲ゲテ居リマシテ、證據ノ中ニ證人尋問、鑑定、其他各種ノ學識方法取調ニ關スルコトガ規定サレテ居リマス、ソコデ第一節ハ此訴訟ニ關スルコトデゴザイマス、訴ノ提起、訴狀ノ形式、訴提起ノ效力等ニ付キマシテ本節ニ定メテ居リマス、是モ大體ノ本則ハ現行法ニ則ツテ居リマス、唯、少シ細カクナリマスガ、二百二十四條ニ於キマシテ現行法ノ百九十條ニ掲ゲテ居リマス、詰リ訴狀ニ掲ゲベキ要件ノ中、百九十條一項ノ第二「起シタル請求ノ一定ノ目的物及ヒ其請求ノ一定ノ原因」第三「一定ノ申立」斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、此一定ノ申立、請求ノ一定ノ目的物ト云フヤウナコトガ如何ニモ錯雜シテ居リマスシ、實際ノ訴狀ノ形式ヲ見マシテモ、殆ド一定ノ申立ト同様ナコトヲ一定ノ目的物ト云フ所ニ書イテアルヤウデアリマス、ソコデ此節ハ請求ノ趣旨ト云フコトヲ改メマシタ請求ノ趣旨ト請求ノ原因、斯ウ云フ原因ニ基イテ、斯ウ云フ請求ヲスルト云フコトヲ表ハスト云フコト

デ、寧口趣旨デアラウト云フノデ改メマシ
タノデアリマス、内容ガ特ニ變テ譯デハ
アリマセヌ、ソレカラ、次ハ確認ノ訴ハ將來
ノ給付ヲ求ムル訴、二百二十五條、二百二
十六條デアリマスガ、是等ハ今日ノ解釋ノ
上ニ於テ既ニ或ル程度マデハ認メラレテ居
リマスルガ、ソレヲ明文ニ明ニシタノデア
リマス、殊ニ二百二十五條ニ依リマシテハ
此畫面ノ眞否、例ヘバ公正證書ノヤウナモ
ノ、其外手形ト云フヤウナ畫面ノ眞否ヲ確
定セシムル爲メ訴ヲ起スコトガ出來ル、書
面眞否ノ確定ノ爲メ手續ハ現行法ノ訴訟法
ニ於キマシテ、證據ノ方ニ多少ノ定メガア
リマスルガ、訴ノ證據トシテ出シマス場合
ニ限ラズ、獨立シテ或ル證書ヲ他ニ使用セ
ムトスル場合、ソレニ付テノヤウナルト云
フ時ニ畫面ノ眞否ヲ確定スル、即チ畫面ノ
眞否ハ事實デアリマスケレドモ、其事實ヲ確
定スル爲メ訴ヲ起スコトヲ認メタノデア
リマス、是ハ頗ル必要ナリ實益アルコトデア
ルト思ヒマス、ソレカラ、次ニ此現行法ノ百九
十四條ニ依リマス、訴狀ノ送達ト辯論ノ期
日トノ間ニ少クモ二十日ノ時間ヲ置カベ
キコトニナッテ居リマスガ、ソレ等ノコトガ
裁判所ノ適當ナル裁量ニ依リテ日限ヲ決メ
ルト云フコトガ適當デ、必シモ二十日置カ
ナケレバナラヌト云フコトニ決メナカッタ
ノデアリマス、二百三十條デ裁判長ハ口頭
辯論ノ期日ヲ定メテ當事者ヲ呼出スト云フ
コトニナッテ居リマス、期日ノ日取ヲ如何様
ニ決メルカト云フコトハ、其事ノ關係ハ
ノ事情ニ依リマシテ裁判所デ適當ニ決メル
ト云フコトニ致ス譯デアリマス、之ヲ適當
ニ裁量イタシマスルコトニ依リテ、例ヘバ
今日ノ簡單ナ證書ノヤウナモノデモ、餘程
簡單ニ早ク濟ムト云フヤウナ手續ヲ執リ得
ルコトト思ヒマス、ソレカラ二百二十一條、

是ハ現行法ノ百九十五條ノ一號ニ當ルノデ
ゴザイマシテ、現行法ニハ權利拘束ト云フ
文字ヲ使ヒマシテ、其效力トシマシテ既ニ
繫屬スル權利拘束ガ發生シタ事件ニ付テ
ハ、更ニ同ジモノニ付テ訴ヲ起スコト云フコ
トハ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、
此案ニ於キマシテハ、權利拘束ト云フ言葉
ガ如何ニモ難解ノ言葉デ面白クナイ言葉デ
アリマスカラ、ソレヲ避ケマシテ實質ニ於
テ規定ヲ致シマシテ、即チ既ニ裁判所ニ繫
屬スル事件ニ、更ニ訴ヲ起スコト云フコトニ
定メマシテ、其實此處ニ表ハシタノデア
リマス、ソレカラ、二百三十二條ハ是ハ訴
ノ變更即チ請求若クハ其請求ノ原因ノ變
更ニ關スル規定デアリマス、此請求若クハ
此請求ノ原因ノ變更ニ關スル事柄ニ付キマ
シテハ、現行法ノ規定モ餘リニ明瞭シテ居
リマセヌシ、又其實際ノ適用ニ付キマシテ
モ、規定ガ明瞭デアリマセヌ爲メ學說
上解釋上ノ疑ヲ起シテ居ルノデアリマス、
ソレカラ、又單ニ原因ノ變更ト云フコトニ
相成ッテ居リマスノデ、之ヲ極ク嚴格ニ解釋
イタシマスルト云フト、如何ニモ、ドウモ
窮屈デ甚ダ不便デアルト云フ所カラ、今日、
裁判例ノ實際ハ原因ノ變更ト云フコトニ付
テハ大分寬大ナル解釋ヲ取リツ、アル、ソ
レデ原因ト云フコトニ付キマシテハ色々學
說上ノ見解モアリマスガ、ソレ等ノ見解ノ
相違ハ別ト致シマシテ、其原因ヲ如何様ニ
見ルカト云フコトノ學說ノ如何ニ拘リマセ
ズ、免ニモ角ニモ、ドチラノ學說ニシマシ
テモ成ルタケ原因ノ變更ト云フコトハ寬大
ニ見テ、サウシテ、訴訟ノ實際ニ惡影響ヲ
及ボサニ限リハ、矢張り原因ノ變更ナシ
ト云フヤウナ取扱ニシテ進ムデ來テ居ルノ
ガ今日ノ實際デアリマス、ソコデ、ソレヲ
此節ヲ整理ヲ致シマスル目的ヲ以テ、他ノ

言葉ヲ用キマシテ、即チ二百三十二條ニ依
テ請求ノ起訴ニ變更ガ無イ限リハ、其原因
若クハ其請求自體ヲ變更スルコトガ出來ヌ
ト云フコトニ致シマシテ、今日ノ百九十六
條ニ依リマシテハ手續解釋上ヨリ申シマ
シテモ、寬大ナル解釋ヲ取リ得ル範圍ヲ幾
分廣メタコトニ相成ッテ居リマス、即チ今日
ノ所謂論理的解釋デ補テ居リマスル事柄
ヲ法文ノ中ニ直接ニ表ハスト云フコトニ相
成シタノデゴザイマス、ソレヲ其爲メ訴訟
手續ヲ著シク進ラシムルト云フコトニナリ
マシテハ、是ハ甚ダ宜シクナイコトデアリ
マスカラ、ソレハ訴サナイ、訴訟手續ノ著
シキ遲延ニナル、又訴訟ノ基礎ノ變更ガナ
ケレバ何レモ差支ナイト云フコトニ致シタ
ノデアリマス、詰リ基礎ノ事實關係サハ動
キマセヌ以上ハ、ソレヨリ生ズル法律關係ガ
多少變リマシテモ、調ベマサル上ニ於テハ
殆ト同一ノコトヲスレバ宜イコトニ相成ル
デアラウ、サウスルト又別ニ訴ヲ起スコトモ寧
ロソコデ片附ケル方ガ當事者ノ便利デア
ルト云フ所カラ、此規定ハ設ケタ次第デア
リマス、ソレカラ、又原因ノ變更ヲ許シタ場合ハ差
ハナイノデアリマスガ、之ヲ許サザリシ場合ニ
於テ、前ノ訴、後ノ訴ト云フモノガ互ニ並行
スルモノデアルカ、或ハ前ノ訴ハ無クナルノデ
アルカ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ今日ニ於
テ學說上ニ於キマシテモ疑義ガアルコトデア
リマス、裁判例等モ此點ハ色々ニナッテ居ルヤウ
ニ思ヒマス、ソコデ此節ハソレヲ許サヌト、
原因ノ變更ハ、變更ヲスルト云フ主張ヲス
レバ、ソレデ事實變テ來ルガ、ソレヲ法
律ガ裁判所デ許サナイト云フコトニナレ
バ、變更セムトスル新シイ主張ヲ、裁判所
ガ其主張ヲ許サナイト云フナルカラ、元ノ
訴訟ガ其儘デ進行スルト云フコトガ、一番
簡明直截ナヤリ方デアルト云フコトカラ、

二百三十三條ニ其變更ヲ許サニル決定ヲス
ルト云フコトデ、此始末ヲ付ケルト云フコ
トニ致シマシタノデゴザイマス、ソレカラ、
二百三十七條、此訴ノ取下デゴザイマス、
是ハ一項ハモウ現行法ト全ク同様デアリマ
スガ、本案ニ付キ終局判決ノアリマシル後
ニ、訴ヲ取下グルト云コトヲ無制限ニ認
メルト云フコトニナリマス、ソコデ、是
ハ甚ダ面白クナイ結果ヲ生ズルノデアリマ
ス、一旦モウ勝敗ノ決シマシタ後ニ於テ、
控訴期間中ニ訴ヲ取下グルト云フコトニナ
リマシタ以上ハ、最早取下ゲタモノハ同ジ
事柄ニ付テ、更ニ訴ヲ起スコト云フコトヲ許
サナイト云フコトニ致シマシタノデアリマ
ス、外ハ大體現行法ノ趣旨ニ則ッテ居リマス
○水上長次郎君 二百三十八條ノ規定ニ付
キ御等ヲ致シマス、是ハ改正案ノ要目トシ
テ指圖サレ掲ゲラレテ居ル所ノ關席裁判、
双方ガ關席ヲシタ場合ニ關スル規定デア
リマスガ、案デハ、現行法ノ所謂訴訟中止ト
云フヤウナコトハ先ヅ止メラレタヤウニ思
ハレマスガ、ソコデ此條ノ場合ト云フモノ
ハ、當事者双方ガ辯論期日ニ出頭シナカ
タ、又出頭シテモ何カノ都合ニ依リテ辯論
ヲシナイト云フヤウナ時ニハ、六箇月間ト
云フモノハ其儘ニ放ッテ置イテ、其間二期日
指定ヲ申出デ又時ニハ取下ゲタモノトス
ル、大體ノ趣意ニ付テハ至極結構ト思ヒマ
スガ、唯、私ノドウカト思ヒマスルノハ、
此合意變更ノ場合ト云フモノハ、詰リ此條
ハ合意變更ノ場合デゴザイマスガ、其場合
ハ色々原因モアリマセウケレドモ、多クハ
ドウモ訴訟ヲ中止スルトカ取下グルトカ云
フヤウナ考デナクシテ、一時偶然ノ出來事
ノ爲ニ詰リ差支ガアッテ出ナカタト云フコ
トモ多イダラウシ、又或ハ双方ノ間デ前談
トカ或ハ妥協トカ云フヤウナコトデモアッ

テ、ソレガ爲ニ出ナイト云フコトモソレハアリマセウ、サウ云フ場合ハ先ヅドナラカト云フト少カラウト思ヒマス、若シ此所談トカ妥協トカ云フコトデ、ソレノ進行中デアッテ出ナクッ、出レバ直グ辯論ヲシナケレバナラヌ、折角和解シ掛ケテ居ルカラ出ルノヲ遠慮ヲスルノハ尤モナノデアル、サウ云フ場合ニ付テハ雙方期日ニ出ナクッタト云フコトデ、直チニ訴訟ヲ取下ダタト言フコトニナルト、元談ニナリ掛ケタモノガソレガオデヤンニナッテシマウノデ宣シクナイ、ケレドモ、後ニ申シマス原因ニ付テ、例ヘバ偶然或ハ雙方ノ都合ニ依ッテ一時合意の雙方が出ナイ、サウ云フ場合ニ六箇月餘リモ放ッテ置クト云フコトハ、餘リドウモ長過ぎハシナイカト思フ、ソコデ私ノ伺ヒタイノハ、御趣意ハ初メカラシテモウ取下ダルト云フ意見デ出ナクッ大體ヲ推定サレルノデアルカ、或ハ何か一時ノ事情ニ依ッテ出ナクッ闕席スルモノト推定スルモノデアルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ、ソレニ付テソコデ斯ウ云フコトハ御考ヘニナッテ居ラタカ、ドウカト思フ、是迄ノ例ニ依リマスト云フト、一方ヘ期日ニ出ナイコトヲ、延期ノコトヲ相談ヲスル、所ガ一方ノ人ガ承知シナイ、サウ云フ場合ハ随分アル、ケレドモ、若シ現行法……案ノヤウニ闕席裁判ヲシ得ルト云フコトニナルト、ウツカリ相手方ハ延期……期日變更ヲ申立テテモ自分一人デ出ルコトハ出来ナイ、直グ裁判ヲセラレルカラ……ソレデ是カラ先キハ合意闕席ト云フコトガ非常ニ多クナリハセヌカ、本案ニ付テ裁判ヲ受ケルト云フコトヲ避ケルガ爲ニ、六箇月ノ間デハ何度デモ闕席ガ出来ルト云フコトニナル、雙方ノ合意デ、例ヘバ今日期日デアル、雙方出ナイ、ウツチャッテ置クト、出ナイ、ソレデ期

日ノ申請ヲスル、裁判所デ定メル、又出ナイ、斯ウ云フコトモアリ得ルコトデアラウト思ヒマス、デ此立法ノ趣旨ヲ一ツ詳シク御尋ネ致シマス

○政府委員(池田寅二郎君) 今度ノ案ニ依リマス、現行法百八十八條ノ一項ハ之ヲ規定シナクッナデアリマス、デ當事者ガ此休止ニ合意スルト云フコトハ法ノ上ニ於テハ認メナクッナデアリマス、此法律ニ表ハシテ居リマスルコトハ今御指摘ノ通りニ、出頭シナイ、斯ウ云フ場合ニハ或ハ一時ノ差支デアレバ、無論其中ニ相當ノ時期ニ、期日指定ノ申請ガ出ルノデアラウ、六箇月經テモ尙ホ訴訟期日指定ノ申請ガ出ナイト云フコトデアレバ、當事者雙方訴訟ヲ遂行スルノ意思ナキモノト見マシテ、即チ此取下アリタルモノト看做スト云フコトノ規定ヲ設ケマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ一面、此合意ガアレバ……延期ノ合意ガアレバ、當然ソレニ裁判所ガ拘束ヲ受ケルコトガ或ル程度マデハアリ得ルガ、雙方出頭セザル場合ニ茲ニ休止ニナル、休止ト云フコトハアリマセヌガ、現行法ノ所謂休止ニナッテ、六箇月ノ期限ノ間ハ事件ガ茲ニ寢カシテ置カレルト云フヤウナコトガ、茲ニアル以上ハ、此法ニ何ッテ其方ガ更ニ及ンデ來ルコトハナイカト云フ御心配ノ御質問デアリマス、成程、此雙方合意ノ上、出頭ヲシナイト云フコトニ依ッテ、此期日ノ先キニ延ビルト云フコトハアリ得ルコトデアラウト思ヒマス、然ラバ合意ヲドウ云フ風ニシテ其點ニ付テ手當ヲスル方ガ宜イカト云フコトハ、餘程考究セラレタ所デゴザイマスルガ、休止ノ期間ヲ一年ヲマア六箇月ニ短縮スルト云フ位ノ外ハ、ソレ以上ノ茲ニ措置ヲ執ルト云フコトハ、餘程是ハムツカシイコトデアラウ、併ナガラ一面此合意ノ延期ニ裁

判所ガ拘束サレルト云フコトヲ除クト云フコトハ、必シモ其必要ヲ失フト云フコトニハナルマイ、多少ハ此ノ所謂休止ノ方ニ來ルト云フコトガアリマセウケレドモ、其爲ニ合意延期ノ拘束ヲ受ケルト云フコトヲ止メルト云フコトガ不必要ニナルト云フコトハアルマイ、相當ノ效果ガアルコトデアラウ、コナラノ方モ何かモウ少シ宜イ方法ガアレバ、成ルベク此事件ノ合意延期ト云フモノヲ防グベキデアラウト思ヒマスケレドモ、唯今ノ所デハ是ハドウモ認メル外ハアルマイト、斯ウ云フコトニナッテデアリマス

○水上長次郎君 了解シマシタ、政府ニ於キマシテモ合意延期ガ、合意闕席ト云フコトニ變ルト云フコトハ御認デアラウト思ヒマス、ソコデ此期限ニ付テ、ドウ云フコトヲ想定セラレテ定メラレタカト云フコトニ付テ伺ヒマシタガ、口頭辯論ノ時ニ出頭シナイモノト、出廷シテ置イテ辯論ヲナサナイモノト、同様ニ扱ウテ居ル、辯論期日ニ出ナイモノハ、ソレハ或ハ元談トカ、妥協トカ、又相談ト云フヤウナコトガ、ソレデアラウカト思フノデ、ソコヲ同一ニ看做サレルト云フノハ、何かソコニ格段ノ扱ヲシテハ都合ガ惡イト云フ、何か事情ガアルノデアリマセウカ、ソレヲ一ツ……

○政府委員(池田寅二郎君) 期日ニ出マセナンダ者モ、或ハ期日ニ出テモ辯論ヲセズシテ退廷ヲシタル者モ、結局シマスルニ、訴訟ノ遂行ヲスルノ意思ガ無イト云フコトハ、其點ニ於テ一樣デアラウト思ヒマス、或ハ事情ニ至リマシテハ、一度出頭シタケレドモ、ソコデ元談ノ話ガ始マリマシテ、ソレナラバ一ツ元談ニ取掛カラウト云フコトモアリマセウシ、是ハ色ミデアラウト思ヒマス、デ法律デ定メマスル所ハ、免ニ角、當事者ガ事件ヲ遂行スル意思ガ無イト云フコトニ見ルト云フコトニナッテデアリマス

○佐竹三吾君 ソレカラ、二百二十三條ハ新シイ規定ノヤウデアリマスガ「裁判所カ請求又ハ請求ノ原因ノ變更ヲ不當ナリト認ムルトキハ」云々トアリマス、ソレカラ、其後ニ「申立ニ因リ」云々トアリマス、不當ト認メルノモ、矢張り申立ニ依ッテ許サマル決定ヲスル場合モアルシ、或ハ許サ決定ヲスル場合モアル譯デスカ、詰リ申立テル者ガ、是ガ不當ナリトシテ變更ヲ許サマル旨ノ決定ノ申立ヲスル、裁判所ハ之ヲ許サ決定モ出來ルシ、或ハ許サ決定モ出來ル、二ツノ場合ガアリ得ルノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) スウ云フ用例ニ色ミナッテ居リマスガ、此裁判所ガ職權ヲ以テモ、亦申立ヲ以テモ爲セルト、斯ウ云フマア一ツデアリマス、之ニ規定シテ居リマスコトハ……而シテ此變更ヲ許サズト云フ決定ヲスルニハ、裁判所ガ其原因ノ變更ヲ不當ト認メタ場合、即チ裁判理由ハ變更ヲ不當ト認メタ場合、ソレガ裁判ヲ爲ス一ツノ理由デアリマス、而シテ結論ハ、其時ニ變更ヲ許サズト云フ結論ヲナス、斯ウ云フコトガアリマス、其裁判ヲスルニハ、裁判所ガ自發的ニモヤレマスシ、又申立ニ依ッテモヤレルト云フコトヲ、斯ウ云フ風ニ書イタノデアリマス

○佐竹三吾君 サウシマス、申立ニ依ッテ許サナイ決定ヲ求メタ際ニ、其申立ガ不當ナリト認メタ時ニハ許サスト云フ決定モ出來ル譯デスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 請求ノ原因ヲ

裁判所が不當ト認メマシタ場合ニハ、何時
デモ許サマル決定ヲシナケレバナラヌト云フ
コトニ相成リマス、請求ノ原因ノ變更ガ正
當ト認メテ許スト云フ場合ニ於キマシテ、
特ニ此點ニ付テ爭ガアリマシタナラバ、ソ
レニ付テ裁判ヲスルコトニナルドラウト思
ヒマス、爭ガ無ケレバ請求ノ原因ノ變更ヲ
許ス場合ニ於テハ、其眞原因ヲ持テ來テ、
其儘事件ヲ遂行スル、斯ウ云フコトニナリマス
○佐竹三吾君 私ノ質問ハ、原告ハ請求ノ
原因ヲ變更シタノデアリマス、被告ハ其原
因ノ變更ヲ不當ナリトシタ場合ニ、之ニ對
シテ許サマル旨ノ決定ヲ求メルコトガ出來
ルカ、ドウカ、其申立ガアツタ時ニ許サナ
イト云フ決定ヲスルニハ、二百三十三條カ
ラサウスルノデアルカ、或ハ他ノ規定ニ依
テサウ云フコトヲスルノデアルカ
○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御説明
ノ場合ニハ、被告ノ方カラ此原因ノ變更ハ
不當デアルト云フコトヲ主張シマシテ、而
シテ裁判所ガ審理ノ結果、ソレハ成程不當
ダト斯ウ思ヒマシタ時ニハ、其原因ノ變更
ヲ許サズト云フ決定ヲ致スコトニナリマス
○佐竹三吾君 ソレハ二百三十三條ノ條文
カラデスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 二百三十三條
カラデアリマス、即チ此申立ニ依ルト云フ
コトハ今ノ場合ハ被告ノ申立ニ依リマシ
テ、サウシテ、審理ノ結果、被告ノ言フ通
リ、此原告ノ原因ノ變更ハ不當ダト認メタ
場合ニ於キマシテハ、原因ノ變更ヲ許サズ
ト云フコトニナルノデアリマス
○佐竹三吾君 サウ致シマス、其變更ヲ
許サマル旨ノ決定ヲ致シマスコトハ二百三
十三條カラ來ルケレドモ、變更ヲ許ス旨ノ
決定ヲスルト云フコトハ直接此處カラハ來
ナイヤウニ見エルノデスカ、矢張り此條文

ニ其意味モ含マレテ居ルノデアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 變更ヲ許シマ
ス時ニハ、前ニ申シマシタ通りニ、其儘事
件ヲ進行スルト斯ウ云フコトニ相成ルドラ
ウト思ヒマス
○佐竹三吾君 別ニソレニ對スル決定ハ無
イ譯デアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) ソレガ獨立ノ
爭トナリマシテ、所謂中間ノ爭ト云フコト
ニナリマシタナラバ、一般ノ原則ニ依
テ中間裁判ヲスル決定ヲスルト云フコトニナ
ルドラウト思ヒマス、ソレハ一般ノ原則カ
ラ來ルドラウト思フ
○佐竹三吾君 サウ致シマス、二百三十
三條ニ依テ變更ヲ許サナイト云フ決定ヲ
シタ時ニ、其決定ニ對シテ原告ガ其決定ヲ
不當ナリトスル時ニハ、ドノ條文ニ依
テ爭フコトガ出來ルノデスカ、其決定ニ依
テ何カ即時抗告ヲスルトカ、或ハ又他ニ爭フ
方法ガアルノデスカ
○政府委員(池田寅二郎君) チョット御待
チ下サイ……唯今ノ場合ハ原因ノ變更ヲ許
シテ進ミマスル時ニハ、ソレニ付テ一般ノ
原則ニ依リマシテ中間判決ヲナスト云フコ
トモ出來マス、中間判決ヲシマシタ場合ニ
ハ、ソレニ對シテ控訴ト云フコトニ相成リ
マス、然ラザル場合ニハ判決ノ理由ノ所デ
原因ノ變更ハ差支ナイト云フコトヲ謳フコ
トニナリマスカラ、今度ハ其判決自體ニ對
スル控訴トナリマシテ、其控訴審デ今ノ變更
ヲ許スベキヤ否ヤト云フコトモ共ニ判斷ヲ
受ケル、斯ウ云フコトニ相成ルドラウト思
ヒマス
○佐竹三吾君 ソレカラシテ許サマル決定
ヲシタ場合ニハ、ソレニ對シテハ、又別ニ
異議ノ申立ト申シマスカ、ソレヲ爭フ途
ハ……許サマル決定、二百三十三條ノ決定

ニ對シテハ、ドウ云フ救済方法ガアルノデ
スカ、ソレヲ爭フ場合ニ於テハ……
○政府委員(池田寅二郎君) 唯今申シマシ
タ原因ノ變更ヲ許サズト云フ場合ニハ、元
ノ訴訟デ其儘進行スル、詰リ許サマリシト
云フコトニ付テハソレガ不當デアリマスレ
バ、矢張り本件ト一緒ニ控訴審ノ判決ヲ受
ケル、斯ウ云フコトニ相成ルドラウト思ヒ
マス
○佐竹三吾君 此處ニ辯護士協會ノ意見ガ
アルヤウデアリマス、前項ノ決定ニ對シテ
ハ即時抗告ヲナスコトヲ得ト云フヤウナコ
トニナリマスレバ、餘程何カ不都合ナ點ガ
アルノデアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 唯今御示シノ
辯護士會カラノ意見ニ付キマシテハ他ノ意
見モアリマスシ、旁、篤ト考慮ヲ致シマス
コトニ致シマス
○佐竹三吾君 今申上デマシタ辯護士協會
ノ意見ノ外ニ、尙ホ變更ヲ不當トセザル決
定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズト
云フ、サウ云フ一項ヲ加ヘタラ、ドウカト
云フ意見モアルノデスカ、是モ併セテ能ク
御考ヲ願ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 承知イタシマ
シタ、能ク考ヘテ置キマス
○水上長次郎君 當事者ノ雙方ノ關係シタ
場合ニ、事情ニ依リマシテ、裁判所カラ期
日ヲ更ニ指定スルト云フコトガ出來得ル趣
旨ノ規定ニナッテ居リマスガ、三百八十八
條デハ關係シタレバ、合意關係シタレバ其
儘六箇月内ハ放テ置クヤウニモ見エル、
又期日指定ノ所デハ、裁判長ガ期日ヲ決定
スルト云フヤウナコトガアルガ、事情ニ依
テハ裁判所ガ積極的ニヤルノカ、ソコノ所
ハドウ云フ風ニナルノデアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ點ハ、

之ヲ裁判所ハ其職權ヲ以テ期日ノ指定ガ出
來ルト云フ規定ハ矢張り其場合ニ於テモ働
クコトニナルノデアリマス
○水上長次郎君 モウ一ツ御尋ネ致シマ
ス、二百二十九條ニ「訴狀ハ之ヲ被告ニ送
達スルコトヲ要ス」トアリマス、現行法デ
ハ訴狀ヲ原告カラ提出スル、サウスルト、
其訴狀ヲ當事者ニ送達スル、同時二十四日
間ノ期限ヲ定メテ、答辯書ヲ出セト云フコ
トニナッテ居リマス、所ガ此案デハ答辯書
ト云フコトハ無イヤウデアリマス、或ハ何
處カニアッテモ、私ガ見ナイノカモ知レナ
イガ……サウシテ、本條ノ節ト云フモノハ
「訴」ト云フコトニナッテ居ル、サウデスカ
ラ、原告カラ言フコトバカリ書イテ居ッテ、
被告カラ應訴スルコトニ付テハ何モ書カナ
イト云フコトデ、此準備書面デモ、答辯書
デモ、ソレハ名前ハドナラデモ宜シイガ、
ソレハ本條若クハ本條以下ニハ何等ノ規
定ガナイ、或ハ私ガドカニ規定シテアル
ノヲ見落シタノカモ知レマセヌガ、唯コ、
ニ引合フノハ辯論ノ準備デ、二百四十三條
ニ「準備書面ハ之ニ記載シタル事項ニ付相
手方カ準備ヲ爲スニ必要ナル期間ヲ存シ之
ヲ裁判所ニ提出シ裁判所ハ之ヲ相手方ニ送
達スルコトヲ要ス」其時ニ「準備書面ヲ提出
スヘキ期間ヲ定ムルコトヲ得」トアル、「得」
トアリマス、ソコデ現行法デハ答辯書ハ是
ハ十四日ニ出サナケレバナラヌ、本法デハ
訴狀ハ被告ニ送達スル、併シ準備書面ト云
フカ或ハ答辯書ニ當ルベキモノデアルカ、
ソレヲ出ス期間ヲ定メズトモ宜イヤウニ見
エル、訴狀ハ相手方ニ送リ切りノヤウニモ
見エル、ソレハ私ノ調査ガ足ラナイカラ、
ソナナ疑ガ出ルノカモ知レマセヌ
○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ノ疑ト拜
承イタシマシタ、被告ノ此答辯ノコトニ付

キマシテハ、次ノ節ノ辯論ノ準備ト云フ所ニ、是ハ所謂準備手續ト云フ譯デアリマセヌガ、一般ノ此辯論ノ準備ト云フ所ニ規定ヲ致シテ居リマス、即チ二百四十二條、三條等ニ「口頭辯論ハ書面ヲ以テ之ヲ準備スル」ソレデ準備書面ハ裁判所へ出ス、併ナガラ相手方カラソレニ答フスル暇ガ要ルカラ相當ノ期間内ニ之ヲ出ス、ソレヲ裁判所ガ之ヲ相手方ニ送達スルト云フコトニ相成テ居リマス、裁判長ハ準備書面ヲ提出スベキ期間ヲ定ム「斯ウ云フコトニナッテ居リマス、即チ訴狀ニ依テ……訴狀ヲ送テ参リマス、裁判長ハ此口頭辯論ノ期日ヲ決メ、ソレヲ決メルニ當リマシテ其相手方ガ準備書面ヲ出ス、即チ答辯書ヲ出ス、其他ノ準備書面ヲ出スト云フ期間ヲ相當見計ヒマシテ、サウシテ口頭辯論ノ期日ヲ決メル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス」

○水上長次郎君 訴、訴狀ト云フモノハ準備書面ノ中ニ這入ルコトノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、又今日マデ現行法ニ於テ謂フ所ノ答辯書面ハ準備書面デハナイ、所デ其原告ノ方ノ出ス初ノ訴狀ト云フモノハ準備書面ニアラズシテ、ソレニ應訴スルノハ準備書面デアアル、斯ウ云フコトニナルノデアリマスガ、準備書面ト然ラザルモノトノ區別ガアル、訴ト準備書面ト別々ナルト云フコトハ分リマスケレドモ、應訴ト云フコトニ付テハ何等無イデスカ、ソコハドウデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 嚴格ニ申シマス、訴狀ト云フモノハ特別ノモノデアリマスルガ、廣ク申シマスレバ是モ矢張り準備書面ノ一デアリマシテ、大體ハ準備書面ノ本則ヲ準用スルコトニナッテ居リマス、準備書面ヲ書クベキコトハ二百二十四條ニアリマスガ、即チ「相手方ノ請求及攻撃又ハ

防禦ノ方法ニ對スル陳述」ト斯ウアリマスニ依テ、即チ原告ノ訴狀ヲ見マシテ、ソレニ對シテ、其請求ニ對シテドウ云フ陳述ヲスルカ、認メルカ認メナイカト云フコトヲ、コ、ニ書クコトニナッテ居ル、是ハ所謂答辯ト云フコトニ相成ラウト思ヒマス

○水上長次郎君 ドウモ少シ了解ヲシ兼ねマスノデ、重ネテ御尋ネシマスガ、實際、訴狀ガ……具體的ニ一ツ御尋ネシマス、訴狀ガ出タ、裁判所ハ之ヲ被告ニ送達シタ、送達スルトキニ答辯書ニ對スル、例ヘバ出スコトノ申出又ハ準備書面ヲ出セト云フコトヲ何等言ハズニ、唯、訴狀ヲ被告ニ送達スルダケデアリマセウカ、ソレニ二百四十三條ニ……是ハ他ノ條デアリマスケレドモ、準備書面ハ之ニ記載シタル事項ニ付相手方カ準備ヲ爲スニ必要ナル期間ヲ存シ之ヲ裁判所ニ提出シ裁判所ハ之ヲ相手方ニ送達スルコトヲ要ス」ト斯ウアリマス、訴狀ト云フモノハナイ……訴狀ニハナイ、デアリマスカラ準備書面ノ時ニ限テ裁判所ハ之ヲ相手方ニ送達スルト云フコトニナッテ居リマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ナ點デアリマス、唯今ノ場合ニ訴狀ガ茲ニ出テ來マシテ、辯論期日ヲ決メテ被告側ニ送達スル、其時ニ裁判長ハ被告側ニ對シテ準備書面ヲ提出ヲ命ジ其期間ヲ定ムト云フコトガ二百四十三條ノ二項ニアルカラ、裁判長ガ準備書面ヲ提出スベキ期間ヲ定ムルト云フコトデ働イテ行クノデアリマス、ソレカラ又準備書面ニ關シマス大體ノ規則ハ矢張り此訴狀ノ方ニ之ヲ準用スルコトニナッテ居リマスノデ、其點ハ二百二十四條ノ二項ニ「準備書面ニ關スル規定ハ訴狀ニ之ヲ準用ス」ト云フコトニナッテ居リマス、嚴格ニ申シマスルト、訴狀ト云フモノハ一種特別ノ

モノデアリマスカラ、斯ウ云フ所謂訴訟書狀ト云フコトニシテ見マスルトキニハ、矢張り準備書面ト同ジヤウニ拘束支配スルト云フコトニナッテ居リマス、大體ソレデ運ビガ付クコトデアラウト存ジマス

○男爵渡邊修二君 唯今御説明ニ依レバ答辯書ト云フヤウナ字ハ此改正案ニ於テハ無クテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、矢張りサウ云フ風ニ解シテ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) マア形ハ答辯書ト云フヤウナ形デ、最初ノ被告ノ陳述ヲ取ルコトニ事實ハ相成ルカモ知ラヌト思ヒマスガ、法律ノ表ニ於キマシテハ矢張り一種ノ準備書面ヲ提出スルト云フコトニ相成ラウト思ヒマス

○男爵渡邊修二君 是ハ甚ダクダラナイコトデゴザイマスガ、百三十八條邊リニ答辯書ト云フ字ガアリマスカラ、是ハ何カノ時ニ御除キニナッタ方ガ宜クハアリマセヌカ、其他ノト云フコトガアリマスガ、無クテモ有ッテモ大シクコトデハゴザイマセヌガ、ソレハソレデ分リマシタ、ソレカラ伺ヒタイノハ二百三十二條ト二百二十四條ト關係ガアルカドウカト云フヤウナコトニ付キマシテ、二百三十二條ノ此請求ノ原因デアリマス、是ハドウモ分ッテヤウナ言葉デアリ、分ラヌヤウナ言葉デアリマス、少シ能ク御説明ヲ願ヒタイ、御説明ヲ伺ッテカラ又續イテ御尋ネシタイト思ヒマス

マデノ決定ヲ致シタ譯デアリマセヌ、其點ハ矢張り今日ニ於キマシテハ學說ニ委セルト云フノ外ハナイダラウト思ヒマス、或ハ事實ノミデアルト云フ、或ハ法律關係ト云ヒ、法律關係ト云フデモイカヌ、具體的事實ニ基ク法律關係ト云ヒ、色々ニナッテ居リマスノデ、ソレヲ私ハ寧ロサウ云フ學說ノコトハ訴訟法ニ付テハ心得マセヌノデスガ、兎モ角、請求ノ原因ト云フモノガ、是ガ訴訟法デハ認メラレテ居ルコトデアリマス、ソレデ今日寧ロ實際ノ解釋ヲ、ソコノ法文ニ表ハスト云フノガ此二百三十二條ノ規定デアリマス

○男爵渡邊修二君 私ノ御尋ネシタノハ、其原因ト云フヨリハ其請求ノ基礎ノ方ヲ御尋ネシタイノデアリマスガ、請求ノ基礎ハ二百二十四條ノ請求ノ趣旨トカ云フヤウナ意味、或ハ請求ノ基礎ト云フモノヲ訴ノ種類ト書イテアリマスガ、確認ノ訴トカ、踪失ノ訴、給付ノ訴トカ解シテ宜イノカ、ドウモ是ハ少シ分ルヤウナ分ラヌヤウナモノデアリマス、少シ明確ニ致シタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤デアリマス、請求ノ基礎ト申シマシテモ詰リ判然疑ノ無イト云フコトハ申上ダ兼ねマスガ、矢張り相當解釋デ以テ段々決メナクチャナラヌト考ヘマス、唯案ノ採リマシタ所ハ大體ノ觀念ト致シテハ請求原因ト云フモノトハ是ハ違フ、請求ノ原因ト云フモノハ、或ハマア特定ノ事實關係ニ基ク……事實ニ基ク法律關係ト云フコトヲ先ツ一ツ目安ニ取ッテ考ヘマス、サウ云フ特定ノ法律關係ノ具體的法律關係ノ起ル原ニナッタ所ノ事實關係ト云フ譯デアリマシテ、例ヘバ茲ニ物品ノ賣買ヲシタ、其賣買ニ依ッテ代金ノ支拂ノ請求ヲスルト云フ茲ニ法律關係ガ起タ、ソコデ賣買ニ基キマシテ其賣買代金ノ

茲ニ請求ヲスル、斯ウ云フコトヲ最初起シテ居ル、斯ウ見マス、所ガ後ニナリマシテ其賣買ヲ解除致シマシテ、サウシテ其品物ノ返還ノ請求ヲスルト云フコトヲ考ヘマス、或ハ今日ノ此解釋ニ依リマス、今ノ解除ニ基イテ原狀回復ヲスルト云フ關係ト、賣買ニ基イテ代金ノ支拂ヲ請求スルト云フコトハ、自カラ茲ニ原因ガ違フテ居ルモノデアルカラ、原因ノ變更デアルト云フコトニ解セラルル憂モアルヤウニ思ハレマス、ソコデ茲デ請求ノ基礎ト申シマスノハ免ニ角ソコニ必然ニ或ル物品ノ賣買關係ト云フモノガアル、是ハ事實デアル、是ガ基礎トナリマシテ、ソレカラ起テ或ハ代金ノ請求トナリ、或ハ之ヲ解約シテ物ノ取戻ノ返還ノ請求トナルト云フヤウナコトガ、其基礎タルヤウデアル、デアルカラ是ハ調ベル事項ト云フモノモ大シテ違ハナイコトニナルカラ、其爲ニ別段訴訟遲延ト云フコトガ起ラナケレバ、矢張りソレヲ變ヘテ請求ヲスルト云フ場合モ想像シテ宜クハナイカト云フヤウニ思フ、マア是ハ單一ニツノ例デアリマシテ、果シテ適例デアルカドウカモチヨット疑ハレマスケレドモ、考ヘ付キマシタコトヲ述ベマス、サウ云フコトニナルト思ヒマス

○男爵渡邊修二君 唯今ノ政府委員ノ御説明デ其點ハ能ク分リマシタ、然ラバ二百三十二條ノ請求ノ基礎ト、二百二十四條ニ請求ノ趣旨トアリマス、斯ウ云フ風ニ是ハ矢張り違フノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) ソコハテヨット私ガ説明ヲ漏シマシタ、二百三十二條カラ申シマス、此請求ト云フ奴ハ丁度ソレガ二百二十四條ノ請求ニ相成リマス、ダカラ今ノ例デ申シマスレバ、代金ヲ支拂フト言フコトガ一ツノ請求、ソレカラ物ノ返還

ヲ求メルコトガ請求ト云フコトニナリマス、元ノ代金ノ支拂ノ請求ヲ改メテ物ノ返還ノ請求ニ變ヘルト云フノハ、請求ヲ變ヘル：如何ナル請求ヲスルカト云フコトノ意味ヲ茲ニ二百二十四條デ請求ノ趣旨ト云フコトニ書キマシタ、此請求ノ趣旨ト云フコトデ書クベキモノハ代金ノ支拂ヲ求メル、斯ウ云フ譯ニ相成リマス

○佐竹三吾君 現行法ノ條文ヲ大分御採用ニナッテ居ラヌヤウデアルガ、何レ是ハ一通リノ案ノ御説明ガ濟シタ時ニ、現行法ノ條文デ今度採用サレナカッタ點ヲ全般ニ寫テ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、茲ニ一ツ御尋ネシタイノハ百九十四條ノ規定デアリマスガ、是ハ要スルニ矢張り訴訟ノ迅速ヲ期スルト云フサウ云フ趣旨デ是ハ御止メニナッテアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデアリマス

○佐竹三吾君 サウシテ實際ニ於テハ是ハ唯二十日ト云フヤウナ制限ノ規定ガナイ丈デアッテ、二百三十條ノ規定ニ付テ裁判長ハ之ヨリモ或ハ短クシタリ、或ハ長クシタリ其場合ニ於テスルト云フノデアリマス、或ハ凡ソドノ位ニ決メルト云フヤウナ何カ一體標準デモアルノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ所デハ此相對ノ標準ヲ持ッテ居リマセヌガ、何レ之ヲ施行致シマスル際ニハ、能ク裁判所ニ於キマシテモ研究ヲ遂ゲ打合セモシテ、サウシテアラカタノ標準ガ出來マスナラバ一ツ定メルコトニ致シタイト思ッテ居リマス

○佐竹三吾君 サウ致シマス實際ノ取扱トシテハ、其期間最高限ヲ決メテ、サウシテソレデ訓令ナリ、其他ノ方法デ實行シヤウト云フ、サウ云フ御趣旨デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○委員長(河村讓三郎君) 如何デスカ、第二節ニ移リマス

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) マダソコマデノ考ハアリマセヌノデス

○男爵渡邊修二君 二百二十九條ノ第二項ニゴザイマス、前條ノ規定ハ訴狀ノ送達ヲ爲スコト能ハサル場合ニ之ヲ準用スルト云フコトニナッテ居リマス、訴狀ノ送達ガ出來ナイ場合ニハ裁判長ハ命令ヲ以テ訴狀ヲ却下スルコトヲ要スト云フヤウナ風ニ解サレマス、サウ云フ風デアリマス、ソレバ甚ダ原告ニ對シテ酷デハナイカト思フ、斯ウ云フ場合ニハ公市送達デモスレバ宜イヤウニ思ヒマスノデスカ、此邊ハ如何デスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤デアリマス、其公市送達ノ方ハ先ヅ最後ノ手段ダラウト思ヒマスガ、其公市送達ハ是ハ申立ニ依ッテヤルコトニ相成ッテ居リマス、ソコノ所ガ前ニ申シマシタヤウニ、サウ云フ風ニ分ラヌナラバ、訴訟ヲ續行シテモ駄目ダト思ヘバ、申立ヲ思ヒ切ララウト思フ、併ナガラ遂行スルト云フ意思ガアッタナラバ、蓋シ此公市送達ハセヌカラ此二百二十九條ノ二項ハ自カラ適用ガナイコトニナリマス、訴訟ノ進行ガ出來ルト云フコトニ相成リマス

○委員長(河村讓三郎君) 如何デスカ、第二節ニ移リマス

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

ス：受命判事ニ依リ口頭辯論ノ準備ヲナスコトヲ要スト云フコトニ相成ッテ居リマス、ソレデ此準備手續ハ如何様ニ運ブカト云フコトガ此二百五十條以下ニ規定シテアリマス、尤モ是ハ二百四十九條ニアリマスル通りニ、皆ガ皆準備手續ヲセネバナラヌト云フコトニハナッテ居リマセヌノデ、先ヅ準備手續ヲ爲スコトヲ本則トシ、簡單ナル事件ニ付キマシテハ準備手續ヲ行ハズシテ直チニ公判ニ這入ルト云フコトノ出來ル途モ開イテ居リマス、ソレカラ準備手續ニ付キマシテハ當事者ノ訴狀ガ茲ニ出テ參リマシタトスルト、其當事者ノ訴狀ニ述ベテ居ル所ノ主張ヲ能ク確メマシテ、サウシテ調書ニ取ル、相手方ノ主張モ亦之ヲ確メマシテ之ヲ調書ニ取ル、其際ニ兩方書面ガ出テ居リマスレバ、其書面ニ基イテ十分ニ其趣旨ヲ確メマシテ不明ナ點ハ釋明シ、不必要ナ點ハ之ヲ除クト云フコトニシテ之ヲ確メル、サウシテソレヲ本當ノ整理サレタル主張ヲ調書ニ取ルト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、ソレデ其場合ニ其受命判事ガ相當ト認メマスルトキニハ其書類ヲ出シテ其調書ノ記載ニ代ヘルト云フコトモ出來マスルガ、本則トシテハ、ソコデ極ク懇談のニ當事者ノ主張ヲ確メマシテ、サウシテソレヲ調書ニ取ルト云フコトヲ目的ニ致スノデゴザイマス、其場合ニ若シ當事者ノ一方ガ出テ參リマセヌ時ニハ、他ノ一方ノ出テ來タ方ノ其陳述ヲ聽キマシテ、サウシテソレヲ書面ニ取ッテ相手方ニ廻ス、ソレニ對シテ陳述ヲ求メルト云フコトニ依リマシテ、即チ書面ノ交換ト、ソレカラ口頭ノ陳述トヲ相併用イタシマシテ、此當事者ノ主張ノ要點ヲ確メル、爭點ヲ整理スルト云フノガ此目的ニナッテ居リマス、ソレ等ノコトガ二百五十條、五十一條、五十二條等ニナッテ居

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

○政府委員(池田寅二郎君) 第二節ハ辯論ノ準備デアリマス、此章ニハ辯論ノ一般ノ準備ト、ソレカラ特別ノ手續ニ依リマスル準備、即チ二百四十九條以下ニ規定シテアリマス準備ト此二ツヲ掲ゲテ居リマス、ソレデ二百四十二條以下ハ先ヅ一般ノ準備ニ相成ッテ居リマス、ソレデ此一般ノ準備ニ付キマシテハ殆ド取上ゲテ申上ゲルコトモゴザイマセヌ、此特別ノ準備ニ付キマシテハ、二百四十九條以下デアリマスノデ、先ヅ原則トシマシテハ、口頭辯論ノ準備ヲナ

リマス、ソレカラ此準備手續ニ於キマシテ

大體其主張が確マリマスレバ、ソレニ基イテ兩方ノ争點ニ對スル兩方ノ證據方法ヲ申出デシムルコトニ相成リマス、ソレハ二百四十四條ノ四號、五號ノ、即チ攻撃又ハ防禦ノ方法、或ハ相手方ノ攻撃防禦ノ方法ニ對スル陳述ト云フコトデ、ソレ等ノコトヲ其準備手續ヲ確メルト云フコトニ相成ルノデゴザイマス、ソレカラソレガ濟ミマスルコト云フト、今度公判ヲ開クコトニ相成リマシテ、其時ニ當事者ガ其整理サレタル主張ニ基キマシテ、公判廷ニ於テ其準備手續ノ結果ヲ陳述スルコトニ相成リマス、ソコデ以テ當事者ノ主張ガ公判廷ニ完全ニ直接ニ現ハレルト云フコトニナリマシテ、ソコデ證據調べ等ガ直行ハレルト云フコトニ相成リマス、ソコデ以テ二百五十五條ガ準備手續ヲ致シマスルコトニシタ所ノ結果ノ規定デアリマシテ、準備手續ニ於テ主張シマセナダコトハ、先ヅ原則トシテハ公判ニ於テ主張スルコトハ許サナイ、即チ準備手續ヲ完全ニシ、其準備手續ニ於テ主張シタコトノミヲ以テ公判ニ於テ取調ベマスルコト云フコトガ要領ニナッテ居リマス、但シ最も絕對的ノモノデハ無論アリマセヌデ、二百五十五條ノ但書ニアリマス職權調査ニ屬スルコトハ勿論、訴訟ノ遅延ガ甚シクナイ、或ハ重大ナル過失ナクシテ準備手續ニテ言ヘナクッタコトガ後カラ出テ來タト云フヤウナコトガアリマスレバ、ソレハ勿論、公判ニ於テ更ニ主張スルコトヲ許スコトニ相成ルノデアリマス、大體サウ云フコトニ相成リマシテ、此公判ノ審理ト云フモノヲ極ク正確ニ且ツ周密ナル調べ一時ニ餘リ時ガ掛リマセヌデ出來ル、證據モ蒐注シテ其處デ調べルト云フコトニ致シタイト云フノガ此準備手續ノ眼目ト致シテ

居ル所デゴザイマス

○水上長次郎君 案ノ趣旨デハ地方裁判所以上ニ於テハ先ヅ準備手續ヲスルト云フコトガ原則デアアル、其事案ノ輕重難易ニ拘ラズ一齊ニ準備手續ト云フモノヲスルト云フ事デアリマセウカ、其疑ノ起ルノハ二百四十九條ニ「訴訟ニ付テハ受命判事ニ依リ口頭辯論ノ準備手續ヲ爲スコトヲ要ス」ト斯ウアル、サウシテ但書ニ持テ來テ「裁判所相當ト認ムルトキハ直ニ辯論ヲ命ジ」云々ト云フコトモアル、ソレデ原則トシテハ準備手續ヲ命ズル、併シ或ル場合ニ於テハ其手續ヲ止メルヤウニモ見エル、ソレニ及バヌヤウニモ見エル、ソレハ二百四十二條ノ規定ニ於テモ其事ガチヨット見エル、口頭辯論準備手續ヲ經サル場合ニ於テモ、書面ヲ以テ準備手續ヲ爲スコトヲ要ス、ト斯ウアル、口頭辯論ト云フモノハ必ズ書面ニ基イテスルモノデアアル、其書面ハ準備ノ爲ニ出ス書面ト準備手續ヲ爲シタト兩様ニナルヤウニ見エルノデスガ、立案ノ趣旨ハドウ云フコトニナッテ居リマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 御尤ナ點デゴザイマス、前ニ説明中シマシタ時ニ二百四十二條以下此數箇條ノ規定ハ一般ニ互リマスル所謂辯論ノ準備ノ決定デアリマス、準備ハ書面ヲ以テ準備スルト云フコトニ相成ッテ居リマスルガ、唯此準備ト云フモノ、法律上ノ結果ハドウナルカト云フコトガ二百四十七條ニ來テ定マッテ居リマシテ、即チ「準備書面ニ記載セサル事實ハ相手方カ在延セサルトキハ口頭辯論ニ於テ之ヲ主張スルコトヲ得ス」是ダケノ結果ガ一般ノ準備書面ノ結果デアリマス、ソコデ相手方カ在延シテ居レバ此準備書面ニ記載セザルコトモ新シイコトガ何時デモ言ヘルト云フノガ、是ガ今日先ヅ原則のニ現行法ヲ採ッテ

居リマス準備デアリマス、先ヅ所謂特別ノ準備手續ヲシナイ時ニハ、先ヅ以テ此位ノ程度ノモノデ行ク、簡單ナ事件ナラバ、モウ是デ宜カラウ、所ガ複雑ナ事件ニ付キマシテハ、ソレデハ甚ダ今日困ッテ居ルト云フ所カラシテ、特ニ地方裁判所事件デハ前ニ書面準備ニ依ル特別準備、即チ二百四十九條ノ準備手續ヲ爲スコトヲ本則トスル、斯ウ云フコトニ致シマシタノデアリマス

○志水小一郎君 分ッテヤウデアリマステレドモ、ドウモハッキリ致シマセヌガ、此準備手續ト申シマスノハ、ドウ云フ關係ニナルノデスカ、辯論ノ準備ト云フンダカラ、準備ヲ引ックルメテ辯論ト見ルノデスカ、ソレカラ公判ノ擴張ニナルノデスカ、ドウデスカ、準備手續ト云フコトガ所謂原則タル口頭直接審理ト云フモノニハドウ云フ影響ヲ及ボスカ、民事訴訟法ニモ準備ガアリマスカラ、此準備ハ公判ノ延長ノヤウニ見エルシ、併シ公判其モノトハ別ノコトノヤウニモ見エルノデアリマスルカラ、是モドウモハハッキリ致シマセヌガ、其御趣旨ヲ：

○政府委員(池田寅二郎君) 口頭辯論其モノデハアリマセヌデ、口頭辯論ニ於テ主張スベキ主張ヲ豫メ整理スル手續ト云フコトニ御了解ヲ願ッテ宜カラウカト思ヒマス

○志水小一郎君 サウスルト口頭辯論其モノデハナイノデスカ、サウスルト準備ハシテ置イテモ、ソレハ所謂準備デアッテ、ソレヲ正式ノ口頭辯論ノ時、其準備ニ從ッテ口頭辯論ヲシテ初メテ用フ爲ス譯ニナルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 正ニ其通りデアリマス

○男爵渡邊修二君 唯今ノ所謂準備手續ト

云フノハ口頭辯論ヲ一回デスカ、初メテ開イテ然ル後ニ準備手續ニ這入ルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 先ヅ大體ハ初メ訴訟狀ガ終リマシタ時ニ、ソレデ以テ準備手續ヲ爲スベキモノト然カラザルモノトヲ仕分ケマシテ、準備手續ヲ爲サザルモノハ直グ期日指定ヲスル、準備手續ヲ爲スモノハ受命判事ヲ命ズル、斯ウ云フコトニナルガラウト思ヒマス、此案ノ立前ト致シマシテハ必シモソレニ止マリマセズ、途中マデ濟ミマシタ後ニ事件ガ：關係ガ複雑ニナルコトガ分リ、若クハ當事者ノ必要ノ結果、複雑ニテ來タト云フ場合、其時ニ或ル争點ノ部分、若クハ全體ノ部分ニ付テ準備手續ヲ途中カラ命ズルト云フコトモ有リ得ルコトニナッテ居ル：

○男爵渡邊修二君 サウ致シマス準備手續ト二百三十條トノ關係ハドウナルデアリマスカ、之ニハ「訴ノ提起アリタルトキハ裁判長ハ口頭辯論ノ期日ヲ定メ當事者ヲ呼出スコトヲ要ス」ト云フノデアリマスカラ、訴ノ提起ガアレバ口頭辯論ノ期日ヲ定メテ當事者ヲ呼フノデアリマスガ、ソコデソレガ第一回ノ口頭辯論ニナル、ソコデ今度準備手續ニ這入ルナラバ受命判事ヲ命ジ、準備手續ヲ要ス、ソコデ若シサウ云フ手續ヲシナイト云フナラバ直チニ辯論ヲ開始シ或ハ其判決ヲ：口頭辯論ヲ終結スルト云フヤウナコトモ出來ルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 二百三十條ノ規定ハ詰リ準備手續ナクシテ進行スル場合ノコトヲ豫想シテ居リマス、特ニ準備手續ヲ命ジタ時ニハ受命判事ガ準備手續ノ期日ト云フモノヲ決メルト云フコトニ相成リマスルノデ、準備手續期日ト云フモノハ別ニ決マッテ、サウシテソレガ進行スル、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス

○男爵渡邊修二君 私ノ御尋ネシタノハ唯
今ノ御答ト違フテ居ルヤウニ思ヒマス、詰
リ私ノ言フノハ裁判長ハ訴ノ提起ガアツタ
場合ニハ直チニ口頭辯論ノ期日モ何モ定メ
ナイデ受命判事ニ準備手續ヲ命ズルコトガ
出來ルカドウカト云フコトデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデアリ
マス
○男爵渡邊修二君 ソレハドノ條文ニ依ル
ノデスカ、其通りト仰シヤイマシタガ、ド
ノ條文ニ依ッテサウ云フ風ニナルノデスカ、
條文ハナイノデ、唯當然ノコト、自明ノコ
ト、シテアルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 此二百四十九
條ハ裁判所相當ト認メレバ直チニ辯論ヲ命
ズル、本則ハ準備手續ニ入ルト云フコトニ
ナッテ居リマス、サウスルト此裁判所ガ特ニ
是ハ直チニ辯論ヲ命ズベキモノダト裁判所
デ認メマシタ時ニハ、直チニ裁判所ガ期
日指定ヲスル、然ラザル場合ニハ準備手續
ニ入ル、此準備手續ハ受命判事ガ指揮スル
コトニナッテ居リマス、是ハ先ヅ二百四十九
條ノ規定デ分リマス、サウスルト受命判事
ガ其期日ヲ決メルト云フコトハ自ラ起ルコ
トダラウト思ヒマス

○志水小一郎君 モウ少シ……諄イヤウデ
スガ、準備手續ハ辯論其モノデハナイト云
フコトハ能ク承知シテ居リマス、所ガ此準
備手續ヲ致シマスル時期ハ、最早公判ノ區
域ニ入ッテ居ルノデ、準備手續ガアル爲ニ、
公判ガ其程度ニ手前ノ方ニ擴張セラレタト
云フ意味ニナルノデアリマスガ、公判ハド
ウ云フ關係ニ……

○政府委員(池田寅二郎君) 學理上ノ關係
デハ如何様ニナリマスガ、是ハ唯今ハキリ
シタコトハ申上デカネマスガ、此訴訟法ノ
規定其モノカラ申シマスルト、口頭辯論其

モノデハナイト此フコトハ言ヘマセヌ、ソ
レト牽聯關係ガ之ヲ如何ニ見マスルカハ、
唯今ハキリシタコトノ御答ハ出來マセヌ
○水上長次郎君 準備手續ト云フコトハ、
準備書面ヲ要スルト云フコトハ、無論違フ
筈デスカ、此案デ準備手續……是カラ先
ハ準備手續ト云フコトハ、唯單ニ二百四
十九條デ受命判事ニ命ズル、ソシテ二百五
十條ノ手續ヲスルト、是ダケノヤウニチヨ
ト考ヘラレル、デ、二百四十二條ハ口頭辯
論ハ何時デモ準備書面デ以テ準備シナケレ
バナラス、先ヅ準備書面ト云フモノハ、是
マデ通り……現行法通りノモノデアル、
訴狀ヲ出シテ……準備書面ニ關スル規定ヲ
適用シテ訴狀ヲ出ス、相手方ハ答辯書ヲ、
ソレニ對シテ又準備手續ノ規定ヲ適用シテ
出ス、サウシタ上デ、原則トシテハ尙ホ準
備ノ爲ニ辯論スル、ソレデハ辯論ノ準備ニ
ナラナイカラ、辯論準備ノ爲ニ受命判事ヲ
命ジテ更ニ準備セシメル、サウスルト普通
ノ準備書ト云フモノハ、準備手續デハナイ
デハナイト云フコトニナルノデスカ、サウス
ルト受命判事ノスルコト、云フモノハ、唯
二百四十四條四號五號ニ掲ゲテアルコトヲ
スルニ止マル、デ證據ニ付デノ申出ヲ明確
ニスル、是ダケノヤウニチヨット見エルノデ
スガ、サウスルト原則カラ言フト、準備手
スルト云フコトハ、書面ノ整理ト云フ位ニ
過ギナイ譯デアッテ、ドレ程ノ效能ガアルカ
ト云フコトハ、チヨット私ハ分リマセヌガ、
其點ニ付テ……

○政府委員(池田寅二郎君) 準備手續ニ於
テナシマスルコトハ、先ヅ二百五十條ト云
フモノガ、是ガ眼目ニナッテ居リマス、アト
ハ手續ニ屬スルダケノコトデアリマス、此
二百四十四條ノ第四號、第五號、之ヲ當事
者ノ陳述ニ求メテ確メルト云フコトハ、是

ガ一番大事ナコトデアリマス、即チ主張ノ
趣旨ヲ確メ、且ツ爭點ヲ整理スルト云フコ
トガ之ニ這入ル譯デアリマス、之ヲ完全ニ致
シマシテ、而シテソレニ基イテ公判ヲ開ク
ト云フコトニナリマスルト、此公判ノ手續
ト云フモノハ非常ニ完全ニ行ハレル、マア
斯ウ云フコトニナラウカト思ヒマス

○水上長次郎君 サウスルト云フト、今日
茲ニ言フ所ノ準備手續ト云フコトハ、當事
者雙方カラ出シタ準備書面ガ、先以テ規定
通りニ出テ居ルカ出テ居ラヌカヲ吟味シ、
又出テ居ラヌカ不明ナ點ガアレバ、ソレヲ明
瞭ニシ、マア畢竟適當ニ準備セラレテ居ル
カ否ヤヲ檢シ、サウシテ、其上適當ニ準備
書面ヲ整理シ、サウシテ、證據ニ付テハ、
此點ニ付テハ是レ、アノ點ニ付テハアレト
云フコトヲ整理スルダケデアル、外ノ手續
ハアリマセウガ、大體ハ是デヤル、サウス
ルト、此現行法デ御承知ノ通り、計算事件
ト云フモノガアルノデアリマス、二百六十
六條ニ書イテアル、是デ見ルト云フト、第
一ノ手續トシテハ「計算ノ當否財產ノ分別
又ハ此ニ關スル關係ヲ目的トスル訴訟ニ於
テ計算書又ハ財產目錄ニ對シテ許多ノ爭
アル請求ノ生シ又ハ許多ノ爭アル異議ノ生シ
タルトキハ受訴裁判所ハ受命判事ノ面前ニ
於テ準備手續ヲ命ズルコトヲ得、是ハ詰リ
整理デナクシテ、其準備書面ガ適當ニ行ハ
レテ居ルカ、行ハレテ居ラヌカト云フコト
ヲ整理スルコトデナクシテ、爭點ハドコニ
アルカ、又是レト是レトハ、ドウ云フ關係
有ッテ居ルカト云フ……詰リ其爭點要求主
張ト云フモノヲ、チヨット一目瞭然ニスル
ヤウニスルノガ準備手續ニナッテ居ル、計算
事件デハ……ソレデ、計算事件ニ付テハ準
備手續ハ受命判事ヲ利用スルコトガ必要デ
アル、ケレドモ、同じ準備手續デ受命判事

ガスルコトデモ二百五十條ノ規定ニ依ッテ
スルト云フコトハ、準備書面ニ掲ゲテアル此
攻撃防禦ノ方法、ソレカラ附屬書類ノ相手方
ノ請求陳述……此五號ニ掲ゲテアル事項ヲ
記載スルト云フコトダケノ話デアリマス、
事項ヲ記載スルト云フノハ文面ダケデア
テ、其實ハ攻撃防禦ノ方法ト云フノガアリ
マス、此點ニ付テハ、ドウ云フ此方法ヲ用
キ、ドノ點ニ付テハ、ドウ云フ防禦方法ヲ
用キル、又相手方ノ請求ハドコデアッテ、一
方、其請求ノ方面ハドコニアルカ、又其方
面ノ防禦方法ハドコニアルカ、此攻撃防
禦ト、請求ト方法ト、十分ニ之ヲ整理シテ
一目シテ、又辯論ヲナスニ付テモ、極ク明
瞭ニスルコトガ必ズ分リ得ルヤウノ辯論ヲ
スルガ爲ノ準備デナケレバナラス、所ガ唯、
「五號ニ掲クル事項ヲ記載シ」トアル、調書
ヲ取ル、殊ニ雙方ノ申出ヲ明瞭ニスルト云
フコトハ何カ準備書面ヲ作ルノニ、四十四
條ニ書イテアルモノヲ、ソレヲ移シテ仕舞
フ、證據ダケニ付テ申出ヲ明確ニスル、即
チ是レ是レノ件ニ付テハ是レ是レノ方法、
之ニ付テハ是レ是レノ方法ヲ出スト云フコ
トダケノコトヲスルノミニ止マルヤウニ思
ハレル、チヨット準備手續ト云フト、非常ニ
大袈裟ナヤウデアリマスガ、是デ見ルト云
フト、普通ノ準備書面ト變ラヌヤウニモ見
エル、ドウモ受命判事ヲ特ニ命ジ準備手續
ヲスルト云フ以上ハ、爭點ヲ明ニシ、爭點
ニ對スル攻撃防禦方法ヲ一目シテズット分
ルヤウニ、又其以外ノコトハ一切言ハナ
イ、一方ノ攻撃ニ對シテハ防禦ノ方法ヲ、
之ヲ用キル、其以外ニハ防禦ノ方法ヲ使ハ
ナイ、又一方カラ防禦スル、其防禦ニ對シ
テ攻撃スル時ハ、是レ是レノ以外ニハ使ハ
ヌ、方法ト目的トハ一ニシテ仕舞フト云フ
コトヲ整理シテコソ、受命判事ノ目的ハ達

アル、ケレドモ、同じ準備手續デ受命判事
ガ一番大事ナコトデアリマス、即チ主張ノ
趣旨ヲ確メ、且ツ爭點ヲ整理スルト云フコ
トガ之ニ這入ル譯デアリマス、之ヲ完全ニ致
シマシテ、而シテソレニ基イテ公判ヲ開ク
ト云フコトニナリマスルト、此公判ノ手續
ト云フモノハ非常ニ完全ニ行ハレル、マア
斯ウ云フコトニナラウカト思ヒマス

○水上長次郎君 サウスルト云フト、今日
茲ニ言フ所ノ準備手續ト云フコトハ、當事
者雙方カラ出シタ準備書面ガ、先以テ規定
通りニ出テ居ルカ出テ居ラヌカヲ吟味シ、
又出テ居ラヌカ不明ナ點ガアレバ、ソレヲ明
瞭ニシ、マア畢竟適當ニ準備セラレテ居ル
カ否ヤヲ檢シ、サウシテ、其上適當ニ準備
書面ヲ整理シ、サウシテ、證據ニ付テハ、
此點ニ付テハ是レ、アノ點ニ付テハアレト
云フコトヲ整理スルダケデアル、外ノ手續
ハアリマセウガ、大體ハ是デヤル、サウス
ルト、此現行法デ御承知ノ通り、計算事件
ト云フモノガアルノデアリマス、二百六十
六條ニ書イテアル、是デ見ルト云フト、第
一ノ手續トシテハ「計算ノ當否財產ノ分別
又ハ此ニ關スル關係ヲ目的トスル訴訟ニ於
テ計算書又ハ財產目錄ニ對シテ許多ノ爭
アル請求ノ生シ又ハ許多ノ爭アル異議ノ生シ
タルトキハ受訴裁判所ハ受命判事ノ面前ニ
於テ準備手續ヲ命ズルコトヲ得、是ハ詰リ
整理デナクシテ、其準備書面ガ適當ニ行ハ
レテ居ルカ、行ハレテ居ラヌカト云フコト
ヲ整理スルコトデナクシテ、爭點ハドコニ
アルカ、又是レト是レトハ、ドウ云フ關係
有ッテ居ルカト云フ……詰リ其爭點要求主
張ト云フモノヲ、チヨット一目瞭然ニスル
ヤウニスルノガ準備手續ニナッテ居ル、計算
事件デハ……ソレデ、計算事件ニ付テハ準
備手續ハ受命判事ヲ利用スルコトガ必要デ
アル、ケレドモ、同じ準備手續デ受命判事

アル、ケレドモ、同じ準備手續デ受命判事
ガ一番大事ナコトデアリマス、即チ主張ノ
趣旨ヲ確メ、且ツ爭點ヲ整理スルト云フコ
トガ之ニ這入ル譯デアリマス、之ヲ完全ニ致
シマシテ、而シテソレニ基イテ公判ヲ開ク
ト云フコトニナリマスルト、此公判ノ手續
ト云フモノハ非常ニ完全ニ行ハレル、マア
斯ウ云フコトニナラウカト思ヒマス

セラルノデハナイカ、チヨット此處デハ分リ兼ネルノデスガ、何カデ分リマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今、御推察ニナリマシタ通り、現行法ノ二百六十八條ニ掲ゲテ居リマスヤウニ、此如何ナル請求ヲスルカ、如何ニソレニ對シテハ事ヲ争フカト云フ、請求ノ主張、或ハ被告ノ之ニ争フ所ノ主張、之ヲ兩者ノ陳述ニ依リマシテ明確ニスルト云フノガ二百五十條ノ目的デアリマシテ、丁度御推察通りノコトヲ二百五十條デヤルト云フノガ此本旨ニナッテ居リマス、斯ウ云フ準備書面ヲ用キテ、ソレヲ請求スルノデアリマス、準備書面ヲ出サセルノハ、必要ニ應ジテ出スノデアリマステレドモ、本體ハ矢張り兩方ノ書面ニ基キ陳述ヲ聞キマシテ、サウシ、其主張ノ何レニアリヤ、相手方ノ主張ノ何レニアリヤト云フコトヲ確メルト云フコトガ、此目的ト相成ッテ居リマス……

○水上長次郎君 サウスルト、二百六十八條ノ第一カラ第三マデ多少違フ所ハアリマセウガ、是ダケノコトヲヤラウト云フノデアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 大體サウ云フコトニナラウト思ヒマス

○水上長次郎君 ソレデアルトラバ、二百五十條ノ規定ハドウモ了解シ兼ネルヤウニ思ヒマスガ、私ダケガサウカモ知レマセヌガ、何ダカ受命判事ハ何ノ爲ニ設ケタノヤラ分ラヌヤウニ思ハレル、計算事件ニ於テ常ニ受命判事ヲ拵ヘル受命判事ハ何ヲスルカ、即チ二百六十八條ノ調書ヲ作ル、其準備手續ノ調書ニハ、ドウ云フコトヲ明確ニスルコト云フト、第一カラ二、三ト云フモノ是ダケノコトヲ明確シテコソ準備手續ヲスルコトガ出來ル、二百五十條ニ「事項ヲ記載シ殊ニ證據ニ付テハ其ノ理由ヲ明確ニ

スルコトヲ要ス」トアリマスガ、實ニ立派ナ法律家デアッタラ分リマセウケレドモ、私等ノヤウナ者デハチヨット分リマセヌガ、其處ヲ一ツ詳ハシク……

○政府委員(池田寅二郎君) 御趣旨ノ點ハ、ソレハ今申上デマシタ通りノコトデ、御推察ノ趣旨ト全ク變リガナイコトデアリマス

○委員長(河村謙三郎君) チヨット皆サンニ御諮リ致シマスガ、此節ガマダ少シ盡キマセヌノデ、三十分ダケ延期スルコトニ致シタイト思ヒマス、宜シウゴザイマスカ

○佐竹三吾君 チヨット私ハ一ツ伺ヒタイノデアリマスガ、二百四十二條ノ書面ヲ以テ準備スルコトヲ要スト云フコトニナリマスト云フト、何カ口頭辯論主義ガ破壞サレル惧レガアルト云フヤウナ、サウ云フ疑モアルヤウデアリマスガ、サウ云フコトハナイノデアリマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハモウ現行法通りデアリマシテ、詰リ辯論ヲ成ルタケ正確ニスルト云フコトノ爲ニ、豫メ書面ヲ用意スルト云フコトニシテ、相手方ガソレニ對シテ答辯ヲ用意シマスル爲ニ、豫メ辯論ニ於テ主張スルコトヲ書面ニ依ッテ向ウニ廻シテ行クト云フノデアリマシテ、口頭辯論ノ趣旨ヲ發揮スル所ノ手立ニ使フモノデアリマス、少シモ辯論主義ニ反スル譯デハアリマセヌ、是ハ現行法ガ既ニ其通りデアリマス

○佐竹三吾君 辯護士協會ノ意見ナドモアルノデアリマスガ、之ニ依リマスルト今御話ノ如ク同ジ目的ヲ達シテ、サウシテ、更ニ其趣旨ガ明瞭ニナルヤウナモノデアリマシテ、此修正意見ノ一點ハ詰リ準備書面ヲ出スト云フコトガ、當事者ノ任意デアルカ或ハ義務デアルカ、寧ろ當事者ハ自分ノ利

益ノ爲ニ提出スルコトニナルダラウト思ヒマス、法律ニハ之ヲ義務ノ如ク規定サレズ、別ニ書面ヲ出サズシテ其點ガ明瞭デアリトシテ、主張ガ理由アリト云フコトヲ何人ニモテスコトガ出來ルナラバ、サウ云フ書面ハ必要デ無イヤウニ思ハレルノデアリマス、其點ガ一ツ疑ヲ起ス點デハナイカト思フ、ソレカラ、今一ツノ點ハ準備手續ヲ命ズルト云フコトハ、二百四十九條ノ本文ニ殆ド原則トシテ規定サレテ居ルノデアリマシテ、唯例外的ノ但書ノ規定ガアルノデアリマス、口頭辯論主義カラ申セバ、此原則ト例外ハ寧ろ理論トシテハ反對ニナルノデアッテ、裁判所ニ於テ必要ト認ムル時ニ準備手續ヲ命ズルトカ、或ハ準備書面ヲ提出ヲ命ズルトカ、斯ウ云フコトノ立前ニスルノガ、今ノ口頭辯論主義ナルモノガ一層明瞭ニナルノデハナイカ、ソレガ先ヅ修正意見ノ第二ノ點デハナイカト思フノデアリマス、ソレカラ、今一ツノ點ハ、準備手續ハ必ズ受命判事ニ依ッテシナケレバナラヌ、其コトガ果シテ主義トシテ相當カドウカ、ト云フコトモ辯護士協會デ矢張り議論ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フヤウナ點カラ考ヘテ見マス、或ハ四百四十二條ノ書キ方ト、二百四十二條ノ書キ方ト、二百四十九條ノ書キ表ハシ方ヲ、モウ少シ變ヘラレタナラバ宜クハナイカト思フデスガ、如何デアリマスカ

○渡邊暢君 チヨット御答ノアル前ニ速記ヲ止メテ、私ハ御話ヲシタイト思ヒマス

○委員長(河村謙三郎君) ソレデハ速記ヲ止メテ下サイ

○政府委員(池田寅二郎君) 二百四十二條ノ「口頭辯論ハ書面ヲ以テ之ヲ準備スルコトヲ要ス」ト云フコトハ、寧ろコノ義務的

ニナッテ居ルノデ、寧ろ之ハ反對ニ當事者ガ其利益ニ於テ出スモノデアルカラ、書キ方ガ少シ過ギテ居ルデハアルマイカト云フ一ツノ論デアリマスガ、之ニ付キマシテハ、此案デ「要ス」ト云フコト、大體「ベシ」ト云フヤウナコトヲ避ケマシテ、大概ニモウ要スト云フコトニ書イテ居ルノデアリマシテ、其要スト云フモノノ意味ガ、必シモソレダケデハドノ程度ノモノデアルト云フコトハ、ハッキリシナイヤウナ場合モアリマシテ、ソレハ他ノ規定ト相俟ッテ、成程要スト云フモ此位ノ意味デアルト云フコトガ了解セラル、ヤウニマア大體ナッテ居リマス、併シ此二百四十二條ハ、二百四十七條ト相對シテ居リマスノデ、一體書面ヲ以テ準備スベキモノデアランダト云フ位ノ一ツノコトデアリマス、其準備ヲシナカッタ時ニハ、相手方ノ在廷シナイ時ニ主張スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、ソレデ是等ノ點ハモウ現行法ノ全ク通りデアリマス、ソレカラ、二百四十九條ノ場合ニ於キマシテ、寧ろ直ニ辯論ヲ命ジ、準備ナクシテ辯論ヲ命ズルト云フコトヲ本則ニ立テ、必要ニ應ジテ準備手續ヲ命ズルト云フコトニスル方ガ宜クハナイカト云フ、ソレガ寧ろ辯論主義ヲ徹底スル上ニ於テ適當デハナイカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ此辯論主義ト云フコトニハ、唯、ソレヲ補助的ニ辯論ガ周到ニ行ハレルヤウニ、補助的ニ手續ヲスル、而シテ其手續ノ範圍外ニ出テ新ナル主張ヲシナイト云フ其境界ダケヲ決メルト云フダケノモノデアリマシテ、辯論主義ヲ寧ろ十分ニ發揮セシムルト云フコトガ、是ノ主ニナッテ居ルノデアリマシテ、簡單ナルモノハ直チニ無準備辯論ヲスル、稍、複雑ナルモノハ準備ヲシテ、然ル後ニ辯論ヲスルト云フコトニ相成ルノ

デアリマシテ、ドチヲ原則トシ、ドチヲ
ヲ例外トスルト云フヤウナコトハ、立法上
カラ申シマシテモ、實際的ニ觀察シマシテ
モ、ソレヲ理論ニ於テ爭フコトデモナカラ
ウカト思フデアリマス、唯、地方裁判所
ノ事件ニナリマスレバ、大體、準備手續ヲ
命ズル場合ガ先ヅ多イデアラウト云フコ
トハ考ヘテ居リマス、ソコデ寧ロ此方ノ實
際の見地カラ準備手續ヲナスノ本則トシ
テ、ナサナイト云フコトニナレバ特別ニ處
分スル、斯ウデアリマセヌト、多數ノ者
ニ付テ準備手續ヲ廢止スルト云フト、何カ
手續デモ取ラナケレバナラヌト云フコトニ
リマス、却テ手續ニナリハシナイカ、手
續ヲ取ラナイ方ニ規定ヲスル方ガ却テ便宜
デアラウト云フ所カラ、斯ウ云フコトニナ
テ居リマスル次第デアリマス、第三點ハ準
備手續ヲ受命判事デアルノガ、果シテ適切
デアルカト云フコトデアリマス、是ハ英吉
利ノヤリ口ニ依リマス、判事ニ非ザル「マ
スター」ト稱スル者ガ、此準備手續ヲ行シ
居リヤウデアリマス、地方ニ於キマシテハ
「エキストラ」ト稱スル者ガ其何ヲ取扱シ
居リマス、是ハ矢張り辯護士トシテ五年以
上ノ經驗ガアル者ト云フコトデ、採用サレ
テ居ル、アチラデハ判事ノ數カ地方ニ少イ
爲ニ、サウ云フ便法ヲ取ッテ居ルノデヤナイ
カト思フ、埃太利等ニ於キマシテハ、矢張
リ受命判事ガ準備手續ヲスルト云フコトニ
相成ッテ居リマス、而シテ我國ノ制度カラ
見マスと云フト、矢張り此公判ノ準備ト云
フコトハ、此受命判事ト云フモノガアル方
ガ一番適當デハナイカト云フコトヲ考ヘテ
居リマス、其爲ニ此事件ノ審理ト云フモノ
ガ、受命判事ガ重キヲナシテ、公判ノ判事
ト云フモノガ幾分重キヲ失フヤウナコトニ
相成リマスルヤウデハ、是デハドウモイケ

イデアラウト思ヒマス、單ニ是ハ陳述ノ
趣旨ヲ茲ニ整理スルダケデアリマシテ、愈
公判ニ於テ辯論ヲスルノハ、其準備ニ基
イテ、公判デ兩者ノ主張ト云フモノヲ精密
ニ致スト云フコトニ相成ッテ、其時初メテ公
判判事ガ、其兩者ノ主張スルコトヲ十分聽
クト云フコトニ相成リマス、其場合ニ或ハ
此公判判事ガ、受命判事ノ調ニ餘リニ頼リ
過ギテ、公判ノ調ヲ疏カニナルト云フヤウ
ナコト相成リマシテハ、ソレデハ此
案ノ趣旨ヲ沒スルト云フコトニナリマ
スカラ、其實行ニ付キマシテハ、十分ニ是
ハ注意モ致シマシテ、公判ガ即チ主デアル、
唯、其準備デアルト云フ主張ノ自體ヲ確メ
ルト云フコトダケニ止マル、言フ所ノ趣旨
ハ實行ヲ致シマスルニ付キマシテハ、十分
ニ是ハ徹底イタス覺悟デ居リマス、尙ホチ
ヨット先程午前中ニ佐竹委員ヨリ送達ニ關
スル御質問ガアリマシテ答辯ヲ留保シテ置
キマシタガ、一通り分リマシタカラ、此機
會ニ申上ダマス、百六十九條ノ方ハ、是ハ
送達ヲ受クベキ者ハ、場所ニ付テノ原則ヲ
決メタモノデアリマシテ、送達ト云フコト
ハ、當事者並ニ法廷代理人、訴訟代理人ハ
無論デアリマスガ、此外證人デアリマス
カ、訴訟關係上送達ヲ爲スベキ必要アル者
ハ多々アルデアリマシテ、ソレ等ヲ一般
二百六十九條ニ書イテ居ルノデアリマス、
其内デ訴訟ニ直接ノ關係ヲ有ッテ居ル當事
者ハ、是ハ裁判所ノ所在地ニ住所營業所等
ガ無ケレバ、特ニ送達ヲ爲ス場所ヲ届出デ
ネバナラナイト云フコトヲ規定イタシテ居
リマスガ、扱テ此場合ニ其人ガ、ヨシ當事
者ガ裁判所所在地外ノ或ル遠方ニ居リマシ
テ、裁判所所在地ニ今ノ送達ヲ受ケル届出
ヲ致サナカッタト云フ場合ヲ考ヘマス、
其時ニハ、此百七十條ノ二項ニ依リマシテ、

直チニ郵便ニ付シテ送達スルコトモ出來マ
スルガ、然ラバ其際更ニ進ムデ其本人ノ住
所若クハ營業所ニ宛テ、所謂郵便ニ依ル送
達、此普通ノ郵便ニ依リマシテ、サウシテ
送達スルト云フ方法ヲ執ルコトガ果シテ出
來ルカ、出來ナイカト云フコトニ付キマシ
テハ、ソレハ勿論ヤレバソレデモ宜シイ、
併ナガラ、ソレ迄ノ手續ヲ取ラナイデ、或
ハ郵便ニ付シテ送達セラレマシテモ致方ナ
イト云フ結果ガ來ルト云フコトニ相成リマ
スノデアリマス
○佐竹三吾君 サウ致シマスルト第百七十
條ノ一項ノ「之ヲ届出ツルコトヲ得」ト云フ
ハ、是ハ届出ヲ要ス、斯ウ云フ意味デアリ
マスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 百七十條ニ付
キマシテハ御質問ガアリマシテ其時ニ述ベ
マシタガ、ココノ中ニ實ハ二ツノ事柄ヲ規
定サレテ居リマス、詰リ今舉ゲマシタヤウ
ニ、裁判所ノ所在地ニ住所等ヲ持タナイ所
ノ當事者ト、ソレカラ其土地ニ住所ヲ持
テ居ル當事者此兩方ガ規定サレテアリマ
ス、一ツデ兩方ニナッテ居ル、ソコデ此コ
ト「得」ト云フコトヲ書キマシタガ、其二項
ニ於キマシテ、所在地ニ住所ガナイト云フ
者ガ此届出ヲセナカッタキニハ此結果ヲ
得ルノデアリマスカラ、其所在地ニ住所等
ヲ持タナイ當事者ノ方カラ申シマスと届出
ヲセナケレバナラヌト云フ、ソコニ意味ガ
出テ來ルダラウト思ヒマス、或ハ規定ノ仕
方ニ多少明瞭ヲ缺クヤウナ事ガアルカモ知
レマセヌガ、二ツヲ一ツニ書キマシタ結果
斯ウ云フヤウナコトニナッテデアリマス、
趣旨ハ其通りデアリマス
○委員長(河村讓三郎君) ソレデハ是デ散
會シマス、明日八十時カラ開會イタシマス
午後四時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 河村讓三郎君
委員 水上長次郎君
渡邊 暢君
志水小一郎君
男爵渡邊 修二君
佐竹 三吾君

政府委員

司法省民事局長 池田寅二郎君

説明員

司法書記官長 島 毅君

大正十五年二月二十三日印刷

大正十五年二月二十四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局